

取扱説明書 活用ガイド デジタルカメラ

品番 DMC-FZ300



困ったときは？ メッセージ表示 Q&A 故障かな？ と思ったら	P.315 P.323
知りたいことの探し方	P.2
目次	P.4
機能別目次	P.10
メニュー一覧	P.319
さくいん	P.347

LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用の前に「安全上のご注意」(付属冊子「取扱説明書」)を必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

取扱説明書 活用ガイドでは、知りたいことを以下のページから探すことができます。参照ページをクリックすると、該当ページへ移動しますので、知りたいことを素早く探せます。



「目次」から探す

→ P.4 ~

機能から探す

—機能別目次—

→ P.10 ~

「各部の名前と働き」から探す

→ P.14 ~

「モニター / ファインダーの表示

一覧」から探す

→ P.310 ~

カメラに表示されたメッセージ
から探す

—メッセージ表示—

→ P.315 ~

メニュー名から探す

—メニュー一覧—

→ P.319 ~

撮影 P.319

セットアップ P.322

動画 P.320

再生 P.322

カスタム P.321

「Q&A 故障かな？と思ったら」

から探す

→ P.323 ~

キーワードから探す

—さくいん—

→ P.347 ~

本書の詳しい読み方は、次ページへ

Wi-Fiについては、241 ページへ

撮影モード表示について

アイコンが黒く表示されている撮影モードでは、記載されているメニュー や機能を選択 / 実行できます。

 クリックすると「知りたいことの探し方」のページに移動します。

 クリックすると「目次」のページに移動します。

MENU クリックすると「メニュー一覧」のページに移動します。

 クリックすると「さくいん」のページに移動します。

 クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

Digitized by srujanika@gmail.com

- ・本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- ・本書では、バッテリーパックを「バッテリー」と表記します。
- ・本書では、バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記します。
- ・本書では、メモリーカードを「カード」と表記します。

■本文中の記号について

[MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi [Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

[カスタム] メニューで設定を行う項目を示しています。

上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

(P.00) 参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン→ [撮影] → [クオリティ] → [.]

クリックすると、説明が次のページに続きます。



■ 知りたいことの探し方	2
■ 本書の見方	3

■ 機能別目次	10
---------	----

はじめに

■ ご使用の前に	13
----------	----

■ 各部の名前と働き	14
------------	----

準備

■ レンズフードを付ける	16
--------------	----

■ バッテリーやカード（別売）を入れる・取り出す	24
--------------------------	----

■ レンズキャップ / ショルダーストラップを付ける	18
----------------------------	----

■ カードについて	25
-----------	----

レンズキャップを付ける	18
-------------	----

カードをフォーマット（初期化）する	26
-------------------	----

ショルダーストラップを付ける	19
----------------	----

記録可能枚数・時間の目安	27
--------------	----

■ バッテリーを充電する	20
--------------	----

■ モニター一面を表にする / モニターを調整する	29
---------------------------	----

撮影可能枚数や使用時間の目安	22
----------------	----

■ 時計を合わせる	30
-----------	----

撮影を合わせ直す	31
----------	----

基本操作

■ カメラの構え方	32
-----------	----

■ よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）	57
--------------------------------	----

■ 撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー	33
--------------------------	----

撮影時にファンクションボタンを使う	58
-------------------	----

ズームレバー / サイドレバー	33
-----------------	----

再生時にファンクションボタンを使う	59
-------------------	----

ズームを使う	33
--------	----

シャッターボタン（写真を撮る）	34
-----------------	----

動画ボタン（動画を撮る）	35
--------------	----

モードダイヤル（撮影モードを選ぶ）	36
-------------------	----

フォーカスモードレバー	36
-------------	----

サイドダイヤル / 後ダイヤル	37
-----------------	----

サイドボタン	40
--------	----

カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン	40
--------------------------	----

（項目を選択 / 決定する）	41
----------------	----

[DISP.] ボタン	41
-------------	----

（画面の表示情報を切り換える）	42
-----------------	----

[LVF] ボタン（ファインダー撮影）	46
---------------------	----

■ タッチパネル（タッチ操作）	48
-----------------	----

画面をタッチして撮影する	48
--------------	----

（タッチシャッター）	50
------------	----

狙った場所に簡単に明るさを合わせる	51
-------------------	----

（タッチ AE）	51
----------	----

■ メニューを使って設定する	52
----------------	----

メニューを設定する	52
-----------	----

■ よく使うメニューをすぐに呼び出す	55
--------------------	----

（クイックメニュー）	55
------------	----

クイックメニューをお好みの項目に	56
------------------	----

変更する	56
------	----

■ 時計設定	60
--------	----

■ ワールドタイム	60
-----------	----

■ トライベル日付	61
-----------	----

■ Wi-Fi	61
---------	----

■ 電子音	62
-------	----

■ ライブビューモード	62
-------------	----

■ モニター調整 / [LVF 調整]	63
---------------------	----

■ モニター輝度	64
----------	----

■ エコモード	65
---------	----

■ USB モード	66
-----------	----

■ テレビ接続設定	66
-----------	----

■ メニュー位置メモリー	67
--------------	----

■ メニュー背景色	67
-----------	----

■ メニューインフォメーション	67
-----------------	----

■ バージョン表示	68
-----------	----

■ 露出補正リセット	68
------------	----

■ セルフタイマー自動解除	68
---------------	----

■ 番号リセット	68
----------	----

■ 設定リセット	69
----------	----

■ Wi-Fi 設定リセット	69
----------------	----

■ フォーマット	69
----------	----

■ 文字を入力する	70
-----------	----



撮影モード

■ カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード)	71	■ パノラマ写真を撮る (パノラマモード)	86
手持ちで夜景を撮る (i手持ち夜景)	73	■ 撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード)	89
階調豊かな写真に合成する (iHDR)	73	■ 画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)	93
背景をぼかして撮る (ボケ味コントロール)	74	■ 絞り / シャッタースピードを決めて 動画を撮る (クリエイティブ動画モード)	99
明るさ (露出) や色合いを変えて撮る	75	スローモーション動画を撮影する (ハイスピード動画)	100
インテリジェントオートプラスモードと インテリジェントオートモードについて	76	動画撮影中の操作音を抑えて撮る	101
■ 絞り値とシャッタースピードを 自動で設定して撮る (プログラム AE モード)	78	■ お好みの設定を登録して撮る (カスタムモード)	102
■ 絞り値 / シャッタースピードを 決めて撮る	80	お好みのメニュー設定を登録する (カスタムセット登録)	102
絞り値を決めて撮る (絞り優先 AE モード)	80	登録したカスタムセットで撮る	103
シャッタースピードを決めて撮る (シャッター優先 AE モード)	81		
絞り値とシャッタースピードを決めて 撮る (マニュアル露出モード)	82		
絞り効果 / シャッタースピード効果を 確認する (プレビューモード)	84		
絞り / シャッタースピードを簡単に 適正露出に合わせる (ワンプッシュ AE)	85		

画質・色合いの設定

■ 効果をつけて画質を調整する (フォトスタイル)	104	■ 画像補正機能を用いてこなす	116
■ 画像効果を加えて撮る (フィルター設定)	106	コントラストや露出を補正する (iDレンジコントロール)	116
■ 明るい / 暗い部分を調整する (ハイライトシャドウ)	108	解像感を高める (超解像)	116
■ ホワイトバランスを調整する	109	露出の異なる写真を合成する (HDR)	117
■ 画質とサイズを設定する	113	絞りを絞ったときの解像感を高める (回折補正)	118
写真の横縦比を変える	113	色空間を設定する	118
記録画素数を設定する	113		
画像の圧縮率を設定する (クオリティ)	114		



ピント・明るさ（露出）の設定

- 自動でピントを合わせる
 - (オートフォーカス) 119
 - フォーカスマードを選ぶ
(AFS, AFF, AFC) 120
 - オートフォーカスマードを切り換える 121
 - AF エリアの位置や大きさを変更する 127
 - タッチパッドで AF エリアの位置を
設定する 130
 - タッチした位置にピントと明るさを
合わせる 131
 - ピントの合わせ方をお好みに設定する 132
- 近づいて撮る（マクロ撮影） 134
- 手動でピントを合わせる
 - (マニュアルフォーカス) 136
 - オートフォーカスを使って素早く
ピントを合わせる 138
- ピントや露出を固定して撮る
 - (AF/AE ロック) 141
- 露出を補正して撮る 142
- ISO 感度を設定する 143
 - ISO 感度の上限を設定する 145
 - ISO 感度のステップ幅を設定する 145
- 測光モードを設定する 146

シャッター・ドライブの設定

- シャッター方式を設定する 147
- ドライブモードを選ぶ 148
- 連写する 149
- 4K フォトを撮る 152
 - [] 4K 連写で撮る 154
 - [] 4K 連写 (S/S) で撮る 154
 - [] 4K ブリ連写で撮る 155
 - 4K 連写ファイルから写真を選び
保存する 156
 - 4K フォトについてのお知らせ 161
- 露出を自動的に変えながら撮る
(オートブラケット) 164
- セルフタイマーで撮る 166

被写体・目的に合わせた機能

- 一定の間隔で自動的に撮影する
(インターバル撮影) 168
- ストップモーション動画の作成
(コマ撮りアニメ) 171
- 1 枚の写真に複数回の露出をする
(多重露出) 175
- 操作音と発光の禁止を一括で設定する
(サイレントモード) 177
- 個人認証機能を使って撮る
(個人認証) 178
- 赤ちゃんやペットのプロフィールを
設定して画像に記録する 181
- 撮影に適した画面表示にする 182
- カメラの映像をモニターしながら
撮る 184



手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

■ 手ブレを補正する	185	■ フラッシュの機能を設定する	193
■ ズームを使って撮る	187	発光モードを変更する (マニュアルフラッシュ)	193
ズームの種類と用途	187	フラッシュモードを切り換える	193
タッチ操作でズームを使う (タッチズーム)	190	後幕シンクロに設定する	196
■ フラッシュを使って撮る	191	フラッシュの発光量を調整する	197
		露出補正時にフラッシュ発光量を 運動させる	197
		■ ワイヤレスでフラッシュ撮影する ...	198

動画を撮影する

■ 動画を撮る	200	■ [動画] メニューを使う	209
4K 動画を撮る	202	[スナップムービー]	209
フォーマット、サイズ、 記録フレームレートを設定する	203	[記録方式]	209
動画撮影時のピントの合わせ方 (AF 連続動作)	204	[画質設定]	209
■ 動画撮影中に写真を撮影する	205	[動画露出設定]	209
■ スナップムービーを撮る	206	[ハイスピード動画]	209
[ピント送り] の設定をする	207	[写真撮影]	209
		[AF 連続動作]	210
		[動画傾き補正]	210
		[コンバージョン]	210
		[フリッカー軽減]	210
		[タッチ静音操作]	211
		[マイクレベル表示]	211
		[マイクレベル設定]	211
		[専用マイク設定]	211
		[マイクレベルリミッター]	211
		[風音キャンセラー]	212
		[風音低減]	212
		[ズームマイク]	212



再生・編集

■写真を見る	213	■[再生] メニューを使う	221
■動画を見る	214	[スライドショー]	222
動画から写真を切り出す	215	[再生モード]	223
■再生方法を切り換える	216	[位置情報記録]	225
拡大して見る(再生ズーム)	216	[RAW 現像]	226
画像を一覧で見る(マルチ再生)	216	[クリアレタッチ]	
画像を撮影日ごとに見る		不要な部分を消去する	229
(カレンダー再生)	217	[タイトル入力]	230
グループ画像を見る	217	[文字焼き込み]	231
■写真や動画を消す(消去)	219	[動画分割]	232
		[インターバル動画作成]	233
		[コマ撮りアニメ作成]	233
		[リサイズ(縮小)]	
		画像サイズ(画素数)を小さくする	234
		[トリミング(切抜き)]	
		画像を切り抜く	235
		[画像回転] / [縦位置自動回転]	236
		[お気に入り]	237
		[プリント設定]	238
		[プロテクト]	239
		[認証情報編集]	239
		[画像表示順]	240
		[消去確認画面]	240

Wi-Fi

■Wi-Fi®機能でできること	241	■ワイヤレスでプリントする	262
■Wi-Fi機能について	242	■AV機器に画像を送る	263
■スマートフォンとつないで使う	245	■パソコンに画像を送る	264
スマートフォン/タブレットアプリ 「Panasonic Image App」を インストールする	245	■Webサービスを利用する	266
スマートフォンと接続する	246	Webサービスに画像を送る	266
スマートフォンで撮影する (リモート撮影)	252	クラウド同期サービスに画像を送る	270
カメラの画像を再生する	253	■LUMIX CLUB (PicMate)への 登録	271
カメラの画像を保存する	253	LUMIX CLUB (PicMate)を 設定する	271
カメラの画像をSNSへ送信する	254	宅外AV機器を設定する	276
スマートフォンから、カメラの画像に 位置情報を追加する	254	■接続について	277
スナップムービーで撮影した動画を		[ネットワーク経由] 無線アクセスポイントを経由して接続する	278
スマートフォンでお好みに結合する	256	[直接接続] 直接接続する	280
■テレビに写真を映す	257	以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する] / [お気に入りから接続する])	281
■画像を送る	258	■[Wi-Fi設定]	283
■スマートフォンに画像を送る	261		



他の機器との接続

■ 4K 動画を楽しむ	285	■ 写真や動画をレコーダーに残す	297
4K 動画を見る	285	カードをレコーダーに入れて ダビングする	297
4K 動画を残す	286	対応機器以外にダビングする	297
■ テレビで見る.....	287	■ プリントする.....	298
ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) を使う	289	[複数プリント]	299
■ 写真や動画をパソコンに残す	291	写真に日付や文字を入れる	300
付属のソフトウェアについて	292	本機でプリントの各種設定をする	301
付属ソフトウェアをインストールする	294		
写真、動画を取り込む	295		

その他 Q&A

■ 別売品のご紹介	302	■ 海外旅行先で使う	309
コンバージョンレンズ (別売)	303	■ モニター / ファインダーの 表示一覧	310
フィルター (別売)	305	■ メッセージ表示	315
外部フラッシュ (別売)	306	■ メニュー一覧	319
バッテリーの代わりに AC アダプター (別売) および DC カブラー (別売) を使う	307	■ Q&A 故障かな?と思ったら	323
シャッターリモコン (別売)	307	■ 使用上のお願いとお知らせ	338
外部マイク (別売)	308	■ さくいん	347

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>





撮影

撮影

撮影モード	P.36
プレビュー	P.84
パノラマモード	P.86
マクロ撮影	P.134
インターバル撮影	P.168
コマ撮りアニメ	P.171
多重露出	P.175
サイレントモード	P.177

ピント (AF/MF)

フォーカスモード	P.120
オートフォーカスモード	P.121
AFエリアの位置移動	P.127
マニュアルフォーカス	P.136
AF/AEロック	P.141

ライブ

ライブモード	P.148
4K フォト	P.152
セルフタイマー	P.166

露出

タッチ AE	P.51
ワンプッシュ AE	P.85
AF/AE ロック	P.141
露出補正	P.142
ISO 感度	P.143
測光モード	P.146
オートブラケット	P.164

画質・色合い

フォトスタイル	P.104
フィルター設定	P.106
ハイライトシャドウ	P.108
ホワイトバランス	P.109
記録画素数	P.113
クオリティ	P.114
IDレンジコントロール	P.116
超解像	P.116
HDR	P.117
回折補正	P.118
色空間	P.118

フラッシュ

フラッシュモード	P.193
後幕シンクロ	P.196
フラッシュ光量調整	P.197
ワイヤレスフラッシュ設定	P.198

手ブレ補正

動作設定	P.185
5 軸ハイブリッド手ブレ補正	P.185

モニタリング

撮影時 HDMI 出力	P.184
-------------	-------



動画

動画

クリエイティブ動画モード	P.99
ハイスピード動画	P.100
タッチ静音操作	P.101
4K 動画	P.202
記録方式	P.203
画質設定	P.203
動画撮影中の写真撮影	P.205
スナップムービー	P.206

音声

マイクレベル設定	P.211
マイクレベルリミッター	P.211
風音キャンセラー	P.212
風音低減	P.308

画面設定

センターマーカー表示	P.182
ゼブラパターン表示	P.182
モノクロライブビュー	P.183
マイクレベル表示	P.211





セットアップ / カスタム

基本設定

フォーマット	P.26
時計設定	P.30
表示の切り替え	P.42, 45
視度調整	P.46
メニューの設定方法	P.52
クリックメニュー	P.55
電子音	P.62
エコモード	P.65
リセット（初期化）	P.69

カスタマイズ

クリックメニューの【カスタム】	P.56
ファンクションボタン	P.57
カスタムモード	P.102
カスタムメニュー	P.321



再生

再生

オートレビュー	P.35
写真の再生	P.213
動画の再生	P.214
再生ズーム	P.216
マルチ再生	P.216
消去	P.219

表示 / 再生設定

スライドショー	P.222
画像回転 / 縦位置自動回転	P.236

編集

RAW 現像	P.226
クリアレタッチ	P.229
リサイズ	P.234
トリミング	P.235

情報追加

位置情報記録	P.225
タイトル入力	P.230
文字焼き込み	P.231

画像設定

お気に入り	P.237
プリント設定	P.238
プロテクト	P.239



Wi-Fi

接続

Image App	P.245
WPS（ッシュボタン）	P.278, 280
直接接続	P.280

Image App

リモート撮影	P.252
画像の保存	P.253
画像の送信	P.254, 261
位置情報の送信、追加	P.254
スナップムービーの結合	P.256

他機器連携

テレビで写真再生	P.257
画像のプリント	P.262
AV 機器に画像を送信	P.263
パソコンに画像を送信	P.264
Web サービスに画像を送信	P.266
クラウド同期サービスの利用	P.270





他機器接続

パソコン

PHOTOfunSTUDIO	P.292
SILKPIX	P.293
パソコンに画像を取り込む	P.291

テレビ

テレビで見る	P.287
ピエラリンク	P.289

レコーダー

ダビング	P.297
------------	-------

プリンター

ピクトブリッジ PictBridge	P.298
-----------------------------	-------

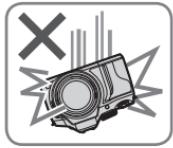


ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、ファインダー、外装ケースが破壊される可能性があります。
また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
 - ・ 本機を落とす、またはぶつける
 - ・ レンズ部やモニターを強く押さえつける



本機は、防じん防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるには、以下のことにお気をつけてください。

- ・ 内蔵フラッシュは、閉じてお使いください。

- ・ 本機の扉部などは、しっかりと閉じてください。開閉時は、砂やほこり、水滴などの液体が内部に侵入しないようにお気をつけてください。

本機に砂やほこり、水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

- ・ タッチパネル操作が誤認識されたり、フラッシュ表示が誤表示される場合があります。
- ・ 付着したままモニターを収納すると、故障の原因になります。

■ 露付きについて（レンズやモニター、ファインダーが曇るとき）

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニター、ファインダーの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけてください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけてください

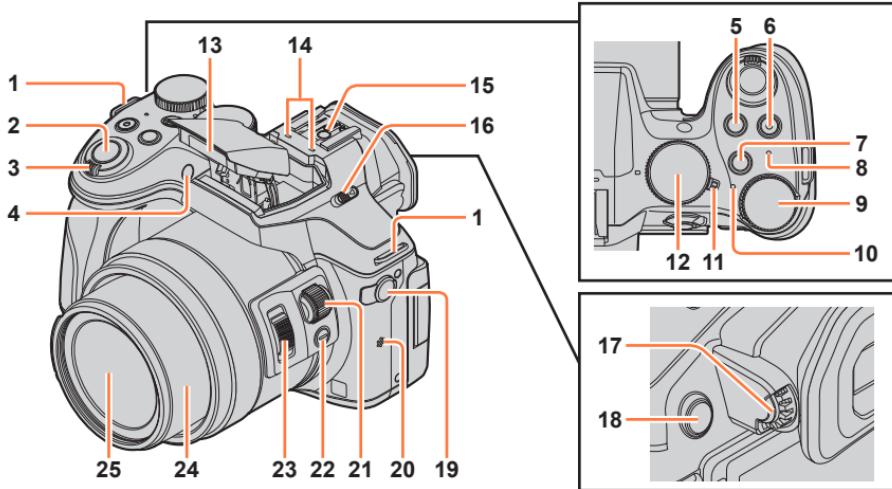
あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけてください。

■ 「使用上のお願いとお知らせ」も、併せてお読みください (P.338)

■ 付属冊子「取扱説明書」に記載の付属品をご確認ください

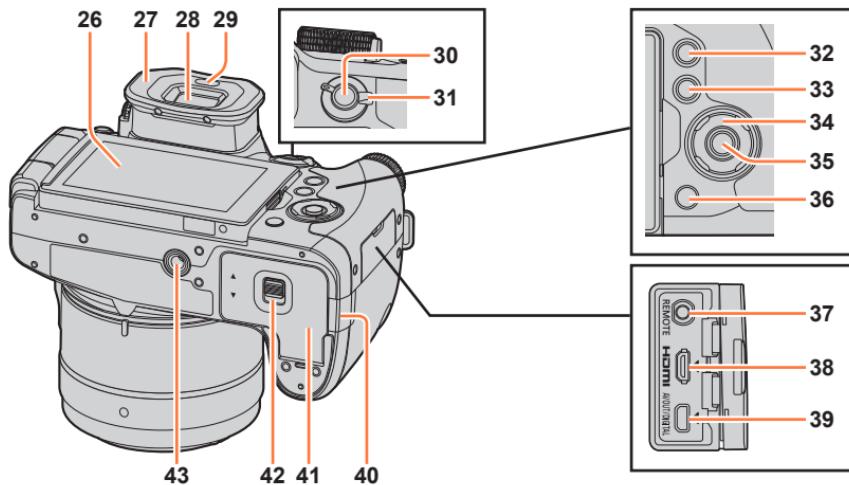
別売品については [302 ページ](#) を参照してください。

各部の名前と働き



1 ショルダーストラップ取り付け部 (P.18)	15 ホットシュー (P.306)
2 シャッターボタン (P.34)	16 フラッシュオーブンレバー (P.191) フラッシュが開き、フラッシュ撮影が可能になります。
3 ズームレバー (P.33)	17 視度調整ダイヤル (P.46)
4 セルフタイマーランプ (P.166) / AF補助光ランプ (P.133)	18 [LVF] ボタン (P.46) / [Fn1] ボタン (P.57)
5 [REC] (露出補正) ボタン (P.142) / [Fn1] ボタン (P.57)	19 [MIC] 端子 (P.308) 外部マイク (別売) を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声が録音できます。
6 動画ボタン (P.35) [Fn2] ボタン (P.57)	20 スピーカー (P.62) 指などで塞がないようにしてください。音が聞こえにくくなります。
7 Wi-Fi® 接続ランプ (P.242)	21 サイドダイヤル (P.37)
8 後ダイヤル (P.37)	22 サイドボタン (P.40)
9 電源表示ランプ (P.30)	23 サイドレバー (P.33)
10 電源スイッチ (P.30)	24 レンズ鏡筒 (P.32)
11 モードダイヤル (P.36) 撮影モードを設定できます。	25 レンズ部 (P.339)
12 フラッシュ発光部 (P.191)	
13 ステレオマイク (P.211) 指などで塞がないようにしてください。音が記録されにくくなります。	

各部の名前と働き



26 タッチパネル (P.48) / モニター (P.310)
 27 アイカップ (P.338)
 28 ファインダー (P.46)
 29 アイセンサー (P.46, 47)
 30 [AF/AE LOCK] ボタン (P.141)
 31 フォーカスマードレバー (P.36)
 32 [再生] (再生) ボタン (P.213)
 33 [DISP.] ボタン (P.42)
 画面の表示を切り替えます。
 34 カーソルボタン (P.41)
 [ISO] (ISO 感度) (▲) (P.143)
 [WB] (ホワイトバランス) (▶) (P.109)
 [■] (ドライブモード) (▼) (P.148)
 [■] (オートフォーカスマード) (◀) (P.121)
 35 [MENU/SET] ボタン (P.41)
 クイックメニュー セット
 36 [Q.MENU 行/△] (消去 / 戻る) ボタン (P.55, 219) / ファンクション [Fn3] ボタン (P.57)

37 リモート [REMOTE] 端子 (P.307)
 38 [HDMI] 端子 (P.287)
 39 アウト デジタル [AV OUT/DIGITAL] 端子 (P.287)
 40 DC カプラー扉 (P.307)
 AC アダプターを使用するときは、当社製の AC アダプター（別売：DMW-AC10）と DC カプラー（別売：DMW-DCC8）を使用してください。
 41 カード / バッテリー扉 (P.24)
 42 開閉レバー (P.24)
 43 三脚取り付け部 (P.341)
 ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかりと固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。

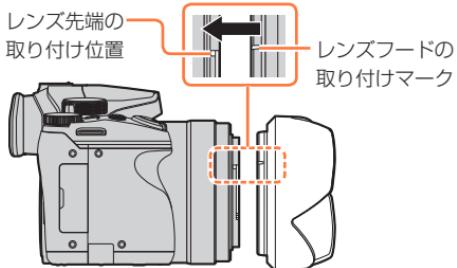
レンズフードを付ける

日差しが強い逆光での撮影時、レンズ内部で光の乱反射が生じて、光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮影できます。

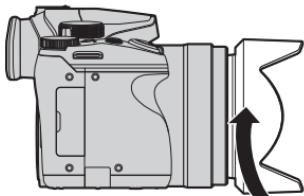
- ・レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。
- ・電源スイッチが [OFF] になっていることを確認してください。
- ・フラッシュはあらかじめ閉じておいてください。



1 レンズフードの取り付け マークをレンズ先端の取 り付け位置の少し上に合 わせる

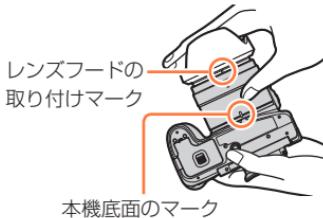


2 レンズフードを矢印の方向に回しては め込む



3 「カチッ」と音がするまで回し、レンズ フードの取り付けマークと本機底面の マークを合わせる

- ・確実にレンズフードが付いていることを確認して、画像にレンズフードが映っていないことを確認してください。



● フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗く（ケラレ）なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

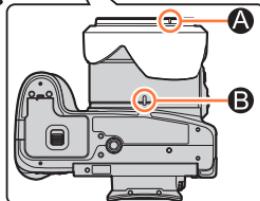
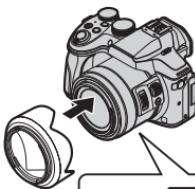
レンズフードを付ける

■一時的にレンズフードを外して運ぶ（仮収納）

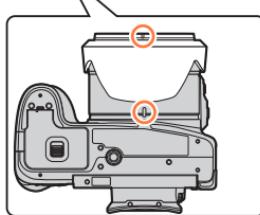
①レンズフードを矢印の方向に回して取り外す



②レンズフードの取り付けマーク（A）を本機底面のマーク（B）からみて少し右側の位置に合わせ、レンズフードをはめ込む



③レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回し、レンズフードの取り付けマークと本機底面のマークを合わせる



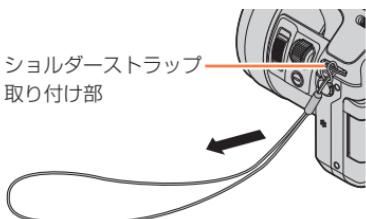
レンズキャップ / ショルダーストラップを付ける

レンズキャップを付ける

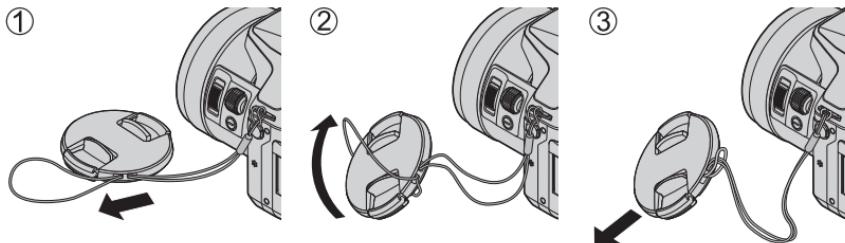
レンズ保護のため、撮影していないときはレンズキャップを付けておいてください。レンズキャップの紛失防止のため、レンズキャップひもの取り付けをお勧めします。

- ・レンズキャップひもで本機をぶら下げたり、振り回したりしないでください。
- ・電源スイッチを [ON] にするときは、必ずレンズキャップを外してください。
- ・レンズキャップひもがショルダーストラップなどとからまないようにお気をつけください。

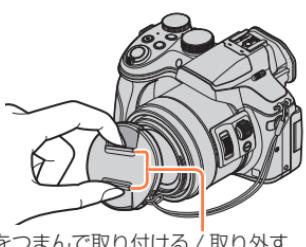
1 本機のショルダーストラップ取り付け部にレンズキャップひもを通す



2 レンズキャップにひもを通す



3 本機にレンズキャップを取り付ける



レンズキャップ / ショルダーストラップを付ける

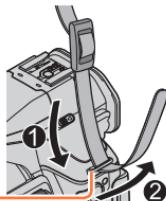
ショルダーストラップを付ける

落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

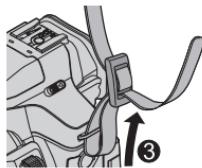
1 本機のショルダーストラップ取り付け部にショルダーストラップを通す

- ・ショルダーストラップの LUMIX ロゴが外側になるように付けてください。

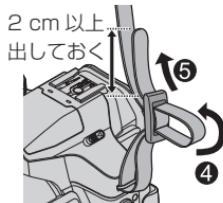
ショルダーストラップ取り付け部



2 矢印に従って、ショルダーストラップの端を留め具に通す

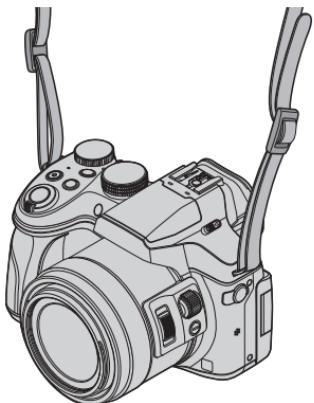


3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



4 ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認する

- ・手順 **1** ~ **4** に従って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。

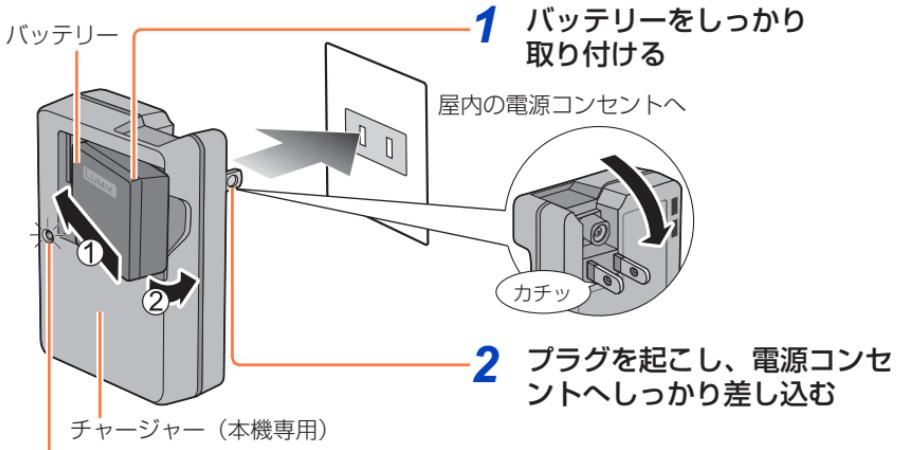
本機で使えるバッテリー（2015年7月現在）

本機で使えるバッテリーはDMW-BLC12です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。



充電ランプ (CHARGE)

点灯 : 充電中

消灯 : 充電完了 (電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す)

点滅したら • バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎます。

室温 10 °C ~ 30 °C で充電することをお勧めします。

• バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。

バッテリーを充電する

充電時間について

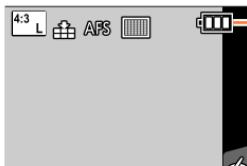
充電時間

約 140 分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

バッテリー残量の表示

使用中は、画面にバッテリー残量が表示されます。



バッテリー残量表示（バッテリー使用時のみ）



赤点滅したら、バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- チャージャーは海外でも使うことができます。（P.309）
- バッテリー残量があっても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）

バッテリーを充電する

撮影可能枚数や使用時間の目安

写真撮影（モニター使用時）

撮影可能枚数	約 380 枚	CIPA 規格に基づく
撮影使用時間	約 190 分	

写真撮影（ファインダー使用時）

撮影可能枚数	約 360 枚	CIPA 規格に基づく
撮影使用時間	約 180 分	

■ CIPA 規格の撮影条件

CIPA は、カメラ映像機器工業会 (Camera & Imaging Products Association) の略称です。

- ・ 温度 23 °C / 湿度 50%RH
- ・ プログラム AE モード
- ・ モニター / ファインダーを点灯
- ・ 当社製 SDHC メモリーカード使用
- ・ 付属バッテリー使用
- ・ 電源を入れ、30 秒後に撮影開始
([手ブレ補正] の [動作設定] : [()])
- ・ 30 秒間隔で、1 枚撮影
- ・ フラッシュを 2 回に 1 回フル発光
- ・ 撮影ごとにズーム操作
(W 端 → T 端、または T 端 → W 端)
- ・ 10 枚撮影ごとに電源を切り、
バッテリーを冷ます

撮影間隔が長いと枚数は減ります。例えば、上記の撮影条件において 2 分間隔で撮影した場合は、約 1/4 になります。

バッテリーを充電する

動画撮影（モニター使用時）

記録方式	AVCHD	MP4	MP4
画質設定	[FHD/17M/60i]	[FHD/28M/60p]	[4K/100M/30p]
撮影可能時間	約 175 分	約 170 分	約 135 分
実撮影可能時間※	約 85 分	約 85 分	約 65 分

*電源の [ON] / [OFF] 切り換え、撮影の開始と終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

■撮影条件

- ・ 温度 23 °C / 湿度 50%RH
- [画質設定] のサイズが [FHD]、[HD]、[VGA] の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 29 分 59 秒を超える場合やファイルサイズが 4 GB を超える場合は、記録を停止します。
 - ・ [FHD] は、ファイルサイズが大きいので 29 分 59 秒より前に撮影を終了します。
- [画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。(ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて記録・再生されます)

再生（モニター使用時）

再生使用時間	約 315 分
--------	---------

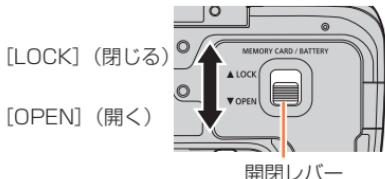
- 使用時間と撮影可能枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。
例えば、次の場合は、使用時間は少なくなり、撮影可能枚数は減少します。
 - ・ スキー場などの低温下
 - ・ フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返したとき
- 著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。



バッテリーやカード（別売）を入れる・取り出す

- 電源スイッチが [OFF] になっていることを確認してください。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて、カード／バッテリー扉を開ける

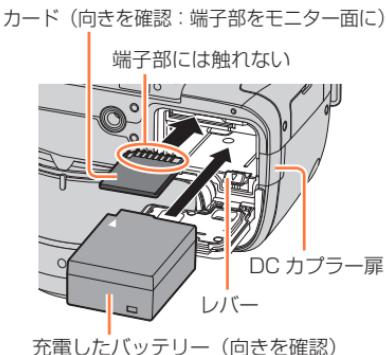


2 バッテリーとカードを奥まで入れる

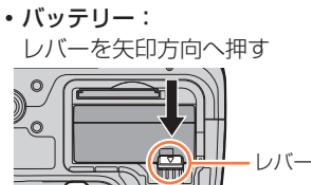
- バッテリー：
バッテリーを奥まで、ロック音がするまで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する
- カード：
「カチッ」と音がするまで押し込む

3 カード／バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる

- DC カプラー扉：
DC カプラー扉をしっかりと閉めたことを確認後、カード／バッテリー扉を閉めてください。



■取り出すとき



- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。（長期間放置すると、バッテリーは消耗します）
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

カードについて

SD 規格に準拠した次のカード（当社製推奨）が使用できます。

カードの種類	容量	備考
SD メモリーカード microSD カード*	512 MB ~ 2 GB	・それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。 ・SDXC メモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/
SDHC メモリーカード microSDHC カード*	4 GB ~ 32 GB	
SDXC メモリーカード	48 GB、64 GB	・本機は UHS-I UHS Speed Class 3 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。 ・左記の容量以外のカードは使えません。

*本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラスについて

動画の【記録方式】(P.203) や【画質設定】(P.203) によって必要なカードが異なります。4K フォトの撮影には対応したスピードクラスのカードが必要になります。以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SD スピードクラスや UHS スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

【記録方式】	【画質設定】	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS 4 ④
MP4	FHD/HD/VGA		
MP4	4K/ハイスピード動画	UHS Speed Class 3	③
4K フォト撮影時		UHS Speed Class 3	③

- 最新情報：<http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードアクセス中は…

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中（画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など）は電源を切ったり、バッテリーやカード、AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カブラー（別売：DMW-DCC8）を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は、再度操作してください。

カードについて

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。
- 大切な画像はパソコンなどへの保存をお勧めします。
(電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります)



書き込み禁止
スイッチ

カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [フォーマット]

- フォーマットするときは、十分に充電したバッテリーか、AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カーブラー（別売：DMW-DCC8）をご使用ください。
- フォーマット中は、電源スイッチを [OFF] にしたり、他の操作をしないでください。
- フォーマットは、必ず本機で行ってください。パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- フォーマットできないときは、別のカードを入れてお試しいただいてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

カードについて

記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。(撮影条件、カードの種類により変化します)

記録可能枚数 (写真: 枚)

画像横縦比 [4:3]、クオリティ [■■■] の場合

記録画素数	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
L (12M)	1140	2320	4650	9150
EX M (8M)	1620	3270	6550	13000
EX S (3M)	3220	6500	13030	24700

画像横縦比 [4:3]、クオリティ [RAW■■] の場合

記録画素数	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
L (12M)	350	720	1450	2880
M (8M)	390	790	1600	3180
S (3M)	450	900	1820	3600

- 記録可能枚数が9999枚を超える場合は、[9999+]と表示されます。

記録可能時間 (動画撮影時) (h: 時間、m: 分、s: 秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
[FHD/28M/60p]	37m00s	1h15m	2h30m	5h00m
[FHD/17M/60i]	1h00m	2h00m	4h05m	8h15m
[FHD/24M/30p] / [FHD/24M/24p]	43m00s	1h25m	2h55m	5h50m



カードについて

記録方式 [MP4] の場合

画質設定	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
[4K/100M/30p] / [4K/100M/24p]	9m00s	20m00s	42m00s	1h20m
[FHD/28M/60p]	37m00s	1h15m	2h30m	5h00m
[FHD/20M/30p]	49m00s	1h40m	3h20m	6h40m
[HD/10M/30p]	1h30m	3h10m	6h25m	12h50m
[VGA/4M/30p]	3h25m	7h00m	14h10m	28h15m

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、[▲] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。
- [画質設定] のサイズが [FHD]、[HD]、[VGA] の MP4 動画の場合：連続記録時間が 29 分 59 秒を超える場合やファイルサイズが 4 GB を超える場合は、記録を停止します。
 - ・ [FHD] は、ファイルサイズが大きいので 29 分 59 秒より前に撮影を終了します。
- [画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画の場合：連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。(ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、一時中断することなく動画撮影を続けることができますが、動画ファイルは分かれて記録・再生されます)
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。

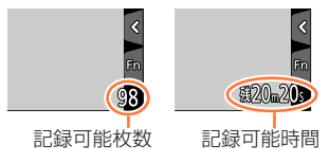


記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換える

MENU ボタン→ [カスタム] → [残枚数 / 残時間切換]

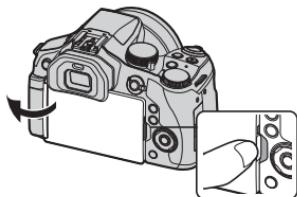
[:] (残枚数)：写真の記録可能枚数を表示します。

[:] (残時間)：動画の記録可能時間を表示します。

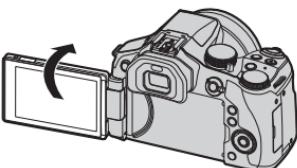


モニター面を表にする / モニターを調整する

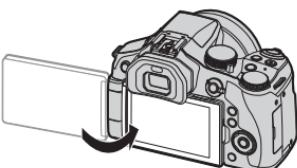
1 モニター右側のくぼみに指を掛けて
左側へ開く（最大 180° 開きます）



2 レンズ方向に 180° 回転させる



3 元の位置へ閉じる

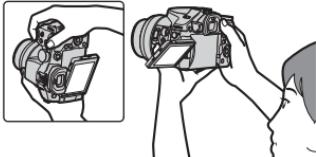


・モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。
故障の原因になります。

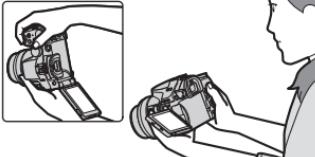
フリーアングル撮影

モニターの角度を調節すると、さまざまな角度からの撮影が可能になり便利です。
・AF補助光ランプを指などで塞がないでください。

ハイアングル撮影



ローランプ撮影



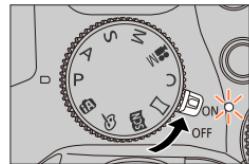
● モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のためモニターを内側に収納しておくことをお勧めします。

時計を合わせる

お買い上げ時は日時が設定されていません。

1 電源スイッチを【ON】にする

- 電源が入ると電源表示ランプが点灯します。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、▲▼で設定する

表示順・時刻表示形式を設定する場合

- 【表示形式】を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



4 [MENU/SET] ボタンを押す

5 [時計を設定しました] と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す

6 [ホームエリアを設定してください] と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す

時計を合わせる

7 ◀▶ でお住まいの地域を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

GMT (グリニッジ標準時)
との時差

- 時計を設定しないと、お店にプリントを依頼するときや、[文字焼き込み] を使うときに、正しい日付をプリントできません。

時計を合わせ直す

- 1 [セットアップ] メニューから [時計設定] を選ぶ
 - ・メニュー操作について (P.52)
- 2 日時と表示方法を設定する (30 ページの手順 3、4)

- 時計設定はバッテリーを取り出しても、約 3 か月記憶します。
(満充電のバッテリーを入れて約 24 時間経過した場合)

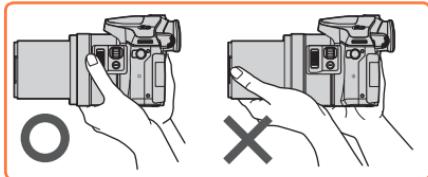
カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- ・フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- ・シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- ・撮影の際は、必ずレンズキャップを外してください。
- ・足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。



- ・レンズ鏡筒をつかんで撮影しないでください。レンズ収納時に指を挟むおそれがあります。



■縦位置検出機能について

カメラを縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができます。([縦位置自動回転] を [ON] に設定している場合のみ)

- ・本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、正しく動かないことがあります。
- ・動画と4K フォトの4K 連写ファイルは、縦向きに表示できません。



撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

ズームレバー / サイドレバー (ズームを使う)

ズームレバーまたはサイドレバーを操作して、写す範囲を調整できます。

- ファインダー撮影時は、サイドレバーでズーム操作をすると、本機を安定して構えることができる手ブレ軽減に効果的です。
- タッチパネルを操作して、ズームを使うこともできます。(P.190)
- ズームの種類と用途について、詳しくは [187 ページ](#)をお読みください。

ズームレバー	サイドレバー
<p>1 ズームレバーを回す</p> 	<p>1 サイドレバーをスライドさせる</p> 
<p>T 側：望遠、大きく撮る W 側：広角、広く撮る</p>	<p>スライド幅が大きい：ズームスピードが速い スライド幅が小さい：ズームスピードが遅い</p>

- ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
- ピントは、ズームしたあとに合わせてください。
- ズームレバーまたはサイドレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。

撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

■ シャッターボタン (写真を撮る)

- ・[] ボタン (▼) を押して、ドライブモードを [□] (単写) に設定する。

1 シャッターボタンを半押し (軽く押す) して被写体にピントを合わせる

- ・絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)



フォーカス表示

(ピントが合う: 点灯)

(ピントが合わない: 点滅)



2 シャッターボタンを全押し (さらに押し込む) して撮影する



- [フォーカス / レリーズ優先] (P.133) が [フォーカス] に設定されていると、ピントが合うまで撮影できません。
- メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。

■ ピントの合う範囲について

ズーム操作時に撮影可能範囲 (ピントの合う範囲) が表示されます。

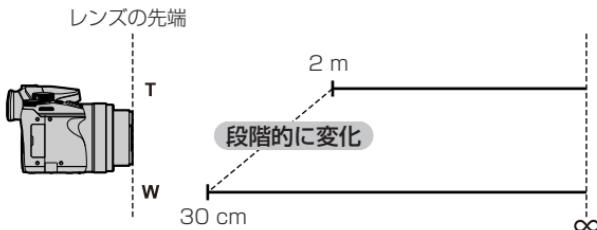
- ・シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていないと撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。



撮影時に使うボタン/ダイヤル/レバー

例) プログラム AE モード時のピントの合う範囲



写真撮影後に撮影画像を表示する

MENU ボタン → [カスタム] → [オートレビュー]

時間	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 [ホールド]：シャッターボタン半押しまで表示 [5秒] / [4秒] / [3秒] / [2秒] / [1秒] / [OFF]
再生操作優先	[ON]：オートレビュー中に再生画面の切り替えや消去などができます。 [OFF]：オートレビュー中は、撮影時と同様のボタン操作になります。

• [時間] を [ホールド] に設定時、[再生操作優先] は [ON] に固定されます。
• 4K フォト撮影 (P.152) 時、[オートレビュー] の [時間] の設定項目は [ON]、
[OFF] に切り換わります。[再生操作優先] は、[ON] に固定されます。

動画ボタン (動画を撮る)

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。



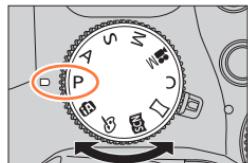
2 もう一度動画ボタンを押して、撮影を終了する

撮影時に使うボタン/ダイヤル/レバー

モードダイヤル（撮影モードを選ぶ）

1 モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

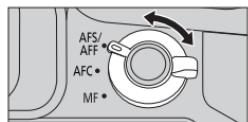


	インテリジェントオートモード (P.71) カメラにおまかせで撮影します。
	インテリジェントオートプラスモード (P.76) 明るさ（露出）や色合いもお好みに調整できます。
	プログラム AE モード (P.78) カメラが決めた絞り値とシャッタースピードで撮影します。
	絞り優先 AE モード (P.80) 絞り値を決めて撮影します。
	シャッター優先 AE モード (P.81) シャッタースピードを決めて撮影します。
	マニュアル露出モード (P.82) 絞り値とシャッタースピードをそれぞれ決めて撮影します。
	クリエイティブ動画モード (P.99) 絞り値とシャッタースピードをそれぞれ決めて動画を撮影します。 ※写真撮影はできません。
	カスタムモード (P.102) あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
	パノラマモード (P.86) パノラマ写真を撮影します。
	シーンガイドモード (P.89) 撮影シーンに合わせて撮影します。
	クリエイティブコントロールモード (P.93) お好みの画像効果を選んで撮影します。

フォーカスマードレバー

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

フォーカスマードレバーの位置	フォーカス動作
[AFS/AFF] または [AFC]	オートフォーカス
[MF]	マニュアルフォーカス



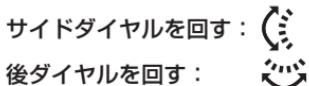
撮影時に使うボタン／ダイヤル／レバー

サイドダイヤル／後ダイヤル

サイドダイヤルを回してピント調整、後ダイヤルを回して絞り値やシャッタースピードの設定ができます。

項目の選択や数値の設定もできます。

- ・本書ではダイヤル操作を次のように表します。



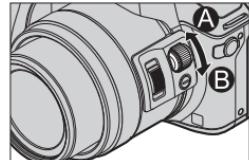
サイドダイヤル

次の場合にピントの調整ができます。

- ・マニュアルフォーカス時
- ・オートフォーカス時
([カスタム] メニューの [AF+MF] を [ON] に設定 (P.133)
時のみ)

A 側に回す：近くにピントを合わせる

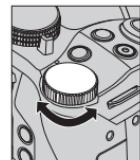
B 側に回す：遠くにピントを合わせる



後ダイヤル

次の撮影モードでは、絞り値やシャッタースピードなどを設定できます。

モードダイヤル	 後ダイヤル ^{※1}
[P] (P.78)	プログラムシフト
[A] (P.80)	絞り値
[S] (P.81)	シャッタースピード
[M] (P.82)	シャッタースピード／絞り値 ^{※2}



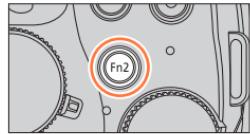
^{※1} サイドダイヤルでも設定できます。 (P.40)

^{※2} [MENU] ボタン / [Fn1] ボタンを押すごとに、シャッタースピード設定操作と絞り値設定操作の切り換えができます。

撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

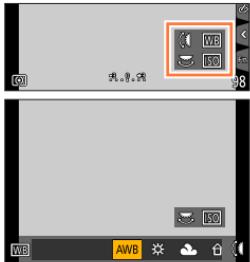
サイドダイヤルと後ダイヤルの割り当てを一時的に変更する（ダイヤル動作切換）

ファンクションボタンの【ダイヤル動作切換】を使うと、サイドダイヤルまたは後ダイヤルの割り当てを変更できます。お買い上げ時は、【Fn2】に【ダイヤル動作切換】が設定されています。（P.57）



1 【Fn2】ボタンを押す

- サイドダイヤルと後ダイヤルそれぞれに割り当てた機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしない場合、数秒後にガイドの表示が消えます。



2 ガイドが表示されている間に、サイドダイヤルまたは後ダイヤルを回す

- それぞれのダイヤルに割り当てた設定が変更されます。

3 【MENU/SET】ボタンを押し、決定する

- 以下の操作でも、同じ操作ができます。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 【Fn2】ボタンを押す

- サイドダイヤルと後ダイヤルの一時的な割り当ての操作は、ガイドの表示中（手順 1）や設定画面（手順 2）でのみ有効です。

Fc ダイヤル操作ガイドを表示する / 表示しない

MENU ボタン → **Fc** [カスタム] → 【ダイヤル操作ガイド】 → 【ON】 / 【OFF】

- 【ON】に設定すると、撮影画面に操作ガイドが表示されます。右記はその一例です。
- サイドダイヤルと後ダイヤルの一時的な割り当ての操作中、操作ガイド（上記）は常時表示されます。



撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

■撮影シーンとお勧め設定

サイドダイヤルと後ダイヤルに割り当てるお勧めの組み合わせを紹介します。

光源や明暗差が複雑な
シーン



連写撮影するとき



お勧め設定

- サイドダイヤル：ホワイトバランス
- 後ダイヤル：ISO 感度

サイドダイヤルの【ホワイトバランス】で色合いを選び、後ダイヤルの【ISO 感度】で ISO 感度を選ぶ設定です。（お買い上げ時の設定です）

お勧め設定

- サイドダイヤル：ライブモード
- 後ダイヤル：4K フォト

サイドダイヤルの【ライブモード】で連写や4K フォトに切り換え、後ダイヤルの【4K フォト】で 4K フォトの撮影の方法を選び設定です。

FC サイドダイヤルと後ダイヤルの操作方法を設定する

MENU ボタン → FC [カスタム] → [ダイヤル設定]

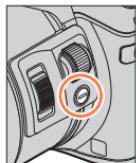
F/SS ダイヤルの回転	絞り値とシャッタースピードを操作するときの、ダイヤルの回転方向を変更します。 [↖ ↗] (通常) / [↖ ↗] (反転)
露出補正のダイヤル割当	いずれかのダイヤルで、露出補正を直接操作できるように割り当てます。 [↖] (サイドダイヤル) / [↖] (後ダイヤル) / [OFF]
ダイヤル動作切換設定	ファンクションボタンの【ダイヤル動作切換】で、サイドダイヤルと後ダイヤルに一時に割り当てる項目を設定します。 [↖] (サイドダイヤル動作) / [↖] (後ダイヤル動作) <ul style="list-style-type: none"> 設定できる項目は、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> マクロ撮影モード (P.134) ISO 感度 (P.143) ホワイトバランス (P.109) AF モード / MF (P.119) ドライブモード (P.148) フォトスタイル (P.104) フィルター選択 (P.93, 106) 画像横縦比 (P.113) 4K フォト (P.152) ハイライトシャドウ (P.108) iD レンジコントロール (P.116) 超解像 (P.116) フラッシュモード (P.193) フラッシュ光量調整 (P.197) 【ハイライトシャドウ】では 2 つのダイヤルを使用します。一方のダイヤルを設定すると、両方のダイヤルが設定されます。

撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

■ サイドボタン

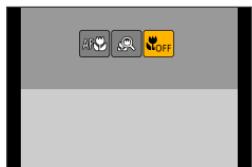
撮影画面でサイドボタンを押すと、2通りの使い方ができます。

- ・フォーカス動作をサポートする機能を呼び出す
- ・サイドダイヤルの動作を切り換える



■ フォーカス動作をサポートする機能を呼び出す

オートフォーカス時：サイドボタンを押すと、近づいて撮るとき（マクロ撮影）の選択画面が表示されます*。（P.134）
 *インテリジェントオート（[IA]）または[AF]モードでは、追尾AFになります。（P.123）



マニュアルフォーカス時：サイドボタンを押すと、一時的にオートフォーカスが働きます（ワンショットAF）（P.138）

■ サイドダイヤルの動作を切り換える

①メニューを設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [サイドボタン設定] → [F/SS]

②サイドボタンを押す

- ・サイドダイヤルを回して、絞り値やシャッタースピードなどを設定できます。
 サイドボタンを押すごとに、サイドダイヤルの設定操作を切り換えることができます。
 絞り値またはシャッタースピードの設定 ピント調整（P.133、136）

- お買い上げ時の設定に戻すには、手順①で [AF / FOCUS] を選びます。
- マニュアル露出モード時、サイドダイヤルで絞り値を、後ダイヤルでシャッタースピードを設定できます。[] ボタン / [Fn1] ボタンを押すと、両ダイヤルの設定操作を切り換えることができます。

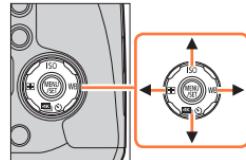
撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン (項目を選択 / 決定する)

カーソルボタンを押す：項目の選択や、数値の設定などができます。

[MENU/SET] ボタンを押す：設定内容の決定などができます。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を **▲▼◀▶** で説明しています。



- タッチパネル操作中でも、右図のようなガイドが画面に表示されているときは、カーソルボタンと [MENU/SET] ボタンでも操作することができます。
- ガイドが表示されないメニュー画面などでもボタン操作で設定や決定をすることができます。
- ファンクションボタンに [カーソルボタンロック] を設定すると、カーソルボタンと [MENU/SET] ボタンの操作を無効にできます。 (P.58)



撮影時に使うボタン/ダイヤル/レバー

[DISP.] ボタン (画面の表示情報を切り換える)

1 [DISP.] ボタンを押して表示を切り換える

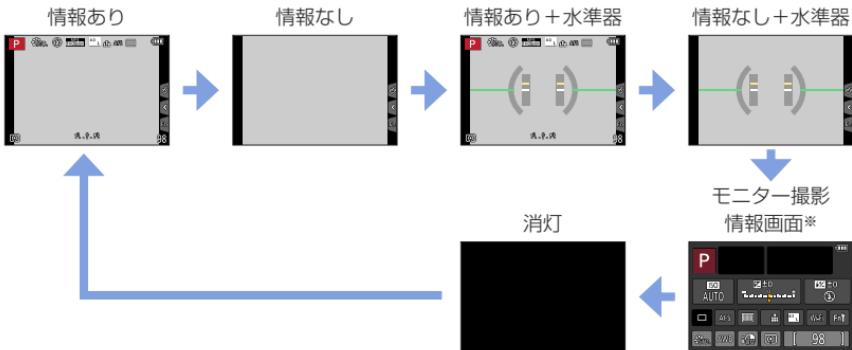
- しばらく操作せずに、画面の情報が表示されなくなった場合は、[DISP.] ボタンを押す、または画面をタッチすると再度表示されます。



撮影時

[カスタム] メニューの [モニター表示スタイル]、[LVF 表示スタイル] で、モニターとファインダーの表示画面をそれぞれ [LCD] (モニタースタイル) または [EVF] (ファインダースタイル) から選ぶことができます。

■ [LCD] モニタースタイル (モニター表示での例です)



■ [EVF] ファインダースタイル (ファインダー表示での例です)



* [カスタム] メニューの [モニター撮影情報画面] を [ON] にしているときのみ表示されます。
(P.43) 各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

fc モニターの表示方法を切り換えるMENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [モニター表示スタイル]

[] : ファインダースタイル

[] : モニタースタイル

fc ファインダーの表示方法を切り換えるMENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [LVF 表示スタイル]

[] : ファインダースタイル

[] : モニタースタイル

fc ヒストグラムを表示する / しないMENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [ヒストグラム表示] → [ON] / [OFF]

[ON] 時に ▲▼◀▶ を押してヒストグラムの表示位置を移動することができます

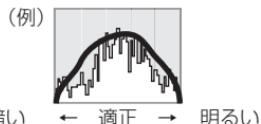
- ・撮影画面でも直接ドラッグして位置を設定できます。

画像の明るさの分布を示しており、例えば山が右側

にあれば画像に明るい部分が多いことを示します。

山が中央にあるときが適正な明るさ（適正露出）で

す。露出補正などの参考にします。



●撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。

- ・露出補正時や、マニュアル露出モードでマニュアル露出アシストが「0」以外のとき
- ・フラッシュが発光するとき
- ・適正露出にならないときや、暗いところで画面の明るさが正確に表示できないとき
- ・パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。

fc ガイドラインを表示する / しないMENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [ガイドライン表示]

→ [] / [] / [] / [OFF]

- ・パノラマモード時、ガイドラインは表示されません。

[] にすると、▲▼◀▶ を押してガイドラインの位置を移動することができます。

- ・撮影画面でも、ガイドライン上の [□] を直接ドラッグして位置を設定できます。

fc モニターの撮影情報画面を表示する / しないMENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [モニター撮影情報画面] → [ON] / [OFF]

撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

水準器を使う

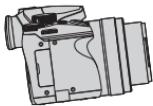
風景写真など、カメラの傾きが気になるときは、水準器表示を参考にしてください。

1 [DISP.] ボタンを押して水準器を表示させる

黄色い線が現在の傾き具合を表しています。白い線に合わせるように本機の傾きを補正してください。

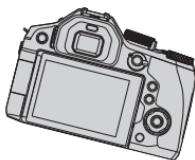
上下の傾き

- この場合、上を向いています。



左右の傾き

- この場合、右側が下がっています。

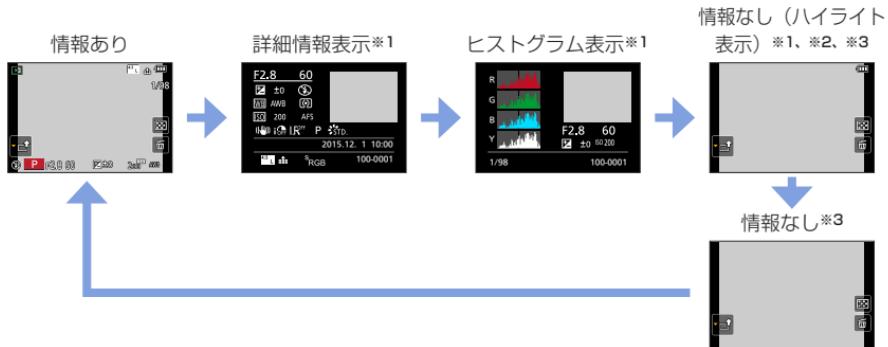


- カメラの傾きがほぼない状態では、水準器は緑色に変わります。

- 傾きがほぼ補正された状態でも、 $\pm 2^\circ$ 程度の誤差が生じことがあります。
- ファンクションボタンに【水準器表示】を設定しているときは、ファンクションボタンを押すごとに、水準器の表示 / 非表示を切り換えることができます。
- 本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能 (P.32) が正しく働かない場合があります。

撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

再生時



※1 再生ズーム中、動画再生中、連続再生中、パノラマ再生中、スライドショー再生中は、表示 / 非表示の切り替えのみになります。

※2 [カスタム] メニューの [ハイライト表示] (下記) を [ON] にしているときのみ表示されます。

※3 何も操作しないと、数秒後に [] などのタッチアイコンは表示されなくなります。

- 再生時はヒストグラムを R (レッド)、G (グリーン)、B (ブルー)、Y (輝度) に分けて表示します。

fc 白飛びしている箇所を表示する / しない

MENU ボタン → **fc [カスタム]** → [ハイライト表示] → [ON] / [OFF]

オートレビューまたは再生時に白飛び (明るすぎて、それ以上の階調が出ていない状態) している部分を点滅表示できます。撮影画像に影響はありません。

- 白飛びを軽減したい場合は、ヒストグラム表示 (P.43) などを参考に露出をマイナス補正して (P.142) 撮影してください。
- マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は働きません。



撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

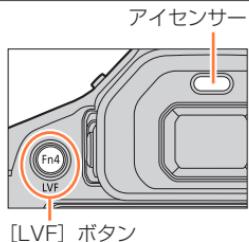
[LVF] ボタン (ファインダー撮影)

モニターとファインダーを切り換える

[LVF] ボタン / [Fn4] ボタンは、[LVF] と [Fn4] (ファンクション4) の2つおりの使い方ができます。

お買い上げ時は、[LVF] ボタンとして使えます。

- ファンクションボタンについて詳しくは [57ページ](#)をお読みください。

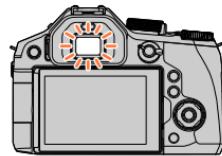


1 [LVF] ボタンを押す

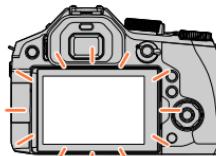
ファインダー / モニター
自動切換



ファインダー表示

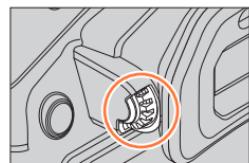


モニター表示



■ 視度調整について

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。



撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

■ファインダー / モニター自動切換について

ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーにより自動的にファインダー表示に切り換わります。

- お使いの眼鏡の形状やカメラの構え方、または接眼部付近に強い光が当たることなどにより、アイセンサーが正しく働かない場合があります。その場合は [LVF] ボタンを押して、切り換えてください。
- 動画再生中、スライドショー中は、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換わりません。

 アイセンサーの感度やモニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定する

MENU ボタン→  [カスタム] → [アイセンサー]

[感度]	アイセンサーの感度を設定します。 [強] / [弱]
[LVF/ モニター切換]	モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。 [LVF/MON AUTO] (ファインダー / モニター自動切換) / [LVF] (ファインダー表示) / [MON] (モニター表示) ・ [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF/ モニター切換] の設定も切り換わります。

 アイセンサーが働くとカメラが自動的にピントを合わせる / 合わせない

MENU ボタン→  [カスタム] → [アイセンサー AF] → [ON] / [OFF]

- [アイセンサー AF] でピントが合っても電子音は鳴りません。
- 低照度時は、[アイセンサー AF] が働かない場合があります。



タッチパネル（タッチ操作）

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

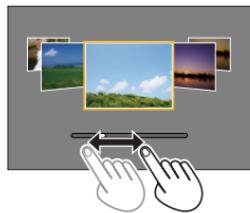
タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。アイコンの中央付近をタッチしてください。



ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。再生時は画像を送ることなどもできます。



ピンチする（広げる / 縮める）

タッチパネルを2本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、縮める（ピンチイン）と縮小します。



fc タッチ操作の有効 / 無効を設定する

MENU ボタン→ [カスタム] → [タッチ設定]

タッチパネル	すべてのタッチ操作。[OFF] に設定すると、ボタンやダイヤルでの操作のみになります。 [ON] / [OFF]
タッチタブ	画面右に表示される [□] などのタブをタッチして、タッチアイコンを表示するための操作。 [ON] / [OFF]
タッチ AF	タッチした被写体にピント、またはピントと明るさを合わせる操作。 [AF] (P.127) / [AF+AE] (P.131) / [OFF]
タッチパッド AF	ファインダー表示中にモニターをタッチして AF エリアを移動する操作。 (P.130) [絶対位置] / [相対位置] / [OFF]

タッチパネル（タッチ操作）

- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。（モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- ポールペンなどの先のとがった硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
- 次の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - ・手袋を着用している
 - ・タッチパネルがぬれている
 - ・タッチパネルを複数の手や指で同時にタッチしている



タッチパネル（タッチ操作）

画面をタッチして撮影する（タッチシャッター）

撮影モード: **A** **AV** **P** **AS** **M** **TV** **C** **SCN** **6**

画面に表示されている被写体をタッチするだけで、ピントを合わせて写真を撮影します。

1 [] をタッチする



2 [] をタッチする

- アイコンが [] に変わり、タッチシャッター撮影が可能になります。



3 撮影したい被写体をタッチする

- タッチシャッターを解除するとき
→ [] をタッチする



- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤く点灯したあと消えます。
- [測光モード] (P.146) が [] のときは、タッチした場所で測光を行います。画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

タッチパネル（タッチ操作）

狙った場所に簡単に明るさを合わせる（タッチ AE）

撮影モード: **P** **A** **S** **M** **SCN**

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 [] をタッチする



2 [] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- 【測光モード】はタッチ AE 専用の [] に変わります。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 【リセット】をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。



4 [決定] をタッチする

■タッチ AE 機能を解除するには

[] をタッチする

- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

- 次の場合、タッチ AE は使えません。

- デジタルズーム使用時
- ハイスピード動画撮影中
- 【カスタム】メニューの【タッチ設定】で、【タッチ AF】を【AF+AE】に設定時 (P.48)

メニューを使って設定する

メニューを使って、本機の設定や撮影機能の設定、再生機能の操作などが行えます。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

例) [撮影] メニューで、[クオリティ] を [▲▲] から [▲] に設定する

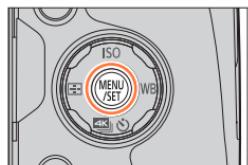
[MENU] ボタン →  [撮影] → [クオリティ] → [▲]

メニューを設定する

カーソルボタンを押したり、サイドダイヤルや後ダイヤルを回したりするボタン操作と、画面をタッチするタッチ操作の2つおりの操作でメニューを設定できます。

- モードにより、表示されるメニューの種類や項目は異なります。
- メニュー項目により、設定方法が異なります。

1 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを表示する

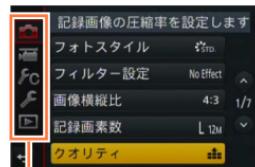


 [撮影] (P.319)	画像横縦比、画素数、4K フォトなどを設定できます。
 [動画] (P.320)	記録方式や画質などが設定できます。
 [カスタム] (P.321)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。また、変更した設定内容を登録しておくことができます。
 [セットアップ] (P.322)	時計設定や電子音音量の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
 [再生] (P.322)	画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に 対して設定ができます。

メニューを使って設定する

■メニューの種類を切り換えるとき

- ① ◀を押す
- ② ▲▼で [] などのメニュー切り替えアイコンを選ぶ
 - ・サイドダイヤルを回しても操作できます。
- ③ [MENU/SET] ボタンを押す



メニューの種類

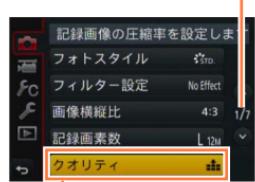
- タッチ操作 -

[] などのメニュー切り替えアイコンをタッチする

2 ▲▼でメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・後ダイヤルを回しても、メニュー項目を選択できます。
- ・[DISP.] ボタンを押したり、ズームレバーを回したりしても、ページを切り換えることができます。

ページ



メニュー項目

- タッチ操作 -

メニュー項目をタッチする

- ・[◎] / [◎] をタッチすると、ページを切り換えられます。

3 ▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・後ダイヤルを回しても、設定内容を選択できます。

- タッチ操作 -

設定内容をタッチして決定する

選択されている設定

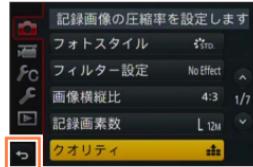


設定内容

メニューを使って設定する

4 撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し [Q.MENU ▶/◀] ボタンを押す

- 撮影時は、シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。



タッチ操作

[□] をタッチする



- [セットアップ] メニューの [メニュー位置メモリー] (P.67) を [ON] に設定していると、前回終了したメニュー項目を選択した状態の画面になります。お買い上げ時は [ON] に設定されています。
- [セットアップ] メニューの [メニューインフォメーション] (P.67) を [ON] に設定していると、メニュー項目 / 設定内容の説明文がメニュー画面に表示されます。



よく使うメニューをすぐに呼び出す（クイックメニュー）

一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

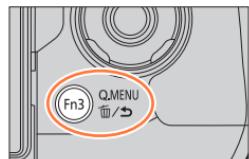
- モードや表示画面によっては設定できない項目があります。

【Q.MENU ▲/▼】ボタン / 【Fn3】ボタンは、【Q.MENU】と【Fn3】（ファンクション3）の2つおりの使い方ができます。

お買い上げ時は、【Q.MENU ▲/▼】ボタンとして使えます。

- ファンクションボタンについて詳しくは [57 ページ](#)をお読みください。

1 【Q.MENU ▲/▼】ボタンを押す



2 サイドダイヤルまたはズームレバーを回してメニュー項目を選ぶ

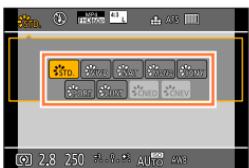
- ◀▶でも選択できます。



3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

- ▲▼◀▶でも選択できます。

4 【Q.MENU ▲/▼】ボタンを押してクイックメニューを終了する



【LCD】（モニタースタイル）のモニター撮影情報画面（P.42）でのクイックメニューの使用

（画面が表示されるまで、繰り返し【DISP.】ボタンを押す）

- 【Q.MENU ▲/▼】ボタンを押す
- 後ダイヤルを回して項目を選ぶ
- サイドダイヤルを回して設定内容を選ぶ
- 【Q.MENU ▲/▼】ボタンを押して設定内容を決定する

- ▲▼◀▶と【MENU/SET】ボタンでも設定できます。



よく使うメニューをすぐに呼び出す（クイックメニュー）

 クイックメニューの設定方法を切り換えるMENU ボタン→  [カスタム] → [Q.MENU]

[プリセット]：あらかじめ決められた項目を設定できます。

[カスタム]：項目をお好みで変更し、設定できます。（下記）

クイックメニューをお好みの項目に変更する

[カスタム] メニューの [Q.MENU] を [カスタム] に設定（上記）時は、クイックメニューをお好みで変更できます。クイックメニューは 15 項目まで設定しておくことができます。

1 [Q.MENU ] ボタンを押したあと、▼で [OK] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



上段：設定できる項目

2 ▲▼◀▶ で上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 上段に表示された項目は、グレーで表示されても設定できます。

3 ◀▶ で下段の空き項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 上段から下段へ項目をドラッグしても設定できます。
- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ替えて設定することができます。
- 設定を解除するには、▼で下段に移動し、解除する項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押してください。



下段：設定済みの項目

4 [Q.MENU ] ボタンを押す

- 上記手順 1 の画面に戻ります。撮影画面にするには [MENU/SET] ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン)

特定のボタン ([Fn1] ~ [Fn4]) または画面に表示されるアイコン ([Fn5] ~ [Fn9]) に、よく使う機能を割り当てることができます。

- ・ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
- ・モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン →  [カスタム] → [Fn ボタン設定]

2 ▲▼で [撮影時設定] または [再生時設定] を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼で機能を割り当てるファンクションボタンを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲▼で割り当てる機能を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- ・[撮影時設定] で割り当てられる機能については
(P.58)
- ・[再生時設定] で割り当てられる機能については
(P.59)
- ・ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す] を選んでください。



■モニター撮影情報画面からファンクションボタンを設定する

モニター撮影情報画面 (P.42) で [Fn] をタッチしても、手順 2 の画面を表示することができます。

よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

■撮影時にファンクションボタンを使う

ファンクションボタンを押すことで、割り当てた機能を使えます。

■タッチ操作でファンクションボタンを使う

① [Fn] をタッチする

② [Fn5]、[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9] のいずれかをタッチする



■[撮影時設定] で割り当てられる機能

【撮影】メニュー / 撮影機能

- 露出補正 (P.142) : [Fn1]*
- Wi-Fi (P.242) : [Fn5]*
- Q.MENU (P.55) : [Fn3]*
- LVF/モニター切換 (P.46) : [Fn4]*
- AF/AE LOCK (P.141)
- AF-ON (P.132、141)
- マクロ撮影モード (P.134)
- プレビュー (P.84)
- ワンプッシュ AE (P.85)
- タッチ AE (P.51)
- 水準器表示 (P.44) : [Fn6]*
- フォーカスエリア選択
- カーソルボタンロック
- ダイヤル動作切換 (P.38) : [Fn2]*
- フォトスタイル (P.104)
- フィルター選択 (P.106)
- 画像横縦比 (P.113)
- 記録画素数 (P.113)
- クオリティ (P.114)
- AFS/AFF (P.120)
- 測光モード (P.146)
- 連写速度 (P.149)
- 4K フォト (P.152) : [Fn9]*
- オートブラケット (P.164)
- セルフタイマー (P.166)
- ハイライトシャドウ (P.108)
- iオレンジコントロール (P.116)
- 超解像 (P.116)
- HDR (P.117)
- シャッター方式 (P.147)
- フラッシュモード (P.193)
- フラッシュ光量調整 (P.197)
- iA ズーム (P.188)
- デジタルズーム (P.189)
- 手ブレ補正 (P.185)
- ISO 感度 (P.143)
- ホワイトバランス (P.109)
- AF モード/MF (P.119)
- ドライブモード (P.148)
- デフォルトに戻す

【動画】メニュー

- スナップムービー (P.206) : [Fn8]*
- 動画記録方式 / 画質設定 (P.203)
- 写真撮影 (P.205)

【カスタム】メニュー

- サイレントモード (P.177)
- ピーキング (P.140)
- ヒストグラム表示 (P.43) : [Fn7]*
- ガイドライン表示 (P.43)
- ゼブラパターン表示 (P.182)
- モノクロライブビュー (P.183)
- 記録枠表示 (P.200)
- ズームレバー (P.190)
- サイドレバー (P.190)
- タッチパネル (P.48)

*お買い上げ時のファンクションボタン設定

よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

- [フォーカスエリア選択] 設定時は、AF エリアまたは MF アシストの位置設定画面を表示することができます。
- [カーソルボタンロック] 設定時は、カーソルボタン、[MENU/SET] ボタンの操作を無効にできます。もう一度、ファンクションボタンを押すと有効にできます。
- [手ブレ補正] 設定時は、[動作設定] のみ設定できます。
- 次の場合、[Fn2] ボタンに登録した機能は働きません。
 - ・インターバル撮影時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・インテリジェントオートモード時
 - ・インテリジェントオートプラスモード時
 - ・クリエイティブコントロールモード時
 - ・オートフォーカスマードを「カスタムマルチ」に設定時
 - ・4K フォトの「」(4K 連写 [S/S]) で撮影時
- 次の場合、[Fn3] ボタンに登録した機能は働きません。
 - ・クリエイティブコントロールモード設定時（[ジオラマ] [ワンポイントカラー] [サンシャイン]）
- ファインダー表示時は、[Fn5]、[Fn6]、[Fn7]、[Fn8]、[Fn9] は使えません。

再生時にファンクションボタンを使う

再生時にファンクションボタンを押すことで、選んだ画像に割り当てた機能を直接設定できます。

例) [お気に入り] を [Fn1] に設定した場合

1 ◀▶ で画像を選ぶ

2 [Fn1] ボタンを押し、画像に [お気に入り] 設定する



■ [再生時設定] で割り当てられる機能

- ・[Fn1]、[Fn2]、[Fn4] のボタンに以下の機能が割り当てられます。

再生メニュー / 再生機能

・ お気に入り (P.237) : [Fn1]*	・ 1 枚消去 (P.219)
・ プリント設定 (P.238)	・ OFF : [Fn2]*、[Fn4]*
・ プロテクト (P.239)	・ デフォルトに戻す

*お買い上げ時のファンクションボタン設定

[セットアップ] メニューを使う

【時計設定】、【エコモード】は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に設定を確認してください。

【セットアップ】メニューの設定方法は → 52 ページ

【時計設定】

日時と表示方法を設定します。 (P.30)

【ワールドタイム】

撮影日時を旅行先の現地時間に合わせます。

- ・【旅行先】の設定は、【ホーム】設定後に行えます。

設定：【旅行先】 / 【ホーム】

1 ▲▼で【旅行先】または【ホーム】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

2 ◀▶で地域を選択し、【MENU/SET】ボタンを押す

選んだ都市・地域の現在時刻



■ サマータイムを設定する場合

手順 2 で ▲ を押す（再度、押すと解除）

- ・サマータイム [✿②] を設定すると、現在時刻が 1 時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。

■ 旅行先から戻ってきた場合

手順 1 で【ホーム】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームとの時差を参考に設定してください。

[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 52 ページ

■ [トラベル日付]

旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。

■ トラベル日付設定

設定 : [設定] / [OFF]

- 1 ▲▼で [トラベル日付設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ▲▼◀▶で出発日を選択し、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲▼◀▶で帰着日を選択し、[MENU/SET] ボタンを押す

■ [旅行先] を記録する場合

[トラベル日付設定] が設定されているときは、旅行先を設定できます。

- ①上記の手順 1 で [旅行先] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ②▲▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③旅行先を入力する (文字入力方法 : P.70)

- 経過日数や旅行先をプリントするときは、[文字焼き込み] (P.231) を行うか、CD-ROM (付属) のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってプリントしてください。
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。[ワールドタイム] で旅行先を設定したときは、旅行先の日付を基に経過日数を表示します。
- [トラベル日付設定] を [OFF] に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に [トラベル日付設定] を [設定] にしても表示されません。
- 現在の日付が帰着日を経過した場合、[トラベル日付設定] は自動的に解除されます。
- AVCHD 動画には、[トラベル日付] を記録できません。
- 動画撮影時と 4K フォト撮影時、[旅行先] は記録できません。

■ [Wi-Fi]

設定 : [Wi-Fi 機能] / [Wi-Fi 設定]

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。 (P.243、283)



[セットアップ] メニューを使う

【セットアップ】メニューの設定方法は → 52 ページ

【電子音】

電子音や電子シャッター音を設定します。

■電子音音量

設定： (大) /  (小) /  (OFF)

■シャッター音音量

設定： (大) /  (小) /  (OFF)

■シャッター音音色

設定： /  / 

- [サイレントモード] を [ON] に設定時は、[電子音音量]、[シャッター音音量] は OFF になります。

【ライブビューモード】

撮影時の画面（ライブビュー画面）の表示速度・画質を設定します。

設定

30fps	30 コマ / 秒で表示します。 比較的動きの遅い被写体を、ピントをしっかりと確認しながら撮りたい場合などに適しています。電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
60fps	表示速度を優先し、60 コマ / 秒で表示します。 動きの速い被写体を撮影する場合などに適しています。

- [ライブビューモード] の設定は、撮影画像に影響はありません。
- 暗い場所では、表示速度が遅くなる場合があります。
- AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カブラー（別売：DMW-DCC8）使用時は、[ライブビューモード] は [60fps] に固定されます。
- 撮影時での HDMI 出力中は、[ライブビューモード] は無効になります。



[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 52 ページ

【モニター調整】 / 【LVF 調整】

モニター / フайнダーの明るさや色合いを調整します。

設定

☀ 明るさ	明るさを調整します。
◐ コントラスト	明暗差を調整します。
◑ 彩度	色の鮮やかさを調整します。
☽ 赤み	赤みを調整します。
☽ 青み	青みを調整します。

1 ▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する

- ・後ダイヤルを回しても、調整できます。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。



[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 52 ページ

【モニター輝度】

周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。

設定

 (AUTO)	周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。
 (MODE1)	モニターを明るくします。
 (MODE2)	モニターを標準的な明るさにします。
 (MODE3)	モニターを暗くします。

- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。
- 「MODE1」は、撮影時に30秒間操作をしないと通常の明るさに戻ります。(いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチすると再び明るくなります)
- 「AUTO」または「MODE1」を設定すると、使用時間が減少します。
- 再生時は、「AUTO」は選択できません。
- AC アダプター (別売: DMW-AC10) および DC カブラー (別売: DMW-DCC8) 使用時の初期設定は「MODE2」になります。



[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 52 ページ

■ [エコモード]

使わない間や、設定した時間の間に操作しない場合、電源を切ったり、モニターを暗くしてバッテリーの消耗を防ぎます。

■スリープモード

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源が切れます。

設定：[10 分] / [5 分] / [2 分] / [1 分] / [OFF]

- 解除するとき→シャッターボタン半押し、または電源スイッチを [OFF] にしてからもう一度 [ON] にする

■LVF/ モニター自動 OFF

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニター / ファインダーが消灯します。

設定：[5 分] / [2 分] / [1 分]

- 解除するとき→いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチする

- 次の場合、働きません。
 - 動画撮影 / 再生時
 - 4K フォトの [] (4K ブリ連写) で撮影時
 - [多重露出] 設定時
 - パソコン・プリンター接続時
 - スライドショー中
 - [インターバル撮影] 設定時
 - [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)
 - 撮影時での HDMI 出力中
- AC アダプター (別売：DMW-AC10) および DC カプラー (別売：DMW-DCC8) 使用時は、[スリープモード] は働きません。
- AC アダプター (別売：DMW-AC10) 使用時は、[LVF/ モニター自動 OFF] は [5 分] に固定されます。



[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 52 ページ

[USB モード]

USB 接続ケーブル（付属）でパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。

設定

 接続時に選択	パソコンまたは PictBridge 対応プリンターに接続したときに、接続方法を選ぶ場合に設定します。
 PictBridge(PTP)	PictBridge 対応プリンターに接続するときに設定します。
 PC	パソコンに接続するときに設定します。

[テレビ接続設定]

本機をテレビなどに接続したときの設定を変更します。

■テレビ画面タイプ

AV ケーブル（別売）接続時に働きます。

設定：[16:9] / [4:3]

■HDMI 出力解像度（再生時）

HDMI マイクロケーブルを使って本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI 出力の映像方式を設定します。

設定

AUTO	接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。
4K	有効走査線数 2160 本のプログレッシブ方式で、サイズが 3840 × 2160 の出力をします。
1080p	有効走査線数 1080 本のプログレッシブ方式で出力します。
1080i	有効走査線数 1080 本のインターレース方式で出力します。
720p	有効走査線数 720 本のプログレッシブ方式で出力します。
480p	有効走査線数 480 本のプログレッシブ方式で出力します。

- [AUTO] に設定していて映像がテレビに出ないときは、[AUTO] 以外の固定された設定に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。（テレビの取扱説明書もお読みください）

[セットアップ] メニューを使う

■HDMI 情報表示（撮影時）

テレビなどで本機の画面をモニターしながら撮影するときに、情報も表示するかしないかを設定します。

設定

ON	本機の表示をそのまま出力する。
OFF	本機の表示のうち、映像のみを出力する。

- HDMI マイクロケーブル接続時に働きます。

■ビエラリンク

本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。 (P.289)

設定

ON	ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。 ・すべての操作はできません。 ・本機のボタンでの操作は制限されます。
OFF	本機のボタンでの操作になります。

[セットアップ] メニューの設定方法は → 52 ページ

[メニュー位置メモリー]

最後に操作したメニューの選択位置を記憶します。

設定 : [ON] / [OFF]

[メニュー背景色]

メニュー画面の背景色を設定します。

[メニューインフォメーション]

メニュー画面にメニュー項目 / 設定内容の説明文を表示します。

設定 : [ON] / [OFF]



[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 52 ページ

[バージョン表示]

本体のファームウェアのバージョンを確認できます。

- バージョン表示中に [MENU/SET] ボタンを押すと、ライセンスなど本機のソフトの情報が表示されます。

[露出補正リセット]

撮影モードを変更したとき、または本機の電源 OFF 時に露出補正をリセットします。

設定 : [ON] / [OFF]

[セルフタイマー自動解除]

電源スイッチを [OFF] にすると、セルフタイマーが解除されます。

設定 : [ON] / [OFF]

[番号リセット]

画像のファイル番号をリセットします。(新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を 0001 にリセットします)

- フォルダー番号を 100 にリセットするには :

まず、カードを本機でフォーマットし、[番号リセット] で [はい] を選びます。その後、フォルダー番号のリセット画面で [はい] を選びます。

- フォルダー番号は 100 ~ 999 まで作成されます。

フォルダー番号が 999 になるとリセットできません。必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。 (P.26)



[セットアップ] メニューを使う

[セットアップ] メニューの設定方法は → 52 ページ

【設定リセット】

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

■撮影設定（[個人認証]、[プロフィール設定] 以外）とドライブモード

■撮影設定（[個人認証]、[プロフィール設定] の設定内容）

■セットアップ / カスタム設定

- セットアップ / カスタム設定をリセットした場合、以下もリセットされます。
 - ・[ワールドタイム] の設定内容
 - ・[トラベル日付] の設定内容（出発日、帰着日、旅行先）
 - ・[再生] メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容
- フォルダーファイル名、時計設定はリセットされません。

【Wi-Fi 設定リセット】

[Wi-Fi] で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- PicMate のログイン ID はリセットされません。

【フォーマット】

カードをフォーマット（初期化）します。 (P.26)



文字を入力する

個人認証機能、[プロフィール設定] の赤ちゃんやペットの名前、[トラベル日付] の旅行先などを登録するときは、カーソルボタンを使って文字を入力します。

- ・画面を表示するための操作の例：

MENU ボタン →  [撮影] → [プロフィール設定] → [設定] → [赤ちゃん 1] → [名前] → [設定]

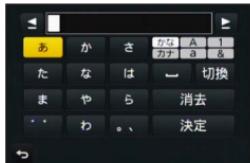
1 ▲▼◀▶で文字を選ぶ

2 希望の文字が表示されるまで [MENU/SET] ボタンを押す

- ・[]：空白を入力できます。

■ 文字の種類を切り換えるとき

- ・[DISP.] ボタンを押す
- ・▲▼◀▶で [切換] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



■ 続けて文字を入力するとき

- ・▲▼◀▶で [] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ・ズームレバーを T 側に回す
- ・後ダイヤルを反時計回りに回す

■ 文字を修正するとき

- ①▲▼◀▶で [] [] を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、修正する文字にカーソル位置を移動する
 - ・サイドダイヤルまたは後ダイヤルでもカーソル位置を移動できます。
- ②▲▼◀▶で [消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③▲▼◀▶で正しい文字を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 入力が終わったら、▲▼◀▶で [決定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する

● 漢字は入力できません。

● 入力できる文字数は以下のとおりです。

 ：最大 15 文字（[個人認証] の名前設定時は最大 6 文字）

    *：最大 30 文字（[個人認証] の名前設定時は最大 9 文字）

* []、[[]]、[[]]、[[·]]、[[-]] は最大 15 文字（[個人認証] の名前設定時は最大 6 文字）

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

撮影モード：**[IA]** **[IA]**

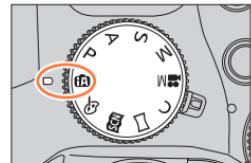
被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

(○：設定可、×：設定不可)

	[IA] インテリジェントオートプラスモード	[IA] インテリジェントオートモード
明るさ（露出）設定	○	×
色合い設定	○	×
ボケ味コントロール	○	○
設定できるメニュー	(P.77)	

1 モードダイヤルを **[IA]** に合わせる

- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。
(P.76)



2 被写体にカメラを向ける

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。
(自動シーン判別)



オートフォーカス / 顔・瞳認識 / 個人認証

オートフォーカスモードは自動で **[AF]** に設定されます。被写体をタッチすると **[FE]** に切り換わり、追尾AF機能が働きます。

カーソルボタンの◀またはサイドボタン*を押しても、**[FE]** に切り換わります。被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しすると追尾AF機能が働きます。追尾AFについて、詳しくは [123ページ](#)をお読みください。

* [カスタム] メニューの [サイドボタン設定] を **[AF]** / **[FOCUS]** に設定時

- **[i]**、**[i^2]**、**[i^3]** のとき、ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、ピントを合わせる目を変えることはできません。（顔・瞳認識）
- 追尾AF時は、被写体をロックするまで自動シーン判別は働きません。
- [個人認証] を **[ON]** に設定時 (P.178)、登録した顔に近い顔を認識すると、**[i]**、**[i^2]**、**[i^3]** の右上に **[R]** が表示されます。

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

フラッシュ

フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で [iA]、[iS]（赤目軽減オート）、[iM] または [iS] に設定します。

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。（P.191）
- [iA] と [iM] のときは、[デジタル赤目補正] 機能が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。
- [iS] と [iS] のときは、シャッタースピードが遅くなります。

自動シーン判別

写真撮影時

i 人物	i 風景	i マクロ	i 夜景 & 人物※1
i 夜景	i 手持ち夜景※2	i 料理	i 赤ちゃん※3
i 夕焼け	i どのシーンにも当てはまらないとき		

※1 内蔵フラッシュを開いているときのみ表示

※2 [i 手持ち夜景] が [ON] の場合（P.73）

※3 個人認証機能で登録した乳幼児（3歳未満）を認識したとき

- [iA] と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 4K フォト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

動画撮影時

i 人物	i 風景	i ローライト	i マクロ
i どのシーンにも当てはまらないとき			

- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

逆光補正について

インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像を明るくすることにより自動で逆光補正します。

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

手持ちで夜景を撮る（i手持ち夜景）

撮影モード： 

【i手持ち夜景】は手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない写真を記録できる機能です。

MENU ボタン→  [撮影] → [i手持ち夜景] → [ON] / [OFF]

- 画角がわずかに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 三脚などでカメラを固定しているときは、[] と判別されません。
- フラッシュは []（発光禁止）に固定されます。
- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 次の場合、[i手持ち夜景] は使えません。
 - 4K フォト撮影時
 - [クオリティ] を [RAW^{Hi}] [RAW^{Lo}] [RAW] に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

階調豊かな写真に合成する（iHDR）

撮影モード： 

【iHDR】は背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成する機能です。

【iHDR】は必要に応じて働きます。働くときは、画面に【HDR】が表示されます。

MENU ボタン→  [撮影] → [iHDR] → [ON] / [OFF]

- 画角がわずかに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。
- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 次の場合、[iHDR] は使えません。
 - フラッシュ撮影時
 - 連写撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - オートブレacket撮影時
 - [クオリティ] を [RAW^{Hi}] [RAW^{Lo}] [RAW] に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

■ 背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）

撮影モード： 

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 [Fn2] ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する



ボケ具合が大きい



ボケ具合が小さい



- ・[MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

■ タッチパネル操作時

①  をタッチする②  をタッチして、設定画面を表示する

③ 露出メーターをドラッグして設定する

- ・[MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



- ボケ具合の設定画面で [Fn2] ボタンを押すと、設定が解除されます。
- インテリジェントオート（[IA] または [IA-T]）モードでは、オートフォーカスモードが  になります。画面をタッチすると、AF エリアの位置を設定できます。（大きさは変更できません）

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

明るさ（露出）や色合いを変えて撮る

撮影モード：

明るさ（露出）を設定する

1  ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して明るさ（露出）を調整する

- もう一度  ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



色合いを設定する

1 ▶ を押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



■タッチパネル操作時

①  をタッチする

② 設定する項目をタッチする

[]：色合い[]：明るさ（露出）

③ スライドバーをドラッグして設定する

- 【MENU/SET】ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



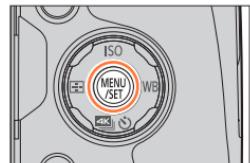
- 設定した色合いは、電源スイッチを [OFF] にする、または他の撮影モードに変更すると、標準（中心点）に戻ります。

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードについて

■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには

1 [MENU/SET] ボタンを押す



2 ◀を押す

3 ▲▼で [IA+] または [IA] タブを選ぶ

・サイドダイヤルを回しても操作できます。

4 ▶で [IA+] または [IA] を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

設定できるメニューについて

以下のメニューのみ設定できます。

[A] インテリジェントオートプラスモード

メニュー	項目
撮影	[フォトスタイル] / [画像横縦比] / [記録画素数] / [クオリティ] / [AFS/AFF] / [連写速度] / [4K フォト] / [オートブラケット] / [セルフタイマー] / [i 手持ち夜景] / [iHDR] / [インターバル撮影] / [コマ撮りアニメ] / [シャッター方式] / [コンバージョン] / [色空間] / [手ブレ補正] / [個人認証] / [プロファイル設定]
動画	[フォトスタイル] / [スナップムービー] / [記録方式] / [画質設定] / [AFS/AFF] / [AF 連続動作] / [コンバージョン] / [マイクレベル表示] / [マイクレベル設定] / [専用マイク設定] / [マイクレベルリミッター] / [風音キャンセラー] / [風音低減] / [ズームマイク]
カスタム	[サイレントモード] / [シャッター半押しリリーズ] / [ピンポイント AF 時間] / [ピンポイント AF 表示] / [フォーカス / リリーズ優先] / [AF+MF] / [MF アシスト] / [MF アシスト表示] / [MF ガイド] / [ピーキング] / [ヒストグラム表示] / [ガイドライン表示] / [センターマーカー表示] / [ハイライト表示] / [ゼブラパターン表示] / [モノクロライブビュー] / [常時プレビュー (M モード)] / [ダイヤル操作ガイド] / [LVF 表示スタイル] / [モニター表示スタイル] / [モニター撮影情報画面] / [記録枠表示] / [残枚数 / 残時間切換] / [オートレビュー] / [Fn ボタン設定] / [サイドボタン設定] / [ズームレバー] / [サイドレバー] / [ズーム位置メモリー] / [Q.MENU] / [ダイヤル設定] / [動画ボタン] / [アイセンサー] / [タッチ設定] / [タッチ再生送り速度] / [メニューガイド]
セットアップ	すべてのメニュー項目が設定できます。 (P.60)

[A] インテリジェントオートモード

メニュー	項目
撮影	[画像横縦比] / [記録画素数] / [AFS/AFF] / [連写速度] / [4K フォト] / [セルフタイマー] / [i 手持ち夜景] / [iHDR] / [インターバル撮影] / [コマ撮りアニメ] / [個人認証]
動画	[スナップムービー] / [記録方式] / [画質設定] / [AFS/AFF] / [専用マイク設定]
カスタム	[サイレントモード] / [ガイドライン表示] / [残枚数 / 残時間切換]
セットアップ	すべてのメニュー項目が設定できます。 (P.60)



絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る (プログラム AE モード)

撮影モード: P

被写体の明るさに応じて、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルを [P] に合わせる

2 シャッターボタンを半押しする

- 適正な露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色点滅します。

3 数値が表示されている間（約 10 秒間）に、 後ダイヤルを回してプログラムシフトする

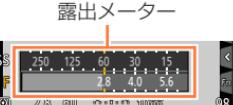
- [カスタム] メニューの [サイドボタン設定] を [F/SS] に設定後、サイドダイヤルを回しても操作できます。(P.40)
- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを [OFF] にするか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回してください。
- ファンクションボタンに [ワンプッシュ AE] を設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。(P.85)
- シャッタースピードが遅いとき、カメラが自動的にノイズを取り除くため、「長秒ノイズ除去中」と表示される場合があります。
ノイズ除去には、信号処理のためシャッタースピードと同じ時間を要しますが、きれいな画像を撮影することができます。



Fc 露出メーターを表示する / しない

MENU ボタン→Fc [カスタム] → [露出メーター] → [ON] / [OFF]

- [ON] に設定すると、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。(P.42)
- 約 4 秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。

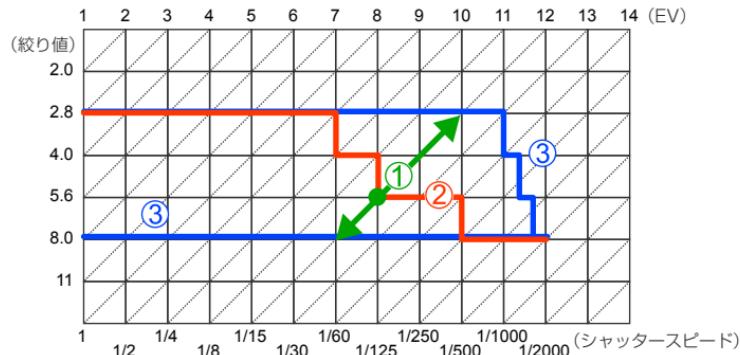


絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る（プログラム AE モード）

プログラムシフトについて

同じ露出（明るさ）になるように、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変更する機能を「プログラムシフト」といいます。プログラムシフトを使うと、プログラム AE モードでもシャッタースピードや絞り値を調整して撮影できます。

<プログラムシフトの例>



①プログラムシフト量

各EV値での、カメラが自動的に設定する絞りとシャッタースピードを表しています。

②プログラムシフト線図

各EV値での、プログラムシフトで変えられる、絞りとシャッタースピードの組み合わせの範囲を表しています。

③プログラムシフト限界

本機でプログラムシフトすることで選べる絞りとシャッタースピードの範囲を表しています。

- 次の場合、プログラムシフトは使えません。

- 4K フォト撮影時
- ISO 感度を **[ISO]** に設定時

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード : **A** **S** **M**

- ・設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、[プレビューモード]をお使いください。(P.84)
- ・画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- ・シャッタースピードが遅いとき、カメラが自動的にノイズを取り除くため、「長秒ノイズ除去中」と表示される場合があります。
ノイズ除去には、信号処理のためシャッタースピードと同じ時間を要しますが、きれいな画像を撮影することができます。

絞り値を決めて撮る（絞り優先 AE モード）

絞り値を大きくすると、ピントが合う奥行きが広がり、手前から背景までくっきりと写ります。絞り値を小さくすると、ピントが合う奥行きが狭くなり、背景をぼかしたりできます。

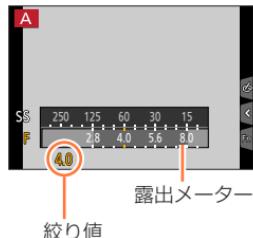
1 モードダイヤルを【A】に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

- ・[カスタム] メニューの [サイドボタン設定] を [F/SS] に設定後、サイドダイヤルを回しても操作できます。(P.40)

設定可能な絞り値*	設定されるシャッタースピード（秒）
F2.8 ~ F8.0	60 ~ 1/4000 (メカシャッター使用時) 1 ~ 1/16000 (電子シャッター使用時)

*コンバージョンレンズ（別売）使用時は、選べない絞り値があります。



- ・後ダイヤルまたはサイドダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正露出でない場合は、赤色で表示されます。
- ・シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

シャッタースピードを決めて撮る（シャッター優先 AE モード）

シャッタースピードを速くすると、被写体のブレを抑えて撮影できます。シャッタースピードを遅くすると、被写体の動きを表現できます。

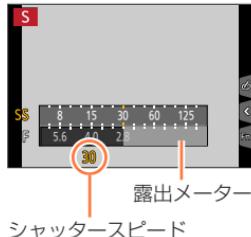
1 モードダイヤルを【S】に合わせる

2 後ダイヤルを回して、シャッタースピードを設定する

- ・[カスタム] メニューの [サイドボタン設定] を [F/SS] に設定後、サイドダイヤルを回しても操作できます。（P.40）

設定可能なシャッタースピード（秒）	設定される絞り値
60 *～1/4000（メカシャッター使用時）	F2.8～F8.0
1～1/16000（電子シャッター使用時）	

*ISO 感度の設定により変わります。



- 後ダイヤルまたはサイドダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正露出でない場合は、赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- ISO 感度が [■ISO] のときに、撮影モードをシャッター優先 AE モードに切り換えると、ISO 感度は [AUTO] になります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚やセルフタイマーの使用をお勧めします。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

絞り値とシャッタースピードを決めて撮る（マニュアル露出モード）

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

1 モードダイヤルを【M】に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値を設定する

- 【】ボタン / 【Fn1】ボタンを押すごとに、シャッタースピード設定操作と絞り値設定操作が切り替わります。
- 【カスタム】メニューの【サイドボタン設定】を【F/SS】に設定後、サイドダイヤルを回しても操作できます。（P.40）
サイドダイヤルで絞り値を、後ダイヤルでシャッタースピードを設定することもできます。【】ボタン / 【Fn1】ボタンを押すと、両ダイヤルの設定操作を切り換えることができます。



露出メーター



絞り値 マニュアル露出
アシスト
シャッタースピード

設定可能な絞り値 ^{※1}	設定可能なシャッタースピード ^{※2} （秒）
F2.8 ~ F8.0	B (バルブ)、 60 ^{※3} ~ 1/4000 (メカシャッター使用時) 1 ~ 1/16000 (電子シャッター使用時)

^{※1} コンバージョンレンズ（別売）使用時は、選べない絞り値があります。

^{※2} 絞り値によっては選べない値があります。

^{※3} ISO 感度の設定により変わります。

【】ボタン / 【Fn1】ボタンは、【】（露出補正）と【Fn1】（ファンクション1）の2通りの使い方ができます。お買い上げ時は、【】が設定されています。【Fn1】ボタン以外に、露出補正機能を割り当てたファンクションボタンでもシャッタースピード設定操作と絞り値設定操作の切り替えができます。

- 後ダイヤルまたはサイドダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- ISO 感度が【ISO】のときに、撮影モードをマニュアル露出モードに切り換えると、ISO 感度は【AUTO】になります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚やセルフタイマーの使用をお勧めします。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

 **シャッタースピードと絞り値にISO感度を合わせる**

ISO感度を【AUTO】に設定時、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるよう、ISO感度をカメラが自動的に設定します。

- 撮影条件により、適正露出にならなかつたり、ISO感度が高くなる場合があります。

 **マニュアル露出アシスト（目安）**

	標準的な明るさ（適正露出）に写ります。
	明るく写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
	暗く写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

B（バルブ）について

シャッタースピードをB（バルブ）に設定し、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。（最大約60秒間）

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときには使います。

- バルブ撮影時は、十分に充電されたバッテリー（P.20）を使用してください。
- マニュアル露出アシストは表示されません。
- ISO感度を【AUTO】に設定時、ISO感度は【100】に切り換わります。
- 電子シャッター使用時は使えません。

 ●バルブ撮影時は、手ブレ防止のために、三脚またはシャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、307ページをお読みください。

 **撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認する / しない**

MENUボタン→ [カスタム]→【常時プレビュー（Mモード）】→【ON】/【OFF】

- フラッシュ使用時は働きません。フラッシュを閉じてください。
- マニュアル露出モードでのみ使えます。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する (プレビュー モード)

撮影モード: **A** **AV** **P** **AS** **M** **TV** **C** **SCN** **6**

プレビュー モードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

- ・**絞り効果の確認**: 実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度（ピントの合っている範囲）を確認することができます。
- ・**シャッタースピード効果の確認**: 実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。シャッタースピードを速く設定すると、画面表示がコマ落としのように表示されます。水の流れなど、動きを止めて撮影したいときに確認してください。

1 ファンクションボタンに [プレビュー] を設定する (P.57)

- ・次の手順は、[Fn3] ボタンに [プレビュー] を設定した場合の例です。

2 [Fn3] ボタンを押して効果確認画面を切り換える

- ・[Fn3] ボタンを押すごとに画面が切りわります。


 **被写界深度の性質**

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い（狭い） 例：背景をぼかして撮りたいときなど	深い（広い） 例：背景までピントを合わせて撮りたいときなど	

- プレビュー モード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果確認のできる範囲は、8 秒～1/16000 秒です。
- 4K フォトの [4K] (4K ブリ連写) では使用できません。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

絞り / シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる (ワンプッシュ AE)

撮影モード: **IA** **FA** **P** **A** **S** **M** **MEMO** **C** **SCN** **6**

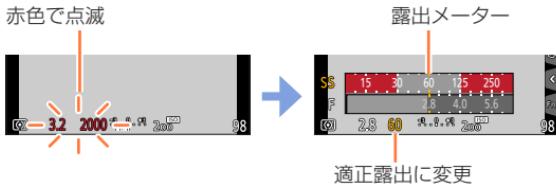
露出の設定が明るすぎるすぎたり、暗すぎたとき、ワンプッシュ AE を使うと簡単に適正露出に合わせることができます。

適正露出でないときの見分け方

- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが 以外で表示されたとき。マニュアル露出アシストについて詳しくは [83 ページ](#) をお読みください。

1 ファンクションボタンに [ワンプッシュ AE] を設定する (P.57)

2 (適正露出でないときに) ファンクションボタンを押す



- クリエイティブ動画モードの場合、露出メーターは表示されません。
- 次の場合、適正露出に合わせることができません。
 - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
 - フラッシュ撮影時
 - プレビュー mode 時 (P.84)

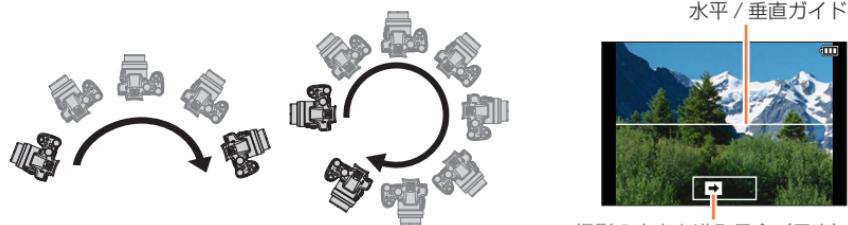
パノラマ写真を撮る（パノラマモード）

撮影モード：□

カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

- 1 モードダイヤルを [□] に合わせる
- 2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる
- 3 シャッターボタンを全押しして、撮影方向へ小さな円を描くよう
にカメラを動かして撮影する

左から右に撮影する場合



水平 / 垂直ガイド



画像サイズ：標準の場合

画像サイズ：ワイドの場合

- ・一定の速さでカメラを動かしてください。
- ・速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

- 4 もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- ・撮影中に途中でカメラの動きを止めて、撮影を終了できます。
- ・ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

パノラマ写真を撮る（パノラマモード）

■パノラマ写真の撮影方向や画角（画像サイズ）を変更する

MENU ボタン→  [撮影] → [パノラマ設定]

撮影方向	撮影する向きを設定します。 [→] / [←] / [↑] / [↓]
画像サイズ	画角（画像サイズ）を設定します。 [標準]：画質を優先した設定です。 [ワイド]：画角を優先した設定です。 ・同じ画角を撮影した場合、[標準] で撮影すると記録画素数が大きくなります。

- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、画像サイズや撮影方向、合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

画像サイズ	撮影方向	横	縦
標準	水平方向	8176 画素	1920 画素
	垂直方向	2560 画素	7680 画素
ワイド	水平方向	8176 画素	960 画素
	垂直方向	1280 画素	7680 画素

 撮影のコツ

- 揺れないように、撮影方向へカメラを動かす。
(揺れが大きいと撮影できなかったり、出来上がりのパノラマ写真が細く（小さく）なります。)



撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
(最後の 1 コマは端まで記録されません)

■再生について

- ▲を押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

- スクロール再生中は、以下の操作が行えます。

		パノラマ再生開始 / 一時停止*
		停止



*一時停止中は、画面をドラッグしてスクロールを進めたり戻したりすることができます。スクロールバーをタッチすると、タッチした位置まで再生位置がジャンプします。

パノラマ写真を撮る（パノラマモード）

- ズーム位置はW端に固定されます。
- ピント、ホワイトバランス、露出は、最初の1枚目の画像に最適な値に固定されます。このために、撮影の途中の画像でピント位置や明るさが極端に異なる場合、パノラマ写真全体で一様なピントや明るさに撮影されない場合があります。
- 複数画像を合成してパノラマ写真を作成するため、被写体がゆがんだり、つなぎ目が目立つ場合があります。
- [シャッター方式]は[電子シャッター]に固定されます。
- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
 - ・単調な色や模様が続く被写体（空や砂浜など）
 - ・動いている被写体（人やペット、自動車、波、風に揺れる花など）
 - ・短時間で色や模様が変化する被写体（ディスプレイに映った画像など）
 - ・暗い場所
 - ・蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所



撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

撮影モード : **SCN**

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを **[SCN]** に合わせる

2 ◀▶でシーンを選ぶ

- 作例写真やスライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。



3 [MENU/SET] ボタンを押す



- 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。
- 【カスタム】メニューの【メニューガイド】で、モードダイヤルを切り換えたときに選択画面を表示するか、撮影画面を表示するかを選べます。 (P.92)



■シーンを選ぶ画面の表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える

- ガイド表示では、各シーンの詳しい説明や撮影のヒントが表示されます。



- 次のシーンでは、撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。 [水面をキラキラ撮る] / [イルミネーションをキラキラ撮る] / [花をぶんわり撮る]
- シーンガイドモードを変更したい場合は、メニュー画面で **[SCN]** タブを選び、[シーン切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと上記の手順 2 に戻ります。
- シーンガイドモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
 - [フォトスタイル] の画質調整以外の項目 / ISO 感度 / [測光モード] / [ハイライトシャドウ] / [HDR] / [多重露出]
- シーンによってはホワイトバランスは [AWB] に固定されますが、撮影画面でカーソルボタンの▶を押すとホワイトバランスの微調整やホワイトバランスプラケットが使えます。 (P.111, 112)

撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

シーンガイドモードの設定方法は → 89 ページ

1 人物をきれいに撮る

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

2 人物の肌をきれいに撮る

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

3 逆光でふんわり撮る

4 逆光でしっかり撮る

- フラッシュを開いてください。([Flash] に設定できます)
- 被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。

5 ほのぼのした雰囲気で撮る

6 子どもをかわいく撮る

- 顔をタッチするとタッチした場所にピントや露出が合い、写真が撮影されます。
- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

7 風景をきれいに撮る

8 青空をさわやかに撮る

9 夕焼けを幻想的に撮る

10 夕焼けを印象的に撮る

11 水面をキラキラ撮る

- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。



撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

シーンガイドモードの設定方法は → 89 ページ

12 夜景をきれいに撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります、信号処理のため異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

13 夜空をクールに撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります、信号処理のため異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

14 夜景を暖かく撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります、信号処理のため異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

15 夜景をアーティスティックに撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります、信号処理のため異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

16 イルミネーションをキラキラ撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります、信号処理のため異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

17 夜景を手持ちで撮る

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 画角がわずかに狭くなります。

18 夜景をバックに人物をきれいに撮る

- フラッシュを開いてください。([S°] に設定できます)
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- 撮影後に、シャッターが閉じたままになることがあります、信号処理のため異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

シーンガイドモードの設定方法は → 89 ページ

19 花をふんわり撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 近距離で撮影する場合は、画面の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

20 料理をおいしそうに撮る

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

21 スイーツをかわいく撮る

- ズームはできるだけ望遠にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

22 動くペットをきちんと撮る

- [AF補助光] の初期設定は [OFF] になります。 (P.133)

23 スポーツをきれいに撮る

24 モノクロで撮る

 モードダイヤルを [SCN] / [♪] に切り換えたときに選択画面を表示する / しない

MENU ボタン →  [カスタム] → [メニューガイド]

[ON] : 選択画面を表示

[OFF] : 現在選択されている撮影画面を表示

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

撮影モード：

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

- 1 モードダイヤルを [] に合わせる
- 2 ▲▼で画像効果（フィルター）を選ぶ

- ・作例写真をタッチして選ぶこともできます。



- 3 [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することができます。
- カスタムメニューの【メニューガイド】で、モードダイヤルを切り換えたときに選択画面を表示するか、撮影画面を表示するかを選べます。（P.92）



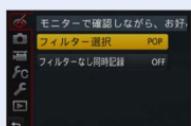
■ 画像効果（フィルター）を選ぶ画面の表示を切り換えるには

[DISP.] ボタンを押して切り換える

- ・ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。



- 次の画像効果では、撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのようになります。
【ラフモノクローム】【シルキーモノクローム】【ジオラマ】【ソフトフォーカス】
【クロスフィルター】【サンシャイン】
- ホワイトバランスは【AWB】に、ISO 感度は【AUTO】に固定されます。
- [] メニューで、以下のメニュー項目が設定できます。
 - 【フィルター選択】：画像効果（フィルター）選択画面を表示します。
 - 【フィルターなし同時記録】：画像効果を加えない写真を同時に記録する設定ができます。（P.107）



画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単に好みに合わせることができます。

1 ▶ を押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して画像効果を調整する

- 調整できる項目は、選択している画像効果により異なります。
- 【MENU/SET】ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
- 画像効果の設定を行うと、画面に【】が表示されます。
- 設定を変えない場合は、中心（標準）を選んでください。



画像効果	調整できる項目
【ポップ】	鮮やかさ 落ち着いた色合い  派手な色合い
【レトロ】	色合い 黄色っぽい色  赤っぽい色
【オールドデイズ】	コントラスト 明暗差が小さい  明暗差が大きい
【ハイキー】	色合い ピンクっぽい色  水色っぽい色
【ローキー】	色合い 赤っぽい色  青っぽい色
【セピア】	コントラスト 明暗差が小さい  明暗差が大きい
【モノクローム】	色合い 黄色っぽい色  青っぽい色
【ダイナミックモノクローム】	コントラスト 明暗差が小さい  明暗差が大きい
【ラフモノクローム】	粒子感 粒子感が弱い  粒子感が強い
【シルキーモノクローム】	ボケ具合 ボケ具合が小さい  ボケ具合が大きい
【インプレッシブアート】	鮮やかさ 白黒  派手な色合い
【ハイダイナミック】	鮮やかさ 白黒  派手な色合い

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

画像効果	調整できる項目
[クロスプロセス]	<p>色合い 緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色</p> <p>・後ダイヤルを回して発色させる色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。</p> 
[トイフォト]	<p>色合い オレンジっぽい色 ↔ 青っぽい色</p>
[トイポップ]	<p>周辺光量が落ちる範囲 小さい ↔ 大きい</p>
[ブリーチバイパス]	<p>コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい</p>
[ジオラマ]	<p>鮮やかさ 落ち着いた色合い ↔ 派手な色合い</p> <p>・[ジオラマ]について詳しくは (P.97)</p>
[ソフトフォーカス]	<p>ボケ具合 ボケ具合が小さい ↔ ボケ具合が大きい</p>
[ファンタジー]	<p>鮮やかさ 落ち着いた色合い ↔ 派手な色合い</p>
[クロスフィルター]	<p>光の輝きの長さ 輝きが短い ↔ 輝きが長い</p> <p>光の輝きの数 輝きが少ない ↔ 輝きが多い</p> <p>光の輝きの角度 輝きを左に回転 ↔ 輝きを右に回転</p>
[ワンポイントカラー]	<p>残す色の量 少し色を残す ↔ 多く色を残す</p> <p>・[ワンポイントカラー]について詳しくは (P.98)</p>
[サンシャイン]	<p>色合い 黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色</p> <p>・後ダイヤルを回して色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。</p>  <p>・[サンシャイン]について詳しくは (P.98)</p>

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

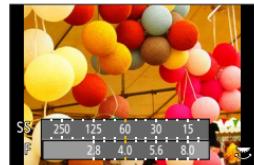
背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 [Fn2] ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して設定する

- ・[MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- ・ボケ具合の設定画面で [Fn2] ボタンを押すと、設定が解除されます。



- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、ボケ味コントロール機能を使えません。

明るさ（露出）を設定する

1 [] ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して設定する

- ・もう一度 [] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



■タッチパネルで設定を変える

- ① [] をタッチする
- ② 設定する項目をタッチする
 - [] : 画像効果の調整
 - [] : ボケ具合
 - [] : 明るさ（露出）

- ③ スライドバーをドラッグして設定する
 - ・[MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

[ジオラマ]

■ぼかし方の設定

[ジオラマ] では、ぼかす部分とぼかさない部分を意図的に作ることで、模型を撮影したような効果を描き出します。撮影する向き（ぼかす向き）やぼかさない部分の位置、大きさを設定することができます。

① [Fn3] ボタンを押す

- ・ [□] をタッチしたあと、[□] をタッチしても表示できます。

② ▲▼または◀▶でぼかさない部分を移動する

- ・撮影画面で画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
- ・ [□] をタッチすると、撮影する向き（ぼかす向き）を設定できます。



③ 後ダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する

- ・画面をピンチアウト / ピンチイン（P.48）しても、拡大 / 縮小できます。
- ・ [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。

④ [MENU/SET] ボタンを押す

- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10 の時間で記録されます。（10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります）表示される記録可能時間は約 10 倍になります。撮影モードを切り換えたときは、記録可能時間を確認してください。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。撮影が終わるまで、カメラを構えたままお待ちください。
- フォーカスマードが [MF] の場合、ピントを合わせた場所にぼかさない部分を移動させてください。

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

[ワンポイントカラー]

■ 残したい色の選択

① [Fn3] ボタンを押す

- ・ [⑥] をタッチしたあと、[□] をタッチしても表示できます。

② ▲▼◀▶ で残す色を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ 画面をタッチすることでも、残す色を選べます。

- ・ [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

[サンシャイン]

■ 光源の設定

① [Fn3] ボタンを押す

- ・ [⑥] をタッチしたあと、[■] をタッチしても表示できます。

② ▲▼◀▶ で光源の中心の位置を移動する

- ・ 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。



光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。

③ 後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する

- ・ ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。

- ・ [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。

④ [MENU/SET] ボタンを押す

絞り / シャッタースピードを決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

撮影モード: 

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを  M に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [動画] → [動画露出設定]

3 ▲▼で [P]、[A]、[S]、[M] のいずれかを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- モードダイヤルを  /  /  /  のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



4 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

5 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を終了する

● 絞り値について

- 背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

● シャッタースピードについて

- 動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときはシャッタースピードを遅くしてください。
- 手動でシャッタースピードを速くすると、感度が高くなることにより、画面にノイズが増えることがあります。
- 極端に明るい場所の被写体を撮影したり、蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、他の撮影モードで撮影するか、手動でシャッタースピードを 1/60 または 1/100 に調整してください。

- [動画露出設定] を [M] に設定時、ISO 感度の [AUTO] は [100] に切り換わります。
- ドライブモードの設定は無効になります。

絞り / シャッタースピードを決めて動画を撮る（クリエイティブ動画モード）

スローモーション動画を撮影する（ハイスピード動画）

超高速撮影を行うことにより、スローモーション動画を撮影することができます。再生時には動作などがゆっくり表示されます。

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。 (P.25)

1 モードダイヤルを  に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [動画] → [ハイスピード動画]

3 ▲▼で画質設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[240fps/VGA] [MP4] の [VGA] で 240 コマ / 秒で記録します。

[120fps/HD] [MP4] の [HD] で 120 コマ / 秒で記録します。

4 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

5 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を終了する

- 音声は記録されません。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大で 7 分 29 秒またはファイルサイズ 4 GB までです。（再生時間に換算して 29 分 56 秒までの動画を記録できます）
- ピント、ズーム、露出、ホワイトバランスは撮影開始時に固定されます。
- 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。



絞り / シャッタースピードを決めて動画を撮る（クリエイティブ動画モード）

動画撮影中の操作音を抑えて撮る

動画撮影中にズームやボタン操作などを行うと、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [動画] → [タッチ静音操作]

2 ▲▼で [ON] を選ぶ

3 撮影を開始する

4 をタッチする

5 アイコンをタッチする

	ズーム
	絞り値
	シャッタースピード
	露出補正
	ISO 感度
	マイクレベル設定

6 スライドバーをドラッグして設定する

・タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

[▼] / [▲] ゆっくり設定を変える

[▼] / [▲] 速く設定を変える



7 撮影を終了する

● ハイスピード動画撮影時は使えません。

お好みの設定を登録して撮る（カスタムモード）

撮影モード：C

現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録しておくことができます。カスタムモードで撮影すると、登録したときと同じ設定で撮影することができます。

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラム AE モードの初期設定が登録されています。

お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録）

同じ設定で撮影できるように、現在のカメラの設定内容を【カスタムセット登録】で3つまで登録しておくことができます。([C1]、[C2]、[C3])

準備

あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→Fc [カスタム] → [カスタムセット登録]

2 ▲▼で登録したいカスタムセット（C1～C3）を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

[撮影] メニュー	[セットアップ] メニュー
<ul style="list-style-type: none"> 【個人認証】で登録されたデータ 【プロフィール設定】の設定内容 	<ul style="list-style-type: none"> すべてのメニュー
[カスタム] メニュー	[再生] メニュー
<ul style="list-style-type: none"> 【タッチ再生送り速度】 【メニューガイド】 	<ul style="list-style-type: none"> 【縦位置自動回転】 【画像表示順】 【消去確認画面】

お好みの設定を登録して撮る（カスタムモード）

登録したカスタムセットで撮る

1 モードダイヤルを「C」に合わせる

- 最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

■カスタムセットを変更する場合は

- モードダイヤルを「C」に合わせる
- [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する
- ◀▶ で使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- 選択したカスタムセットの設定に切り換わります。



登録内容を変更する

モードダイヤルを「C」に合わせた状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。

登録内容を変更する場合は、[カスタム] メニューの「カスタムセット登録」で登録内容を上書きしてください。

効果をつけて画質を調整する（フォトスタイル）

撮影モード：      

撮りたいイメージに合わせて、色や画質を調整できます。

MENU ボタン→  [撮影] → [フォトスタイル]

 STD.	[スタンダード]	標準的な設定です。
 VIVID	[ヴィヴィッド]※1	彩度やコントラストが高めの設定です。
 NAT	[ナチュラル]※1	コントラストが低めの設定です。
 MONO	[モノクローム]	白黒など、単色の階調のみで表現する設定です。
 SCNY	[風景]※1	青空や緑を鮮やかにする設定です。
 PORT	[人物]※1	肌色を健康的に見せる設定です。
 CUST	[カスタム]※1	あらかじめ登録した色や画質に設定できます。
 CNED	[シネライク D]※2	動画編集時の処理に適した、ダイナミックレンジを優先したガンマカーブ※3で映画感覚に仕上げる設定です。
 CNEV	[シネライク V]※2	コントラストを重視したガンマカーブ※3で映画感覚に仕上げる設定です。

※1 インテリジェントオートプラスモード時は設定できません。

※2 クリエイティブ動画モード時のみ設定できます。

※3 実際の明るさと記録する明るさを、明るさの段階ごとに調整する場合、2つの明るさの関係性は非線形のカーブを描きます。これをガンマカーブと言います。

- インテリジェントオートプラスモード時、他の撮影モードに切り換えたり、電源の [ON] / [OFF] 切り換えをした場合は、[スタンダード] にリセットされます。
- シーンガイドモード時は画質調整のみ設定できます。

効果をつけて画質を調整する（フォトスタイル）

■ 画質を調整する

- ・インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

①◀▶でフォトスタイルの種類を選ぶ



②▲▼で項目を選び、◀▶で調整する

● コントラスト	+	画像の明暗差を大きくなります。
	-	画像の明暗差を小さくなります。
● シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
● 彩度※1	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
● 色調※1	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
● フィルター効果※2	黄	被写体のコントラストを強調します。（効果：弱）青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。（効果：中）青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。（効果：強）青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	—

*1 [モノクローム] 選択時のみ [色調] が表示されます。それ以外では [彩度] が表示されます。

*2 [モノクローム] 選択時のみ表示されます。

- ・画質を調整すると、フォトスタイルアイコンに [+] が表示されます。

③ [MENU/SET] ボタンを押す

■ 調整した画質の設定を [カスタム] に登録する

①「画質を調整する」の手順 ② で画質を調整し、[DISP.] ボタンを押す

画像効果を加えて撮る（フィルター設定）

撮影モード：**IA IA P A S M MC SCN**

絞り優先 AE モードやパノラマモードなどで、クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果（フィルター）を加えることができます。詳しくは [93 ページ](#)をお読みください。

[MENU] ボタン→ [撮影] → [フィルター設定] → [フィルター選択]

- ・画像効果を加えない場合は「効果なし」を選択してください。

■タッチパネルで設定を変える

- ① [] をタッチする
- ② 設定する項目をタッチする
 - [POP]：画像効果（フィルター）
 - []：画像効果の調整



- ハイスピード動画撮影時は使えません。
- 次の場合、[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ジオラマ]*/[ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン]は使えません。
 - ・クリエイティブ動画モード
 - ・動画撮影時
 - ・4K フォト撮影時
 - *クリエイティブ動画モードや動画撮影時は、[画質設定] のサイズが「4K」の動画に設定時のみ使えません。
- パノラマモード時は、[トイフォト] / [トイポップ] / [ジオラマ] / [サンシャイン]は使えません。
- パノラマ写真的撮影中、[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター]の画像効果は画面に反映されません。
- パノラマモードで「ハイキー」に設定時は、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。
- ISO 感度は [3200] までの設定になります。[ハイダイナミック] 設定時は、ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- 撮影モードを変更したり、電源を切ったりしても、設定は記憶されます。

画像効果を加えて撮る（フィルター設定）

画像効果の適用前と適用後の写真を撮る（フィルターなし同時記録）

1回シャッターボタンを押すと、効果適用前と適用後の写真2枚を同時に撮影できます。

MENU ボタン→ [撮影] → [フィルター設定] → [フィルターなし同時記録]

設定：[ON] / [OFF]

- ・[ON] に設定すると、効果適用後、効果適用前の順で撮影されます。
- ・撮影後、[オートレビュー] で表示される写真は、効果適用後の写真のみになります。
- ・ドライブモードを連写、4K フォト、オートブラケットに設定しているときは、単写に切り換わります。

● 次の場合、[フィルターなし同時記録] は働きません。

- ・パノラマモード
- ・動画撮影時
- ・動画撮影中の写真記録（[(動画優先)] 設定時のみ）
- ・[クオリティ] を [RAW^{■■}] [RAW^{■■}] [RAW] に設定時
- ・インターバル撮影時
- ・[コマ撮りアニメ] 時



明るい / 暗い部分を調整する (ハイライトシャドウ)

撮影モード: **IA** **IA** **P** **A** **S** **M** **MC** **SCN** **6**

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

1 メニューを設定する

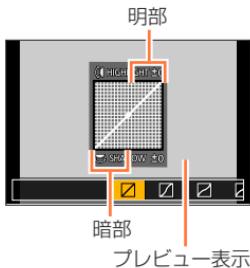
[MENU] ボタン → **[撮影]** → **[ハイライトシャドウ]**

2 ◀▶ で設定項目を選ぶ

<input type="checkbox"/> (スタンダード)	調整なしの状態になります。
<input type="checkbox"/> (コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
<input type="checkbox"/> (コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
<input type="checkbox"/> (暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
<input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

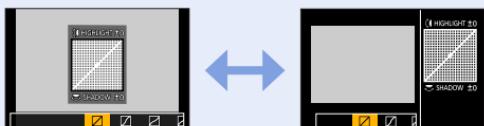
3 サイドダイヤルを回して明部の、後ダイヤルを回して暗部の明るさを調整する

- お好みの設定を登録する場合は ▲ を押して、カスタム登録先 (カスタム 1 / カスタム 2 / カスタム 3) を選んでください。
- グラフをドラッグ操作して調整することもできます。



4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 明るさ調整の画面で [DISP.] ボタンを押して、画面の表示を切り換えることができます。



- 【】 / 【】 / 【】 に登録した設定は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 【】 / 【】 / 【】 / 【】 で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

ホワイトバランスを調整する

撮影モード: **[A][IA][P][A][S][M][MC][SCN]**

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [WB] ボタン (►) を押す



2 サイドダイヤルまたは後ダイヤルを回して ホワイトバランスを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押ししても、ホワイトバランスを決定できます。

[AWB]	環境光に応じて、自動で色合いを調整します。
[]	晴天下に適した色合いに調整します。
[]	曇天下に適した色合いに調整します。
[]	日陰に適した色合いに調整します。
[]	白熱灯の照明下に適した色合いに調整します。
[]※	フラッシュ撮影時に適した色合いに調整します。
[] / [] / [] / []	手動で設定した設定値を使用します。(P.110)
[]	あらかじめセットしている色温度設定を使用します。 (P.111)

* 動画撮影中、4K フォト撮影時は [AWB] の動作になります。



蛍光灯や LED などの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB] または []、[]、[]、[] をご使用ください。

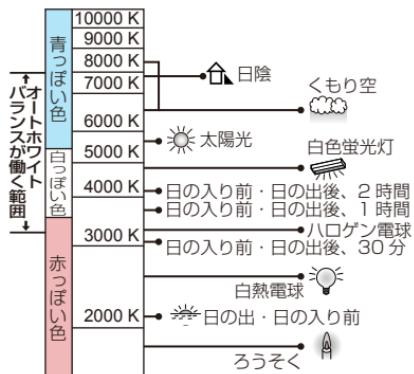
- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲 ([P.192](#)) 外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモードでは、シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス（ホワイトバランス微調整も含む）は、[AWB] に戻ります。
- シーンガイドモードでは、それぞれのシーンに適した設定になります。

ホワイトバランスを調整する

■オートホワイトバランスについて

AWB（オートホワイトバランス）に設定すると、光源に合わせて色合いを調整します。ただし、明暗の極端な状況では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合は、正常に働くかない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AWB] 以外に設定して調整してください。

色温度 [単位: K (ケルビン)]



手動でホワイトバランスを設定する

撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。

- 1 [WB] ボタン (▶) を押す
- 2 サイドダイヤルを回して [■]、[■]、[■]、または [■] を選び、▲を押す
- 3 画面中央の枠内に紙など白いものを写し、シャッター ボタンを押す
 - ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。
 - [MENU/SET] ボタンを押すことでも、同じ操作ができます。

● 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは、適切な明るさに調整して、設定し直してください。

ホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを設定する

色温度でホワイトバランスを設定できます。色温度とは、光の色を数値 [単位: K (ケルビン)] で表したもので、温度が高いほど青く、低いほど赤くなります。

- 1 [WB] ボタン (►) を押す
- 2 サイドダイヤルを回して [■] を選び、▲を押す
- 3 ▲▼で色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

・ [2500K] ~ [10000K] まで設定できます。



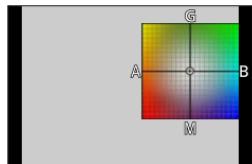
ホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。

- 1 ホワイトバランスを選び ▼を押す
- 2 ▲▼◀▶でホワイトバランスを微調整する

◀: A (アンバー: オレンジ系) ▶: B (ブルー: 青系)
 ▲: G (グリーン: 緑系) ▼: M (マゼンタ: 赤系)

- ・ ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整することができます。
- ・ [DISP.] ボタンを押すと中心点に戻ります。



- 3 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスを A (アンバー) または B (ブルー) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスを G (グリーン) または M (マゼンタ) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに [+] (グリーン) または [-] (マゼンタ) が表示されます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影時にも反映されます。
- [■], [■], [■], [■] で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、または [■] で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準 (中心点) に戻ります。

ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスのブラケット撮影をする

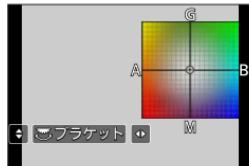
ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、1回の撮影操作で異なる色合いの写真を自動的に3枚撮影します。

1 「ホワイトバランスを微調整する」の手順 **2 でホワイトバランスを微調整し、後ダイヤルを回してブラケット設定を行う**

時計回りに回す：縦方向 (G～M)

反時計回りに回す：横方向 (A～B)

- ・ [▲] / [▼] をタッチしてもブラケット設定することができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスブラケットを設定すると、ホワイトバランスのアイコンの上に [BKT] が表示されます。
- 電源スイッチを [OFF] (スリープモードを含む) にするとホワイトバランスブラケットの設定が解除されます。
- 次の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
 - ・ パノラマモード
 - ・ シーンガイドモード設定時 ([水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る])
 - ・ 動画撮影中の写真撮影
 - ・ [クオリティ] を [RAW[■]] [RAW[■]] [RAW] に設定時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ インターバル撮影時

画質とサイズを設定する

写真の横縦比を変える

撮影モード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[C]** **[SCN]** **[**

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[画像横縦比]**

[4:3]	4:3 テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

- 撮影時に HDMI 出力する場合は、[16:9] に固定されます。 (P.184)

記録画素数を設定する

撮影モード: **[A]** **[P]** **[S]** **[M]** **[C]** **[SCN]** **[**

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[記録画素数]**

画像横縦比	4:3	3:2	16:9	1:1
記録画素数	[L] 12M 4000 × 3000	[L] 10.5M 4000 × 2672	[L] 9M 4000 × 2248	[L] 9M 2992 × 2992
	[EX M] 8M 3264 × 2448	[EX M] 7M 3264 × 2176	[EX M] 8M 3840 × 2160	[EX M] 6M 2448 × 2448
	[EX S] 3M 2048 × 1536	[EX S] 2.5M 2048 × 1360	[EX S] 2M 1920 × 1080	[EX S] 3.5M 1920 × 1920

- 【連写速度】を [SH] に設定時は、記録画素数は [S] に固定されます。
- 4K フォト撮影時は、[4K] ([4:3] : 3328 × 2496, [3:2] : 3504 × 2336, [16:9] : 3840 × 2160, [1:1] : 2880 × 2880) に固定されます。

画質とサイズを設定する

画像の圧縮率を設定する（クオリティ）

撮影モード：       

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→  [撮影] → [クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先して、JPEG 形式で記録します。
		標準画質で、JPEG 形式で記録します。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
 	RAW + JPEG	RAW 形式に加え、JPEG 形式（  または  ）でも記録します。*1
	RAW	RAW 形式で記録します。*2 [RAW] は  または  よりも小さいデータ容量で記録できます。

*1 本機で RAW 画像を消去すると、JPEG 画像も同時に消去されます。

*2 撮影時の画像横縦比にかかわらず、RAW 画像は常に画像横縦比 [4:3] (4000 × 3000) で記録されます。



RAW について

RAW 形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。RAW 画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。

RAW 画像を編集することで、撮影後のホワイトバランスの修正といった高度な編集や、パソコンで表示できるファイル形式で保存ができます。JPEG 形式よりも高画質で記録できますが、データ容量が大きくなります。

- ・[再生] メニューの [RAW 現像] で RAW 画像を現像することができます。（P.226）
- ・パソコンでの RAW ファイルの現像や編集には、CD-ROM（付属）のソフトウェア（市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。

- [RAW] で撮影した画像を再生時は、撮影時の画像横縦比に合わせてグレーの領域が表示されます。
- 4K フォト撮影時は、 に固定されます。

画質とサイズを設定する

● 以下の効果は、RAW 画像には反映されません。

- ・インテリジェントオートプラスモード
- ・クリエイティブコントロールモード
- ・ホワイトバランス
- ・撮影メニューの [フォトスタイル]※1、[画像横縦比]、[ハイライトシャドウ]※1、[iD レンジコントロール]※1、[デジタル赤目補正]※2、[超解像]※1、[回折補正]※2、[色空間]※1

● 次の場合は、[RAW^{■■}] [RAW^{●●}] [RAW] に設定できません。

- ・パノラマモード
- ・シーンガイドモード設定時（[夜景を手持ちで撮る]）

※1 再生メニューの [RAW 現像] では、撮影時の設定から調整するので、撮影時の設定で JPEG 形式の写真を書き出すことができます。

※2 撮影時に補正が働いた場合、再生メニューの [RAW 現像] では、補正が働いた JPEG 形式の写真を書き出します。



画像補正機能を使いこなす

撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。

コントラストや露出を補正する（iD レンジコントロール）

撮影モード：     

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

MENU ボタン→  [撮影] → [iD レンジコントロール]

設定：[AUTO] / [強] / [中] / [弱] / [OFF]

- 次の場合、[iD レンジコントロール] は働きません。
 - [HDR] を [ON] に設定時

解像感を高める（超解像）

撮影モード：     

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある画像を撮影できます。

MENU ボタン→  [撮影] → [超解像]

設定：[強] / [中] / [弱] / [拡張] / [OFF]

- [拡張] は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時は [拡張] は [弱] に変わります。

画像補正機能を使いこなす

露出の異なる写真を合成する (HDR)

撮影モード :       

露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。HDR 合成した画像は JPEG で記録されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [HDR]

[ON]	HDR 合成した写真を撮影します。
[OFF]	HDR 合成を行いません。
[設定]	[D レンジ設定] [AUTO] : 被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV] / [±2EV] / [±3EV] : 設定した露出の調整幅で撮影します。
	[自動位置調整] [ON] : 手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時の設定をお勧めします。 [OFF] : 画像のずれ調整を行いません。三脚使用時の設定をお勧めします。

- シャッター ボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- [自動位置調整] を [ON] に設定時は、画角がわずかに狭くなります。
- フラッシュ撮影時は  (発光禁止) に固定されます。
- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 次の場合、[HDR] は使えません。
 - ・ [クオリティ] を   [RAW] に設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

画像補正機能を使いこなす

絞りを絞ったときの解像感を高める（回折補正）

撮影モード：

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU ボタン→  [撮影] → [回折補正]

設定：[AUTO] / [OFF]

- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

色空間を設定する

撮影モード：

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

MENU ボタン→  [撮影] → [色空間]

[sRGB]	sRGB 色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
[AdobeRGB]	AdobeRGB 色空間に設定します。 AdobeRGB 色空間は sRGB 色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、[sRGB]に設定してください。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時は [sRGB] に固定されます。

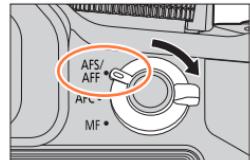


自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

被写体や撮影状況に合わせてフォーカスマードやオートフォーカスマードを設定することで、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

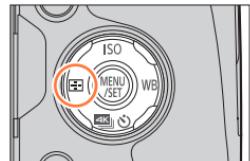
1 フォーカスマードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせる

- ・フォーカスマードを設定します。（P.120）



2 [■] ボタン（◀）を押す

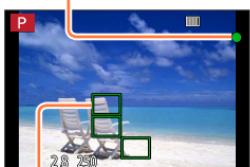
3 ◀▶でオートフォーカスマードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す（P.121）



4 シャッターボタンを半押しする

- ・電子音がピピッと鳴り、オートフォーカスが働きます。
ピントが合わないときは、ピピピピッと鳴ります。
- ・暗い環境ではフォーカス表示が [LOW] と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- ・[LOW] を表示後に夜空の星などを検知した場合、星空AFが働きます。ピントが合うと、フォーカス表示が [STAR] と表示され、ピントを合わせたAFエリアが表示されます。（星空AFで検知できるのは、画面中央の約1/3の範囲のみになります）

フォーカス表示
(ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅)



AF エリア
(ピントが合う：緑)

- ・フォーカスマードを [AFF] または [AFC] に設定時
・半押し中にピントが合った1回目のみ電子音が鳴ります。
- ・オートフォーカスマードを [■]、[■] などのカスタムマルチに設定している場合は、半押し中にピントが合った1回目のみAFエリアが一瞬表示されます。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）



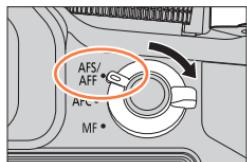
- 次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
 - 動きの速い被写体
 - 非常に明るい、または濃淡のないもの
 - ガラス越しや光るもの近くで撮るとき
 - 暗いときや手ブレしているとき
 - 被写体に近すぎるとき
 - 遠くと近くを同時に撮るとき

フォーカスモードを選ぶ（AFS、AFF、AFC）

撮影モード：

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

1 フォーカスモードレバーを【AFS/AFF】または【AFC】に合わせる



設定	被写体の動き、撮影シーン（お勧め）	設定内容
AFS/AFF	静止している (風景、記念撮影など)	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。 半押ししている間、ピントは固定されます。
	動きが予測できない (子ども、ペットなど)	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。 半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている (スポーツ、鉄道など)	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)
MF	—	手動でピントを合わせます。 (P.136)

■ フォーカスモードレバーの【AFS/AFF】について

【撮影】メニューまたは【動画】メニューの【AFS/AFF】で、フォーカスモードレバーの【AFS/AFF】に、【AFS】または【AFF】のいずれかを割り当てることができます。



自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

[AFF]、[AFC] で撮影する場合は

- W 端から T 端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に搖れが見える場合があります。

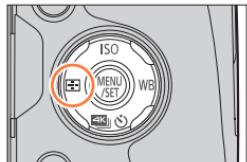
- [AFF] または [AFC] で明るさが足りないときは [AFS] と同じ動作をします。このとき画面の表示が黄色の [AFS] に変わります。
- 次の場合、フォーカスマードの [AFF] または [AFC] は、[AFS] と同じ動作をします。
 - ・クリエイティブ動画モード
 - ・パノラマモード
 - ・4K フォトの [SS] (4K 連写 (S/S)) で撮影時
- 4K フォト撮影時、[AFF] に設定できません。撮影時には AF 連続動作が働きます。

オートフォーカスマードを切り換える

撮影モード :   **P**     

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 ボタン (◀) を押す



2 でオートフォーカスマードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ 、、、 を選択時に ▼ を押すか、または画面をタッチすると、AF エリア設定画面が表示されます。
(P.128、129)



- 次の場合、 (1 点) に固定されます。
 - ・デジタルズーム使用時
 - ・クリエイティブコントロールモード設定時 ([ジオラマ])

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

人物を正面から撮るとき  (顔・瞳認識)

人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。([測光モード] を [包围] (マルチ測光) に設定時)

- ・検知できる顔は 15 個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。

カメラが顔を認識すると AF エリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色 : シャッター ボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色 : 複数の顔を認識すると表示されます。

黄色の AF エリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。



ピントを合わせる目

■ ピントを合わせる目を変更する

ピントを合わせる目をタッチする

黄色枠内以外をタッチすると、AF エリア設定画面が表示されます。
(P.128)



- ・ [AF] をタッチする、または [MENU/SET] ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。
- ・ 構図を変えたりすることで、黄色の枠が別の顔に移ったり、枠が消えた場合は、ピントを合わせる目の設定が解除されます。

● 次の場合は、働きません。

- ・ シーンガイドモード設定時 ([夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る]
[夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る]
[夜景を手持ちで撮る] [料理をおいしそうに撮る] [スイーツをかわいく撮る])

● 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、[49] (49 点) に切り換わります。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき  (追尾)

ボタン操作

被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しする

被写体を認識すると、追尾 AF エリアが白色から黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続けます。

- 追尾 AF を解除するとき → [MENU/SET] ボタンを押す
- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードでは、◀またはサイドボタン*を押すごとに追尾 AF と顔認識が切り換わります。

* [カスタム] メニューの [サイドボタン設定] を
[AF^{LOCK}/FOCUS] に設定時



追尾 AF エリア

タッチ操作

被写体をタッチする

タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。

ロック中は AF エリアが黄色になります。

- 追尾 AF を解除するとき → [AF^{LOCK}] をタッチする



- AF ロックに失敗したときは、赤く点滅したあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
- [測光モード] を [◎] (マルチ測光) に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。 (P.146)
- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾 AF が正しく動作しない場合があります。追尾 AF が動かないときは、[□] (1 点) となります。
- インターバル撮影時は [■] は使えません。
- 次の場合、[■] は [□] (1 点) の動作になります。
 - シーンガイドモード設定時 ([水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [花をふんわり撮る] [モノクロで撮る])
 - クリエイティブコントロールモード設定時 ([セピア] [モノクローム] [ダイナミックモノクローム] [ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - [フォトスタイル] の [モノクローム]

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

被写体が中央にないとき  (49点)

撮影画面の広範囲（最大49点）の中の被写体にピントを合わせます。

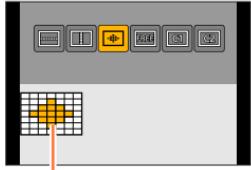


- ピントを合わせるエリアを選択できます。（P.128）

AFエリアの形状を設定するとき  など（カスタムマルチ）

被写体に合わせて、49点のAFエリアから選ぶことで自由に形状を設定できます。

- 1  ボタン（◀）を押す
- 2 カスタムマルチアイコン（ など）を選び、▲を押す
 - ▼を押すと、AFエリア設定画面が表示されます。
- 3 ◀▶で設定項目を選ぶ

 (横)	横一列の形状 流し撮りなどの撮影に便利な形状です。		
 (縦)	縦一列の形状 建物の撮影などに便利な形状です。		現在のAFエリアの形状
 (中央)	中央に分布した形状 中央周辺にピントを合わせたい場合に便利な形状です。		
 (フリー)	自由な形状		
 /  (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。		

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

4 ▼を押す

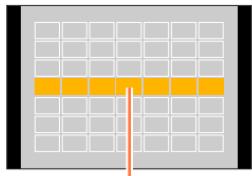
- AF エリア設定画面が表示されます。

5 AF エリアを選ぶ

[...] / [...] / [...] 選択時

[...] 選択時は縦方向に、 [...] 選択時は横方向に、 [...] 選択時は全方向に、大きさと位置を設定できます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	位置の移動
	ピンチイン / ピンチアウト	大きさの変更 (3段階)
[DISP.]	[リセット]	初期設定に戻す



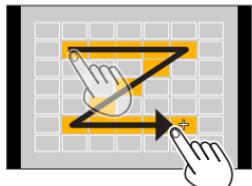
選択されている AF エリア

[FREE] / [C1] / [C2] 選択時

ボタン操作

▲▼◀▶ で AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する（繰り返す）

- もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- [DISP.] ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。



タッチ操作

AF エリアにしたい部分をなぞる

- 選択された AF エリアをタッチすると選択が解除されます。

6 [Fn2] ボタンを押す

■ 設定した AF エリアを [C1]、[C2]（カスタム）に登録する

- ① 124 ページの手順 3 の画面で、▲を押す
- ② ▲▼ で登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [...] / [...] に登録した設定は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- [...] / [...] / [...] / [FREE] で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。
- [カスタム] メニューの [ダイレクトフォーカス移動] を [ON] に設定時、カーソルボタンを押すと、AF エリア設定画面が表示されます。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

ピントを合わせる位置が決まっているとき (1点) / (ピンポイント) (1点)

画面中央のAFエリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにお勧め）
AFエリアの位置や大きさを変えるには [\(P.128\)](#)

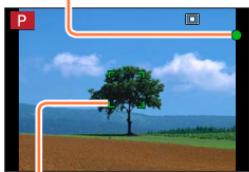
 フォーカスロック

撮りたいものが中央でないときは、次のようにして撮影してください。（フォーカスマードを「AFS」に設定時のみ）

1 被写体にピントを合わせる



フォーカス表示
(ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅)



2 撮りたい構図に戻し、撮影する



AF エリア
(ピントが合う：緑)

 (ピンポイント)

(1点) より小さな点で繊細なピント合わせができます。

- 拡大した画面で、ピントを合わせる位置を設定できます。[\(P.129\)](#)
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている位置を確認するための画面が拡大表示されます。
- 拡大表示される時間は「カスタム」メニューの「ピンポイントAF時間」で設定できます。[\(P.129\)](#)
- 動画撮影中や4Kフォト撮影時、 (ピンポイント) に設定している場合は、 (1点) に切り換わります。
- 次の場合、 (ピンポイント) に設定できません。
 - ・フォーカスマードを「AFF」または「AFC」に設定時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

AF エリアの位置や大きさを変更する

撮影モード:        

オートフォーカスモードの 、、、 では、AF エリアの位置や大きさを設定することができます。

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- タッチ操作で設定する場合は、[カスタム] メニューの [タッチ設定] で、[タッチ AF] を [AF] に設定してください。 (P.48)

 **カーソルボタンで AF エリアを移動させる / させない**

MENU ボタン →  [カスタム] → [ダイレクトフォーカス移動] → [ON] / [OFF]

、、 選択時では AF エリアを、 のときは拡大位置を移動することができます。

- ドライブモード、ホワイトバランス、ISO 感度などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー (P.55) を使って設定してください。

- [測光モード] (P.146) が  (スポット) のときは、測光ターゲットも AF エリアに合わせて移動します。画面の端では、AF エリア周辺の明るさの影響を受ける場合があります。
- 次の場合、[ダイレクトフォーカス移動] は [OFF] に固定されます。
 - ・シーンガイドモード設定時 ([水面をキラキラ撮る])
 - ・クリエイティブコントロールモード設定時
- デジタルズーム領域では、AF エリアの位置と大きさを変えることはできません。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

■ [人物] / [■] 選択時

AF エリアの位置と大きさを変更することができます。

- ① [■] ボタン (◀) を押す
- ② [人物] または [■] を選び、▼ を押す
 - AF エリア設定画面が表示されます。
 - 画面をタッチすることでも、AF エリア設定画面が表示できます。
- ③ AF エリアを変更する



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	AF エリアの移動
	ピンチイン / ピンチアウト	AF エリアを細かく拡大 / 縮小
	—	AF エリアを大きく拡大 / 縮小
[DISP.]	[リセット]	AF エリアを中央に戻す <ul style="list-style-type: none"> • もう一度押すと、枠の大きさが初期設定に戻ります。

- [人物] 選択時に、黄色の枠内の目に AF エリアを設定すると、ピントを合わせる目が変更されます。

④ [MENU/SET] ボタンを押す

- [人物] 選択時は、タッチした場所に [■] と同じ働きの AF エリアが表示されます。

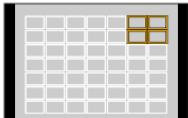
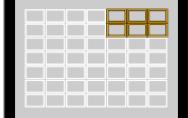
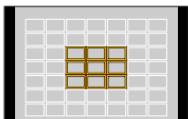
[MENU/SET] ボタンを押す、または [AF] をタッチすると AF エリアの設定を解除できます。

■ [■] 選択時

AF エリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49 点の AF エリアは 9 点（画面の端では 6 点または 4 点）ごとのグループに分けられています。

- ① [■] ボタン (◀) を押す
- ② [■] を選び、▼ を押す
 - AF エリア設定画面が表示されます。
- ③ ▲▼◀▶ で AF エリアのグループを選択する
 - 画面をタッチすることでも、グループを選択できます。
- ④ [MENU/SET] ボタンを押す
 - [+] 表示（選択したグループの中心点）のみが画面に残ります。
 - [MENU/SET] ボタンを押す、または [AF] をタッチすると AF エリアの設定が解除されます。

グループの例



自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

■ [+] 選択時

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。

- ・画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。

① [■] ボタン (◀) を押す

② [+] を選び、▼を押す

③ ▲▼◀▶でピントを合わせる位置を決め、

[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ピントを合わせる位置を決めるためのアシスト画面が拡大表示されます。

- ・被写体をタッチしてもアシスト画面が表示できます。

④ ▲▼◀▶で [+] を、ピントを合わせる位置に移動する



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	[+] の移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を大きく拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り替え（画面の一部 / 画面全体）
[DISP.]	[リセット]	[+] を中央に戻す



- ・画面の一部のときは約 3 倍～6 倍、画面全体のときは約 3 倍～10 倍に拡大 / 縮小できます。
- ・撮影時に HDMI 出力する場合は、画面の一部で拡大表示はできません。
- ・アシスト画面では、[■] をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

fc アシスト画面の表示を変更する

MENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [ピンポイント AF 表示]

[全画面]：画面全体に拡大表示されます。

[PIP]：画面の一部に拡大表示されます。

- ・[■] をタッチしてアシスト画面の表示を切り換えることもできます。

fc 画面が拡大表示される時間を設定する

MENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [ピンポイント AF 時間] →

[LONG] (約 1.5 秒) / **[MID]** (約 1.0 秒) / **[SHORT]** (約 0.5 秒)

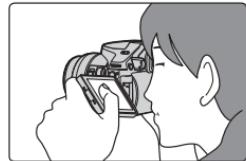
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

タッチパッドでAFエリアの位置を設定する

撮影モード: **A** **AV** **P** **AS** **M** **MC** **SCN** **6**

ファインダー表示中にモニターをタッチしてAFエリアを移動できます。

- オートフォーカスモードを [■] などの [カスタムマルチ] に設定時は、タッチするとAFエリア設定画面を表示します。（P.124）



MENUボタン→ **fc** [カスタム] → [タッチ設定] → [タッチパッドAF]

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。	
相対位置	タッチパッドをドラッグ（P.48）した移動量に応じて、ファインダーのAFエリアを移動させます。	
OFF	—	—

- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる位置を決定してください。また、決定前に [DISP.] ボタンを押すと、ピントを合わせる位置が中央に戻ります。
- オートフォーカスモード（P.121）を [■]（顔・瞳認識）、[■]（追尾）、[■]（49点）に設定時は、[MENU/SET] ボタンを押すとAFエリア枠の設定が解除されます。

- [タッチパッドAF] 使用時は、タッチシャッター（P.50）は無効になります。
- [スナップムービー] の [ピント送り] を [ON] に設定時は、[タッチパッドAF] は使えません。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

タッチした位置にピントと明るさを合わせる

撮影モード：**A** **Av** **P** **AS** **M** **MC** **SCN** **6**

タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [タッチ設定] → [タッチ AF] → [AF+AE]

2 明るさを合わせたい被写体にタッチする

- AF エリア設定画面が表示されます。（P.128）
- 明るさを合わせる位置が AF エリアの中央に表示され、AF エリアに合わせて移動します。
- [測光モード] はタッチ AE 専用の [] に変わります。
- [リセット] をタッチすると、明るさを合わせる位置と AF エリアは中央に戻ります。



3 [決定] をタッチする

- タッチした場所に [] と同じ働きの AF エリアが表示されます。
- [] をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。AF エリアの設定も解除されます。
- [] をタッチすると、測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。



背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。



- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。
- 次の場合、[AF+AE] は働きません。
 - デジタルズーム使用時
 - カーソルボタンを使って AF エリアを設定したとき

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

ピントの合わせ方をお好みに設定する

[カスタム] メニューを使うことで、ピントの合わせ方を詳細に設定できます。

fc シャッターボタン半押し時にピントを合わせる / 合わせない

MENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [シャッター半押し AF] → [ON] / [OFF]

fc シャッターボタン半押しでシャッターを切る / 切らない

MENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [シャッター半押しレリーズ] → [ON] / [OFF]

💡 [AF/AE LOCK] ボタンでピントを合わせる

シャッターボタンの代わりに [AF/AE LOCK] ボタンでピントを合わせることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [シャッター半押し AF] → [OFF]

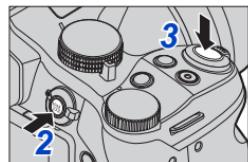
MENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [AF/AE ロック切換] → [AF-ON]

2 [AF/AE LOCK] ボタンを押す

- ピントを合わせます。

3 シャッター ボタンを押して撮影する

- 露出を合わせて、写真を撮影します。



fc 事前にピントを合わせる / 合わせない

MENU ボタン→ **fc** [カスタム] → [クイック AF] → [ON] / [OFF]

シャッター ボタンを押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピントを合わせます。（バッテリーの消費は早くなります）

- ピントが合いにくいときは、シャッター ボタンを半押ししてください。
- 次の場合、[クイック AF] は働きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

 AF 補助光ランプを光らせる / 光らせない**MENU ボタン→  [カスタム] → [AF 補助光] → [ON] / [OFF]**

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。（撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます）

- AF 補助光ランプの有効距離は 1.5 m です。
- AF 補助光は、画面中央部の被写体に対してのみ有効です。
- レンズフードは外してください。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF] に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- 次の場合、[OFF] に固定されます。
 - ・シーンガイドモード設定時（[風景をきれいに撮る] [青空をさわやかに撮る]
[夕焼けを幻想的に撮る] [夕焼けを印象的に撮る] [水面をキラキラ撮る]
[夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る]
[夜景をアーティスティックに撮る] [夜景を持ちで撮る]）
 - ・[サイレントモード] を [ON] に設定時
 - ・[コンバージョン] を [] または [] に設定時

 ピントが合わなくても撮影する / しない**MENU ボタン→  [カスタム] → [フォーカス / レリーズ優先]**

[フォーカス]：ピントが合うまで撮影できません。

[レリーズ]：シャッターチャンスを優先させるため、シャッターボタンを全押しすると撮影されます。

 AF 後に手動でピントを調整する / しない**MENU ボタン→  [カスタム] → [AF+MF] → [ON] / [OFF]**

AFロックしている間（フォーカスマードを [AFS] に設定時のシャッターボタン半押し、または [AF/AE LOCK] ボタンでのAFロック）にサイドダイヤルを回してピントを微調整することができます。

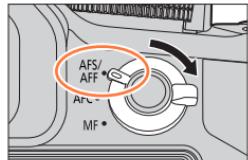


近づいて撮る（マクロ撮影）

撮影モード：**IA** **IA** **P** **A** **S** **M** **SCN** **SCN** **SCN**

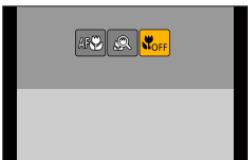
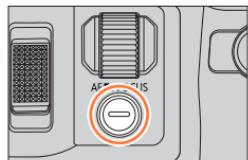
花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

1 フォーカスマードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせる



2 サイドボタンを押す

- マクロ撮影モードを選択できない場合、[カスタム] メニューの [サイドボタン設定] を [AF \heartsuit /FOCUS] に設定後、サイドボタンを押してください。



3 ◀▶でモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[AF \heartsuit] (AFマクロ)	ズームをもっとも広角（W 端）にすると、レンズから 1 cm まで接近して撮影できます。
[\heartsuit] (ズームマクロ)	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W 端の距離（1 cm）のまま、最大 3 倍までデジタルズームして撮影します。 <ul style="list-style-type: none"> 通常撮影時よりも画質が劣化します。 ズーム領域表示は青色（デジタルズーム領域）になります。
[\heartsuit OFF] (OFF)	—

近づいて撮る（マクロ撮影）

- 近距離で撮影するときは、フラッシュを使用しないことをお勧めします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 近距離を撮影する場合は…
 - ・三脚を使用し、セルフタイマー（P. 166）を使って撮影することをお勧めします。
 - ・ピントの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
 - ・画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- 次の場合、[ズームマクロ] に設定できません。
 - ・シーンガイドモード設定時（[夜景を手持ちで撮る]）
 - ・パノラマモード
 - ・ハイスピード動画撮影時
 - ・クリエイティブコントロールモード設定時（[インプレッシブアート] [トイフォト] [トイポップ] [ジオラマ]）
 - ・[連写速度] を [SH] に設定時
 - ・[HDR] を [ON] に設定時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・[クオリティ] を [RAW[■]] [RAW[■]] [RAW] に設定時
 - ・[コンバージョン] を [1回] または [0回] に設定時

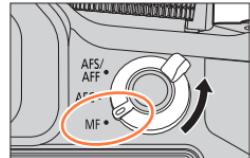


手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

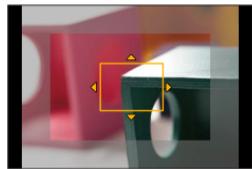
撮影モード：**A** **A** **P** **A** **S** **M** **MC** **SCN** **6**

ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

1 フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる



2 [■] ボタン（◀）を押す

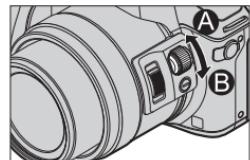


3 ▲▼◀▶でピントを合わせる位置を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。（MFアシスト）
- 画面をピンチアウト（P.48）や2回タッチすることでも、拡大表示できます。
- 画面をドラッグ（P.48）することでも、ピントを合わせる位置を選びます。
- [DISP.] ボタンを押すと、拡大表示する部分は中央に戻ります。

4 サイドダイヤルを回してピントを調整する

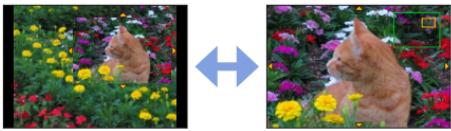
A 側に回す：近くにピントを合わせる
B 側に回す：遠くにピントを合わせる



- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）（P.140）
- MFガイドについて（P.139）



手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を大きく拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り替え（画面の一部 / 画面全体） 
[DISP.]	[リセット]	拡大表示する部分を中央に戻す

- ・画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大／縮小できます。
- ・撮影時でのHDMI出力中は、画面の一部での拡大表示はできません。

MFアシストの表示を変更する

MENU ボタン→ [カスタム] → [MFアシスト表示]

[全画面]：画面全体に拡大表示されます。

[PIP]：画面の一部に拡大表示されます。

- ・[]をタッチしてアシスト画面の表示を切り換えることもできます。

5 シャッターボタンを半押しする

- ・アシスト画面が終了し、撮影画面が表示されます。
- ・[MENU/SET] ボタンを押すことでも、アシスト画面を終了できます。

- [カスタム] メニューの [ダイレクトフォーカス移動] が [ON] のときは、撮影画面でカーソルボタンを押すと拡大位置の設定画面が表示されます。
- 次の場合、MFアシストは表示されません。
 - ・動画撮影中
 - ・4K フォトの [] (4K プリ連写) で撮影時
 - ・デジタルズーム使用時

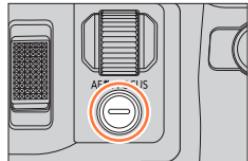
手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

マニュアルフォーカス時に、オートフォーカスでピントを合わせることができます。（ワンショットAF）

1 サイドボタンを押す

- オートフォーカスが働かない場合、[カスタム] メニューの [サイドボタン設定] を [AF^{ON}/FOCUS] に設定後、サイドボタンを押してください。

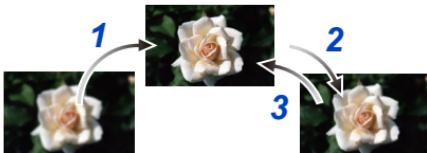


- 棒の中心でオートフォーカスが働きます。
- MFアシスト画面でオートフォーカスを働かせると、MFアシスト画面の中央でピントを合わせます。
- 次の操作でもオートフォーカスが働きます。
 - [AF-ON] を設定した [AF/AE LOCK] ボタンを押す (P.141)
 - [AF-ON] を設定したファンクションボタンを押す
 - [AF] をタッチする
 - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

 マニュアルフォーカスのテクニック

- 1 サイドダイヤルを回して、ピントを合わせる
- 2 さらに同じ方向に少し回す
- 3 ゆっくり戻しながら微調整する



- スリープモード解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- 近距離を撮影する場合は… (P.135)

 MF アシストの表示方法を設定する

MENU ボタン→  [カスタム] → [MF アシスト]

[]	サイドダイヤルを回す、または [] ボタン (◀) を押して拡大。
[]	サイドダイヤルを回して拡大。
[]	[] ボタン (◀) を押して拡大。
[]	サイドダイヤルまたは [] ボタン (◀) では拡大表示しません。

 MF ガイドを表示する / しない

MENU ボタン→  [カスタム] → [MF ガイド] → [ON] / [OFF]

[ON] に設定時は、手動でピントを合わせると画面に MF ガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。



手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

 ピントが合っている部分に色を付けて表示する / しない
MENU ボタン→  [カスタム] → [ピーキング]

- マニュアルフォーカス時や [AF+MF] で手動でピント合わせをしているときに働きます。

[ON]	ピントが合っている部分に色を付けて表示します。																			
[OFF]	ピントが合っている部分を表示しません。																			
[設定]	<p>ピントが合っている部分の検出レベルを設定します。 設定 : [高] / [低]</p> <p>[検出レベル] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ピントが合う範囲は検出レベルの設定では変わりません。 <p>ピーキング表示の色を設定します。 設定</p> <p>[検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切り換わります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>[検出レベル]</th> <th>[高]</th> <th>↔</th> <th>[低]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[] (水色)</td> <td>↔</td> <td>[] (青)</td> </tr> <tr> <td>[] (黄色)</td> <td>↔</td> <td>[] (オレンジ)</td> </tr> <tr> <td>[] (黄緑)</td> <td>↔</td> <td>[] (緑)</td> </tr> <tr> <td>[] (ピンク)</td> <td>↔</td> <td>[] (赤)</td> </tr> <tr> <td>[] (白)</td> <td>↔</td> <td>[] (灰色)</td> </tr> </tbody> </table>	[検出レベル]	[高]	↔	[低]	[] (水色)	↔	[] (青)	[] (黄色)	↔	[] (オレンジ)	[] (黄緑)	↔	[] (緑)	[] (ピンク)	↔	[] (赤)	[] (白)	↔	[] (灰色)
[検出レベル]	[高]	↔	[低]																	
[] (水色)	↔	[] (青)																		
[] (黄色)	↔	[] (オレンジ)																		
[] (黄緑)	↔	[] (緑)																		
[] (ピンク)	↔	[] (赤)																		
[] (白)	↔	[] (灰色)																		

- [ピーキング] を [ON] に設定すると、画面に [] (検出レベル：高) または [] (検出レベル：低) が表示されます。
- [] の [] をタッチすることに [ON] (検出レベル：低) → [ON] (検出レベル：高) → [OFF] の順に切り換わります。
- [カスタム] メニューの [Fn ボタン設定] (P.57) で [ピーキング] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ON] (検出レベル：低) → [ON] (検出レベル：高) → [OFF] の順に切り換わります。
- 画面上で輪郭がはっきりした部分をピントが合っている部分として色を付けて表示するため、撮影条件により表示のされたかたが異なります。
- 表示される色は撮影画像に影響はありません。
- 次の場合、ピーキングは働きません。
 - クリエイティブコントロールモード設定時 ([ラフモノクローム])

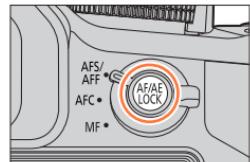
ピントや露出を固定して撮る（AF/AE ロック）

撮影モード：**IA** **IA** **P** **A** **S** **M** **MC** **SCN** **6**

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合（AE ロック）や、被写体が AF エリアから外れた構図で撮りたい場合（AF ロック）などに便利です。

- 1 被写体にカメラを向ける
- 2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

- [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- お買い上げ時は、露出のみが固定されます。



- 3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

- [AE LOCK] 設定時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。



Fc [AF/AE LOCK] ボタンの機能を設定する

MENU ボタン→ **Fc** [カスタム] → [AF/AE ロック切換]

[AE LOCK]	露出だけを固定します。 • 露出が合うと、[AEL] および絞り値とシャッタースピードの表示が点灯します。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。 • ピントが合うと、[AFL] およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。 • ピントと露出が合うと、[AFL] と [AEL]、およびフォーカス、絞り値、シャッタースピードの表示が点灯します。
[AF-ON]	オートフォーカスが働きます。

Fc [AF/AE LOCK] ボタンを離してもロックを維持する / しない

MENU ボタン→ **Fc** [カスタム] → [AF/AE ロック維持] → [ON] / [OFF]

- マニュアル露出モード時は AF ロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は AE ロックのみ有効です。
- AE ロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AE ロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

露出を補正して撮る

撮影モード: **IA** **FA** **P** **A** **S** **M** **MC** **SCN** **6**

逆光時や、暗すぎる／明るすぎる場合に露出を補正します。

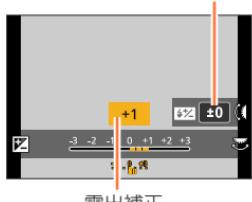
【**EX**】ボタン / 【Fn1】ボタンは、【**EX**】（露出補正）と【Fn1】（ファンクション1）の2通りの使い方ができます。お買い上げ時は、【**EX**】が設定されています。

● ファンクションボタンについて詳しくは [57ページ](#)をお読みください。

1 【**EX**】ボタンを押す



2 後ダイヤルを回して露出を補正する



- ・【DISP.】ボタンを押すと、後ダイヤルとサイドダイヤルの動作を入れ替えることができます。

3 サイドダイヤルを回してフラッシュ発光量を調整する

- ・[フラッシュ設定] の [発光モード] ([P.193](#)) を [TTL] に設定時の操作でできます。
- ・フラッシュ発光量は、[撮影] メニューの [フラッシュ設定] の [フラッシュ光量調整] でも調整できます。([P.197](#))

4 【**EX**】ボタンを押して決定する

- ・シャッターボタン半押しでも決定できます。

- 明るさによっては、補正できない場合があります。
- [撮影] メニューの [フラッシュ設定] の [露出補正連動] を [ON] に設定時は、露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。([P.197](#))
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。([露出補正リセット] ([P.68](#)) を [OFF] に設定時)

ISO 感度を設定する

撮影モード：**IA** **IA** **P** **A** **S** **M** **MC** **SCN** **6**

ISO 感度（光に対する感度）を設定します。

暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをお勧めします。

1 [ISO] ボタン（▲）を押す



2 後ダイヤルを回して ISO 感度を選ぶ

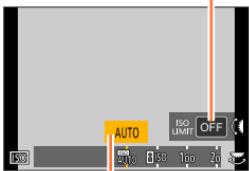
- ・[DISP.] ボタンを押すと、後ダイヤルとサイドダイヤルの動作を入れ替えることができます。

3 サイドダイヤルを回して ISO 感度の上限を設定する

- ・ISO 感度が [AUTO] または [ISO] 時に働きます。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

- ・シャッターボタン半押しでも決定できます。



AUTO	被写体の明るさに応じて、最大 3200（フラッシュ使用時：1600）までの範囲で自動設定します。
ISO (インテリジェント ISO)	被写体の動きと明るさに応じて、最大 3200（フラッシュ使用時：1600）までの範囲で自動設定します。 ・シャッタースピードはシャッター速度半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
100/200/400/800/ 1600/3200/6400	それぞれの ISO 感度に固定します。 ・[ISO 感度ステップ] を [1/3EV] に設定しているときは、設定できる ISO 感度の項目が増えます。（P.145）

* [撮影] メニューの [ISO 感度上限設定]（P.145）を [OFF] 以外に設定しているときは、[ISO 感度上限設定] の設定値までの範囲で自動的に設定します。

ISO 感度を設定する

 **設定の目安**

ISO 感度	100	↔	6400
適した撮影場所	明るい（屋外）	暗い	
シャッタースピード	遅くなる	速くなる	
ノイズ	減る	増える	
被写体ブレ	多い	少ない	

- [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、[192 ページ](#)をお読みください。
- シャッター優先 AE モード時およびマニュアル露出モード時、[ISO] は選択できません。
- マニュアル露出モードの B（バルブ）撮影時は、[AUTO] と [ISO] は使えません。
- [多重露出] 設定時は、[3200] までの設定になります。
- クリエイティブ動画モード時や 4K フォト撮影時は、下記の設定項目になります。
[AUTO]、[100] ~ [6400]
- ISO 感度の設定によりシャッタースピードは、次のように制限されます。

ISO 感度 ([ISO 感度ステップ] を [1/3EV] に設定時) (P. 145)	シャッタースピード
AUTO / ISO	設定する ISO 感度によって、自動的に変わります。
100 / 125 / 160 / 200 / 250 / 320 / 400 / 500 / 640 / 800 / 1000 / 1250 / 1600	60 秒～ 1/4000 秒※1 1 秒～ 1/16000 秒※2
2000 / 2500 / 3200	15 秒～ 1/4000 秒※1 1 秒～ 1/16000 秒※2
4000 / 5000 / 6400	8 秒～ 1/4000 秒※1 1 秒～ 1/16000 秒※2

※1 メカシャッター使用時

※2 電子シャッター使用時

ISO 感度を設定する

ISO 感度の上限を設定する

撮影モード：**A** **AV** **P** **AS** **M** **TV** **C** **SCN** **6**

[ISO 感度] の設定が [AUTO] または [Iso] のときの ISO 感度の上限を設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [ISO 感度上限設定]

設定：[200] / [400] / [800] / [1600] / [3200] / [6400] / [OFF]

- 次の場合は、働きません。
 - ・シーンガイドモード設定時（[夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る]
[夜景を暖かく撮る] [夜景を持ちで撮る]）
 - ・動画撮影時

ISO 感度のステップ幅を設定する

撮影モード：**A** **AV** **P** **AS** **M** **TV** **C** **SCN** **6**

ISO 感度を 1EV ごとに設定するか、1/3EV ごとに設定するかを変更します。

MENU ボタン →  [撮影] → [ISO 感度ステップ]

[1/3EV]	[100] / [125] / [160] / [200] / [250] / [320] / [400] / [500] / [640] / [800] / [1000] / [1250] / [1600] / [2000] / [2500] / [3200] / [4000] / [5000] / [6400]
[1EV]	[100] / [200] / [400] / [800] / [1600] / [3200] / [6400]

- [1/3EV] から [1EV] に設定を変更した場合、[ISO 感度] の設定が変更される場合があります。（[1EV] で設定できる近い ISO 感度が設定されます）

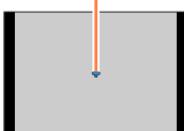


測光モードを設定する

撮影モード : **IA** **IA** **P** **A** **S** **M** **MC** **SCN** **6**

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン → **撮影** → **【測光モード】**

測光モード	明るさの測定位置	こんなとき
 マルチ測光	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
 中央重点	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
 スポット	[+] (スポット測光ターゲット) の中心  (説明図: 画面中央に黒い正方形があり、その中心に赤い正方形があり、赤い矢印がその中心を示す)	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき (舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

シャッター方式を設定する

撮影モード: **IA FA P A S M ■ C ■ SCN**

メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。

		メカシャッター方式	電子シャッター方式
仕組み	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式です。		露光の開始と終了を電子的に行う方式です。
フラッシュ	○		×
シャッタースピード	B (バルブ) ^{※1} 、 60秒 ^{※2} ～1/4000秒 ^{※3}		1秒～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音 ^{※4} +電子シャッター音 ^{※5}		電子シャッター音 ^{※5}

※1 マニュアル露出モード時のみ設定できます。 (P.82)

※2 ISO 感度の設定により変わります。 (P.143)

※3 絞り値によって選べない値があります。

※4 メカシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。

※5 [シャッター音音量] と [シャッター音音色] で、電子シャッター音の設定ができます。 (P.62)

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [撮影] → [シャッター方式]

AUTO	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 ・フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、メカシャッター方式を優先して使います。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

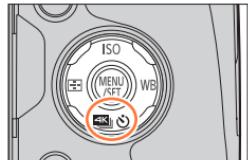
- 次の場合は、電子シャッターで撮影されます。
 - ・画面に [E] が表示されている場合
 - ・[連写速度] を [SH] に設定時
 - ・4K フォト撮影時
 - ・[サイレントモード] を [ON] に設定時
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯や LED などの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。 (P.81)

ドライブモードを選ぶ

撮影モード: **A** **A** **P** **S** **M** **■** **C** **SCN**

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 [■] ボタン (▼) を押す



2 ◀▶でドライブモードを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

Ⓐ 単写	シャッター ボタンを押すと 1 枚だけ撮影します。
Ⓑ 連写 (P.149)	シャッター ボタンを押している間、連続して撮影します。
Ⓒ 4K フォト (P.152)	シャッター ボタンを押すと 4K フォトを撮影します。
Ⓓ オート ブラケット* (P.164)	シャッター ボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら撮影します。
Ⓔ セルフタイマー (P.166)	シャッター ボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。



* インテリジェントオートモードでは設定できません。

- ドライブモードを解除する場合は、[□] (単写) または [■] を選んでください。
- ▲を押すと、それぞれのドライブモードの設定を変更できます。ただし、単写の設定は変更できません。

連写する

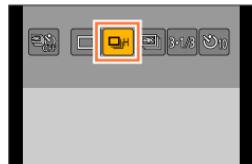
撮影モード: **A** **A** **P** **S** **M** **REC** **C** **SCN** **6**

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を [SH] で撮影した画像は、ひとつの連写グループ (P.217) として記録されます。

1 [REC] ボタン (▼) を押す

2 ◀▶ で連写アイコン ([REC] など) を選び、▲を押す



3 ◀▶ で連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



		[SH] (超高速)*1	[H] (高速)	[M] (中速)	[L] (低速)
連写速度	AFS	60 コマ / 秒	12 コマ / 秒	6 コマ / 秒	2 コマ / 秒
	AFF/AFC	—	6 コマ / 秒	6 コマ / 秒	2 コマ / 秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
最大記録枚数*2	RAW ファイルあり	—	19 枚*3		
	RAW ファイルなし	60 枚	カードの空き容量に依存*3		

*1 電子シャッターが働き、記録画素数は [S] に固定されます。

*2 連写できる最大記録枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。

*3 カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

- 連写速度は、次の設定によって低下することがあります。

– [記録画素数] (P.113) / [クオリティ] (P.114) / ISO 感度 (P.143) / フォーカスマード (P.120) / [フォーカス / レリーズ優先] (P.133)

- 連写速度は、[撮影] メニューの [連写速度] でも設定できます。
- RAW ファイルについては、114 ページをお読みください。

連写する

4 ピントを合わせて撮影する



■連写を解除するとき

手順 2 で [□] (単写) または [■_{OFF}] を選ぶ。

連写とピントについて

ピント合わせは、フォーカスモード (P.120) と [カスタム] メニューの [フォーカス / レリーズ優先] (P.133) の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス / レリーズ優先	ピント合わせ
AFS	フォーカス	1 枚目
	レリーズ	
AFF/AFC ^{※1}	フォーカス	常時ピント ^{※2}
	レリーズ	予測ピント ^{※3}
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス

※1 被写体が暗い場合や連写速度を [SH] に設定時は、ピントは 1 コマ目に固定されます。

※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。



連写する

- シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）の使用をお勧めします。（P.307）
- [H] 設定時、連写枚数が多くなると途中で連写速度が低下することがあります。
- [SH] または [H]（フォーカスマードが [AFS] または [MF] の場合）設定時、1枚目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
[H]（フォーカスマードが [AFF] または [AFC] の場合）、[M] または [L] 設定時、1枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度（コマ／秒）が遅くなることがあります。
- 撮影を繰り返すと、使用条件によっては、次の撮影まで時間がかかる場合があります。
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- 次の場合、連写は無効になります。
 - ・ シーンガイドモード設定時（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る]）
 - ・ クリエイティブコントロールモード設定時（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - ・ ホワイトバランスプラケット設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）
 - ・ 動画撮影時
 - ・ フラッシュ撮影時
 - ・ B（バルブ）撮影時
 - ・ [i 手持ち夜景] 撮影時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ [フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時
- 次の場合、連写の [SH] は使えません。
 - ・ [クオリティ] を [RAW^{■■}] [RAW^{■■}] [RAW] に設定時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時



4K フォトを撮る

撮影モード: **A** **A** **P** **S** **M** **■** **C** **■** **SCN** **6**

4K フォトの連写を行い、30 コマ / 秒の連写から一瞬を選び出し、約 800 万画素の写真を保存することができます。



4K フォトを撮る



写真を選び保存する



写真の完成

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。([P.25](#))
- 4K フォト撮影時、画角が狭くなります。

1 [4K] ボタン (▼) を押す

2 ◀▶ で 4K フォトイコン ([4K] など) を選び、▲を押す



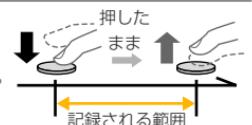
3 ◀▶ で撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- お買い上げ時、撮影方法は [4K] (4K 連写) に設定されています。
- 撮影方法は、[撮影] メニューの [4K フォト] でも設定できます。



	4K 連写 (P.154)
--	--

動きの速い被写体のベストな一瞬を捉えたいとき
(スポーツ、飛行機、鉄道など)
シャッター ボタンを押している間、連写撮影します。
撮影中は、シャッター音が連続で鳴ります。



連続記録時間: 29 分 59 秒まで*1

音声記録: なし

4K フォトを撮る

 4K 連写 (S/S) (P.154) S/S とは 「Start/Stop」の 略を表します。	<p>いつ起こるか分からないシャッターチャンスを捉えたいとき（植物、動物、子どもなど）</p> <p>シャッターボタンを押すと連写撮影を開始します。もう一度押すと、連写撮影を終了します。開始音、終了音が鳴ります。</p>	 <p>開始 (1回目) 終了 (2回目)</p> <p>記録される範囲</p>
	連続記録時間：29分59秒まで*1	
 4K プリ連写 (P.155)	<p>シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき（ボールを投げる瞬間など）</p> <p>シャッターボタンを押した瞬間の前後約1秒を連写撮影します。シャッター音が1回だけ鳴ります。</p>	
	記録時間：約2秒	音声記録：なし

*1 ファイルサイズが4GBを超える場合は、一時中断することなく撮影を続けることができますが、ファイルは分かれて記録・再生されます。

*2 本機で再生する場合、音声は再生されません。

4 4K フォトを撮影する

- ・[] (4K 連写) で撮る (P.154)
- ・[] (4K 連写 (S/S)) で撮る (P.154)
- ・[] (4K プリ連写) で撮る (P.155)
- ・4K フォトの連写撮影を行い、MP4 形式の4K 連写ファイルが保存されます。
- ・オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。

■4K フォトを解除するとき

手順 2 で [□] (単写) または [] を選ぶ。

本機の温度やバッテリーの消耗について

- ・周囲の温度が高かったり、連続で4K フォトの撮影を行った場合や、本機の温度が上昇した場合は、本機の保護のため、[] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- ・ドライブモードを4K フォトにし、[4K フォト] を [] (4K プリ連写) に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。撮影するときだけ [] (4K プリ連写) に設定してください。

4K フォトを撮る

【】 4K 連写で撮る1 【】 (4K 連写) に設定する (P.152)

2 シャッターボタンを半押しする



3 撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする

- ・全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されますので、早めに全押ししてください。
- ・シャッターボタンを押している間、4K 連写ファイルが撮影されます。
- ・オートフォーカスで撮影時、撮影中は AF 連続動作が働き、ピントを合わせ続けます。
- ・撮影した 4K 連写ファイルから写真を選び保存する方法は、156 ページをお読みください。

● 撮影開始後にすぐにシャッターボタンを離すと、最大約 1.5 秒後まで記録される場合があります。

【】 4K 連写 (S/S) で撮る1 【】 (4K 連写 (S/S)) に設定する (P.152)

2 シャッターボタンを全押しする

- ・撮影が開始されます。
- ・オートフォーカスで撮影時、撮影中は AF 連続動作が働き、ピントを合わせ続けます。



3 もう一度、シャッターボタンを全押しする

- ・撮影が終了されます。



撮影のテクニック

写真を選び保存するときの目印を記録する

撮影中に [Fn2] ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。(1 つの 4K 連写ファイルに最大 40 個まで) 4K 連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。

- ・撮影した 4K 連写ファイルから写真を選び保存する方法は、156 ページをお読みください。



4K フォトを撮る

【】 4K プリ連写で撮る1 【】 (4K プリ連写) に設定する (P.152)

- シャッターボタンを半押しすると、絞り値とシャッタースピードが表示されます。

2 シャッターボタンを全押しする

- シャッターボタンを押した瞬間の前後約1秒を4K連写ファイルで撮影します。



撮影可能回数



撮影のテクニック

ピント合わせや露出について

オートフォーカス時はピントを合わせ続けます。マニュアル露出モード以外では、露出も合わせ続けます。

- シャッターハーフ押しなどによる任意のタイミングでのピント合わせはできません。
- 被写体が中央にないときなどで、ピントや露出を固定したい場合は、AF/AEロックをお使いください。 (P.141)

・撮影した4K連写ファイルから写真を選び保存する方法は、[159ページ](#)をお読みください。

- 【】 (4K プリ連写) で撮影時、通常の撮影画面と比べて滑らかさが劣る場合があります。

4K フォトを撮る

4K 連写ファイルから写真を選び保存する

- 写真は JPEG 形式で保存されます。
- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

 [再生] メニューの [再生モード] を [4K フォト] に設定すると、4K 連写ファイルと保存された写真のみが再生できます。

[] (4K 連写)、[] (4K 連写 (S/S)) の 4K 連写ファイルの場合

1 再生画面で 4K 連写ファイルを選び、▲を押す

- 4K 連写ファイルには [] が表示されます。
- アイコン（[]）をタッチしても同じ操作ができます。
- 写真を選ぶスライドビュー画面が表示されます。表示されるまでに数秒間かかります。



2 タッチしてからドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

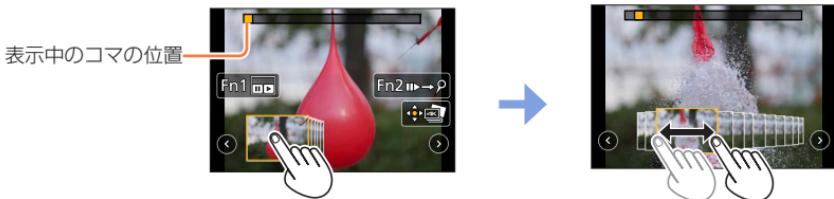
- ◀▶ を押すことでも、同じ操作ができます。



連写時間が長い 4K 連写ファイルから選ぶ場合は、4K 連写再生画面（P.158）でおおまかにシーンを選んでから、スライドビュー画面で写真として保存したいコマを選ぶことをお勧めします。

4K フォトを撮る

<スライドビュー画面>



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ→ドラッグ	コマの選択 • 60 枚（連写時間約 2 秒）から選べます。
で ① ② を選択 → [MENU/SET]	① ②	前または後のコマのスライドビューを表示 • 前または後の 45 枚（連写時間約 1.5 秒）を入れ替えて、スライドビューで表示します。 • 続けて押すと、さらに前または後を表示します。
—	タッチ / ドラッグ	表示するコマの選択 • 選んだコマの前後のコマをスライドビューで表示します。
	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
[Fn1]		4K 連写再生画面を表示
[Fn2]		マーク操作への切り換え（[Fn1] (4K 連写 (S/S)) のみ）
[MENU/SET]		写真の保存

- 連写時間が短い場合、スライドビューで表示する枚数は少なくなり、[①] / [②] は選べません。
- マーク操作中は、設定したマークや 4K 連写ファイルの始めと終わりにスキップする操作が可能になります。もう一度 [Fn2] ボタンを押すと、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
		次のマークへ移動
		前のマークへ移動

- [①] / [②] を選んだときなど、スライドビューが再表示される場合は、表示されるまでに数秒間かかります。

4K フォトを撮る

<4K連写再生画面>



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶	連続再生
▼	◀	連続戻し再生 ・連続再生より速く、約0.5秒ごとのコマを戻し再生します。
▲▼	⏸	一時停止（連続再生中、連続戻し再生中）
⟳	▶	早送り再生
	⏸▶	コマ送り（一時停止中）
⟲	◀	早戻し再生
	◀⏸	コマ戻し（一時停止中）
—	タッチ / ドラッグ	表示するコマの選択（一時停止中）
○	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小（一時停止中）
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
[Fn1]	⏸	スライドビュー画面を表示（一時停止中）
[Fn2]	⏸▶	マーカー操作への切り替え（[Fn2] (4K連写 (S/S))のみ）
[MENU/SET]	📸	写真の保存（一時停止中）

- 連続再生中、連続戻し再生中に、約2秒間何も操作しないと画面の表示が消えます。画面をタッチすると元の表示に戻ります。

3 [MENU/SET] ボタンを押し、写真を保存する

- 4K連写再生画面では、一時停止中に操作してください。

4K フォトを撮る

[] (4K プリ連写) の 4K 連写ファイルの場合

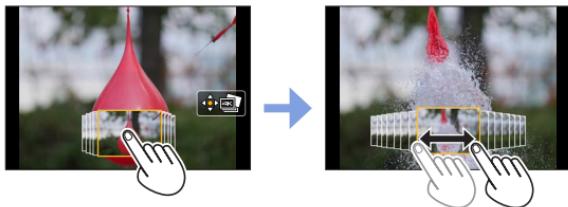
1 再生画面で 4K 連写ファイルを選び、▲を押す

- 4K 連写ファイルには [] が表示されます。
- アイコン ([]) をタッチしても同じ操作ができます。
- 写真を選ぶスライドビュー画面が表示されます。表示されるまでに数秒間かかります。



2 タッチしてからドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

- ◀▶ を押すことでも、同じ操作ができます。



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ→ドラッグ	コマの選択
	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
[MENU/SET]		写真の保存

3 [MENU/SET] ボタンを押し、写真を保存する

4K フォトを撮る

■ テレビの画面で写真を選び保存する

準備

[HDMI 出力解像度 (再生時)] (P.66) を [AUTO] または [4K] に設定する。

- 4K 動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO] に設定してください。

① HDMI マイクロケーブルで本機とテレビをつなぎ、再生画面を表示する (P.287)

- HDMI マイクロケーブルでテレビに接続時に写真を選び保存する場合は、[セットアップ] メニューの [テレビ接続設定] の [ビエラリンク] を [OFF] に設定してください。
- HDMI マイクロケーブルや AV ケーブル (別売) でテレビに接続して表示する場合、4K 連写再生画面のみが表示されます。
[] (4K 連写) や [] (4K 連写 (S/S)) で撮影した 4K 連写ファイルを再生するときの 4K 連写再生画面が表示され、スライドビュー画面は表示されません。
- 4K 動画対応の SD カードスロット付きテレビにカードを入れて再生できるのは、[画像横縦比] が [16:9] で撮影した 4K 連写ファイルのみです。
それ以外は、HDMI マイクロケーブルで本機と 4K 動画対応テレビをつないで再生してください。(2015 年 7 月現在)

- 画像ファイルが多いときに再生画面にすると、情報取得中アイコン []、[] が長時間表示されることがあります。4K フォトの 4K 連写ファイルは再生できません。表示が消えるまで、しばらくお待ちください。
- スライドビュー画面や 4K 連写再生画面で、画面を 2 回タッチすると拡大表示されます。拡大時に 2 回タッチすると元の表示に戻ります。
- パソコンで 4K 連写ファイルから写真を選び保存する場合は、CD-ROM (付属) のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。ただし、「PHOTOfunSTUDIO」で 4K 連写ファイルを動画として編集することはできません。
- 他機で撮影された 4K 連写ファイルは、本機で正しく再生されない場合があります。



4K フォトについてのお知らせ

■ 横縦比を変更するには

[撮影] メニューの [画像横縦比] を設定することで、4K フォトの横縦比を設定できます。

■ 被写体ブレを抑えて撮るには

シャッタースピードを速くすることで、被写体ブレを抑えることができます。

①モードダイヤルを [S] に合わせる

②後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- ・晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000 秒以上
- ・シャッタースピードを速くすると、ISO 感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。

■ 4K フォト撮影時のシャッター音について

[] (4K 連写) や [] (4K ブリ連写) で撮影時、電子シャッターで撮影されるので、[シャッター音音量] と [シャッター音音色] で、電子シャッター音の設定ができます。 (P.62)

[] (4K 連写 (S/S)) で撮影時、開始音 / 終了音は、[電子音音量] で音量を設定できます。

- ・サイレントモードと組み合わせて 4K フォトを撮影すると、静かに高速連写撮影ができます。

■ 4K フォトが苦手な撮影シーン

極端に明るい場所や室内での撮影

極端に明るい場所の被写体を撮影したり、蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

水平方向に速く動く被写体

水平方向に速く動く被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。



4K フォトを撮る

■4K フォトでの制限事項

4K フォトの撮影に最適な設定にするため、一部の撮影機能やメニュー設定などで制限があります。

- 次の設定が固定されます。

	[4K] (8M)
記録画素数	<ul style="list-style-type: none"> サイズは以下になります。 <p>[4:3] : 3328 × 2496 [3:2] : 3504 × 2336 [16:9] : 3840 × 2160 [1:1] : 2880 × 2880</p>
クオリティ	[]
シャッターワイド	[電子シャッター]
記録方式*	[MP4]
画質設定*	[4K/100M/30p]
AF 連続動作*	[ON]

* [動画] メニューでの設定は、4K フォトで撮影する 4K 連写ファイルに反映されません。

- 次の撮影機能が制限されます。

	[] (4K 連写) / [] (4K 連写 (S/S))	[] (4K プリ連写)
プログラムシフト		×
シャッタースピード	1/30 ~ 1/16000	
フォーカスマード (AFF)		×
オートフォーカスマード ([])		×
MF アシスト	○	×
ホワイトバランス ([])、 ホワイトバランスブラケット		×
ISO 感度	[AUTO]、100 ~ 6400	
フラッシュ		×

4K フォトを撮る

- 以下のメニューは設定できません。

[] (4K連写) / [] (4K連写 (S/S)) / [] (4Kプリ連写) 共通

撮影	[記録画素数] / [クオリティ] / [AFS/AFF] / [i手持ち夜景] / [iHDR] / [パノラマ設定] / [シャッター方式] / [フラッシュ設定] / [色空間] / [個人認証] / [プロフィール設定]
カスタム	[記録枠表示]

[] (4Kプリ連写) のみ

セットアップ []

- 4K フォト撮影時、次のようにになります。

- ・[超解像] の [拡張] は [弱] に切り換わります。
- ・[トラベル日付] の [旅行先] は記録できません。
- ・HDMI 出力することはできません。

- ・[] (4Kプリ連写) で撮影時、[ステップズーム] は働きません。

- ・インテリジェントオートモードでのシーン判別は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

- ・ドライブモードを 4K フォトに設定時、動画撮影中に写真を撮影することはできません。

([写真優先] 設定時のみ)

- 次の場合、4K フォトは無効になります。

- ・シーンガイドモード設定時 ([逆光でしっかり撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る] [花をふんわり撮る])
- ・クリエイティブコントロールモード設定時 ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
- ・ホワイトバランスプラケット設定時
- ・動画撮影時
- ・B (バルブ) 撮影時
- ・[HDR] を [ON] に設定時
- ・[多重露出] 設定時
- ・インターバル撮影時
- ・[コマ撮りアニメ] 時
- ・[フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット）

撮影モード：**IA** **PA** **S** **M** **SCN** **Q**

シャッターボタンを押すごとに、露出の補正幅に従って露出を変えながら最大で7枚まで撮影します。

補正幅：[3・1/3]、ブラケット順序：[0/−/+] 設定時の例

1枚目



± 0 EV

2枚目



− 1/3 EV

3枚目



+ 1/3 EV

1 [] ボタン (▼) を押す

2 でオートブラケットアイコン ([3・1/3]など) を選び、▲を押す



3 で補正幅を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでオートブラケット表示が点滅します。
- 設定枚数分がすべて撮影されるまでにオートブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを [OFF] にした場合は、1枚目からの撮影になります。



■オートブラケットを解除するとき

手順 2 で [] (単写) または [] を選ぶ。

露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット）

■オートブラケットの単写 / 連写設定、補正幅、撮影順序を変更する場合

①メニューを設定する

[MENU] ボタン→ [撮影] → [オートブラケット]

②▲▼で [単写 / 連写設定]、[補正幅] または [ブラケット順序] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

③▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

単写 / 連写設定	<input type="checkbox"/> (単写)	補正幅	3・1/3 (3枚撮影)	ブラケット順序	0/-/+
	<input type="checkbox"/> (連写)		3・2/3 (3枚撮影)		-/0/+
			3・1 (3枚撮影)		
			5・1/3 (5枚撮影)		
			5・2/3 (5枚撮影)		
			5・1 (5枚撮影)		
			7・1/3 (7枚撮影)		
			7・2/3 (7枚撮影)		
			7・1 (7枚撮影)		

- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。
- 次の場合、オートブラケットは無効になります。
 - ・シーンガイドモード設定時（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る]）
 - ・クリエイティブコントロールモード設定時（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - ・ホワイトバランスブラケット設定時
 - ・動画撮影時
 - ・フラッシュ撮影時
 - ・B（バルブ）撮影時
 - ・[i 手持ち夜景] 撮影時
 - ・[HDR] を [ON] に設定時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）
 - ・[フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時

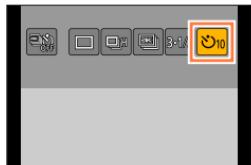
セルフタイマーで撮る

撮影モード: **[A] [P] [S] [M] [C] [SCN] [S]**

三脚の使用をお勧めします。セルフタイマーを2秒に設定すると、シャッターを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

1 [S] [S] ボタン (▼) を押す

2 ◀▶ でセルフタイマーアイコン ([S] など) を選び、▲を押す



3 ◀▶ でセルフタイマーの動作設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。



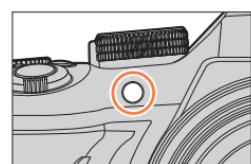
- セルフタイマーの時間は、[撮影] メニューの [セルフタイマー] でも設定できます。

4 シャッターを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- フォーカスと露出はシャッターを半押し時に固定されます。



- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。



■セルフタイマーを解除するとき

手順**2**で [□] (単写) または [S] [OFF] を選ぶ。

- 電源スイッチを [OFF] にしても解除されます。([セルフタイマー自動解除] (P.68) を [ON] に設定時)

セルフタイマーで撮る

- [S] 設定時、フラッシュ撮影する場合、発光量は一定にならないことがあります。
- 次の場合は、[S] に設定できません。
 - ・ホワイトバランスプラケット設定時
 - ・B (バルブ) 撮影時
 - ・[フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時
 - ・[多重露出] 設定時
- 次の場合、セルフタイマーは無効になります。
 - ・動画撮影時
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)



一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）

撮影モード：**A** **A** **P** **A** **S** **M** **SCN** **C** **SCN** **6**

撮影開始時刻や撮影間隔などをあらかじめ設定しておくと、自動的に写真を撮影します。動植物の経過観察や風景などの定点撮影に便利です。ひとつのグループ画像（P.217）として記録されます。[再生] メニューの「インターバル動画作成」を使うと動画を作成することができます。（P.233）

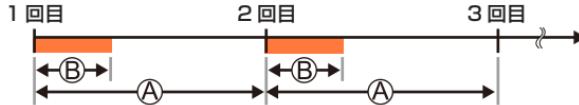
- あらかじめ時計設定をしておいてください。（P.30）

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [インターバル撮影]

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

開始時刻	即時開始	シャッター ボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	撮影を開始する時刻を設定できます。最大 23 時間 59 分後まで設定可能です。 ◀▶で項目（時・分）を選び、▲▼で開始時刻を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
撮影間隔	撮影間隔と撮影枚数を設定できます。	◀▶：項目（分・秒・枚）選択
撮影枚数	▲▼：設定	[MENU/SET] ボタン：決定 <ul style="list-style-type: none"> • 撮影間隔は 1 秒～99 分 59 秒を 1 秒間隔で設定できます。 • 撮影枚数は 1 枚～9999 枚で設定できます。 • 撮影間隔（A）は、露光時間（シャッタースピード）（B）よりも長くなるように設定してください。（下図） 夜間の撮影など、撮影間隔（A）が露光時間（シャッタースピード）（B）よりも短くなる場合は、撮影をスキップすることがあります。



- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できない場合があります。

3 ▲▼で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）

4 シャッターボタンを全押しする

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中、一定時間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入りります。手動で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 撮影待機中の操作（電源が入った状態）

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
[Fn2]	①	一時停止または終了の選択画面を表示
	②	再開または終了の選択画面を表示（一時停止中）

5 動画の作成方法を選ぶ

- [記録方式] : [MP4]

画質設定	動画の画質を設定します。 [4K/30p] / [4K/24p] / [FHD/60p] / [FHD/30p] / [HD/30p] / [VGA/30p]
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。 [60fps]*/ [30fps] / [15fps] / [10fps] / [7.5fps] / [6fps] / [3fps] / [1fps] * [FHD/60p] 設定時のみ • [4K/24p] 設定時は、[24fps] / [12fps] / [8fps] / [6fps] / [4.8fps] / [2.4fps] / [1fps] からコマ数を設定できます。
動画化順番	[撮影順] : 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順] : 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

6 ▲▼で【実行】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生] メニューの [インターバル動画作成] からも動画化できます。 (P.233)

一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）

- システム用途（監視カメラ）の機能ではありません。
- 本機を放置してインターバル撮影を行う際は、盗難にお気をつけください。
- 寒冷地や低温下または高温・多湿な環境での長時間撮影は、故障の原因となることがありますので、お気をつけください。
- 十分に充電されたバッテリーか、AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラ（別売：DMW-DCC8）をご使用ください。
- 次の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - ・バッテリー残量がなくなったとき
 - ・電源スイッチを [OFF] にしたとき
- 設定時間中であれば、一時停止中にバッテリー、カードを交換し、電源スイッチを [ON] にして再開することができます。（ただし、再開後に撮影された画像は別のグループ画像として記録されます）なお、バッテリー、カードを交換するときは、電源スイッチを [OFF] にして行ってください。
- インターバル撮影時は AV ケーブル（別売）、HDMI マイクロケーブル、USB 接続ケーブル（付属）を接続しないでください。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- AC アダプターを使用して動画を作成している最中に、停電や AC アダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成途中の動画は記録されません。
- 記録時間が 29 分 59 秒を超える動画、ファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
- 撮影された枚数が 1 枚の場合は、グループ画像として記録されません。
- 次の場合、[インターバル撮影] は使えません。
 - ・シーンガイドモードの [夜景を手持ちで撮る]
 - ・[フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時



トップモーション動画の作成 (コマ撮りアニメ)

撮影モード: **A** **A** **P** **S** **M** **REC** **C** **SCN** **6**

写真をつなぎ合わせてトップモーション動画を作成します。

- ・あらかじめ時計設定をしておいてください。 (P.30)
- ・コマ撮り撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。 (P.217)

コマ撮りアニメを作成する前に

コマ撮りアニメでは、人形などを少しずつ動かすごとに撮影し、つなぎ合わせることでまるで動いているかのような動画が作れます。



- ・本機では、動画 1 秒当たり 1 コマ～60 コマの写真を撮影する必要があります。
- ・滑らかな動きにするには、できるだけ動きを細かく撮り、動画化の際に 1 秒当たりのコマ数 (フレームレート) を大きく設定してください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [コマ撮りアニメ]

2 ▲▼で撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。
	OFF	1 コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影] を [ON] に設定時のみ)	自動撮影の間隔を設定します。1 秒から 60 秒までを 1 秒間隔で設定できます。

3 ▲▼で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

トップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）

4 ▲▼で【新しく撮る】を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

5 シャッターボタンを全押しする

- 最大 9999 コマまで撮影できます。

6 被写体を動かし、構図を決める

- 同様に撮影を繰り返してください。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。【はい】を選びと続きから撮影できます。



● 素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 再生ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は【Q.MENU □/◀】ボタンを押して消去することができます。もう一度再生ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

7 [■] をタッチして撮影を終了する

- 【撮影】メニューから【コマ撮りアニメ】を選び、[MENU/SET] ボタンを押しても終了できます。
- 【自動撮影】を【ON】に設定時は、確認画面で【終了】を選んでください。（【一時停止】を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください）



ストップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）

8 動画の作成方法を選ぶ

- ・[記録方式] : [MP4]

画質設定	動画の画質を設定します。 [4K/30p] / [4K/24p] / [FHD/60p] / [FHD/30p] / [HD/30p] / [VGA/30p]
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。 [60fps]*/ [30fps] / [15fps] / [10fps] / [7.5fps] / [6fps] / [3fps] / [1fps] ※ [FHD/60p] 設定時のみ <ul style="list-style-type: none"> ・[4K/24p] 設定時は、[24fps] / [12fps] / [8fps] / [6fps] / [4.8fps] / [2.4fps] / [1fps] からコマ数を設定できます。
動画化順番	[撮影順] : 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順] : 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

9 ▲▼で【実行】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[再生] メニューの【コマ撮りアニメ作成】からも動画化できます。 (P.233)

■撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順 4 で【続きから撮る】を選びと、【コマ撮りアニメ】で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、確認画面で【はい】を選んでください。



ストップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）

- フラッシュ撮影時など、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 元の画像と異なる横縦比の画質を選択した場合、動画の上下や左右に黒い帯が付いて表示されます。
- 十分に充電されたバッテリーか、AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カブラー（別売：DMW-DCC8）をご使用ください。
- AC アダプターを使用して動画を作成している最中に、停電や AC アダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、作成途中の動画は記録されません。
- 記録時間が 29 分 59 秒を超える動画、ファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
- 1 枚だけ撮影された場合は、グループ画像として記録されません。1 枚だけ撮影された画像を【続きから撮る】で選ぶことはできません。
- 次の場合、【コマ撮りアニメ】は使えません。
 - ・【フィルター設定】の【フィルターなし同時記録】を【ON】に設定時
 - ・【多重露出】設定時
 - ・インターバル撮影時
- 次の場合、【コマ撮りアニメ】の【自動撮影】は使えません。
 - ・シーンガイドモードの【夜景を手持ちで撮る】



1 枚の写真に複数回の露出をする（多重露出）

撮影モード：**IA** **IA** **P** **A** **S** **M** **MC** **C** **SCN** **6**

1 枚の画像に最大 4 回の露光を行ったような効果を得ることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ **撮影** → [多重露出]

2 ▲▼で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 構図を決めて、1 枚目を撮影する

- 撮影後、シャッター ボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと次の操作が可能です。
 - [次の撮影]：次の撮影に進みます。
 - [撮り直し]：直前の撮影結果を破棄し、撮り直します。
 - [完了]：多重露出を終了し、撮影した画像を記録します。



4 2 枚目、3 枚目、4 枚目を撮影する

- 撮影時に [Fn2] ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。

5 ▼で [完了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッター ボタン半押しでも終了できます。



1枚の写真に複数回の露出をする（多重露出）

■自動ゲイン補正設定について

175ページの手順2で「自動ゲイン補正」を選んで設定してください。

- ・[ON]：撮影枚数に応じて、明るさを自動調整して合成します。
- ・[OFF]：すべての露光結果をそのまま重ねて合成します。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。

■カード内のRAW画像に重ね合わせる

175ページの手順2で「再生画像と多重」を[ON]に設定してください。[開始]後に、カード内の画像が表示されます。RAW画像を選んで[MENU/SET]ボタンを押し、続けて撮影してください。

- ・本機で撮影されたRAW画像にのみ「再生画像と多重」を行えます。

- 完了するまで、画像は記録されません。
- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 多重露出撮影中は、メニュー画面にグレーで表示される項目は設定できません。
- 次の場合、[多重露出]は使えません。
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ]時



操作音と発光の禁止を一括で設定する（サイレントモード）

撮影モード：**A** **A** **P** **A** **S** **M** **M** **C** **SCN** **ﾔ**

静かな環境や公共の施設などで撮影するときや、赤ちゃんや動物などの被写体を撮影するときに使うと便利です。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ **ﾔ** [カスタム] → [サイレントモード]

設定：[ON] / [OFF]

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。次の機能は固定されます。
 - [シャッター方式]：[電子シャッター]
 - [フラッシュモード]：[] (発光禁止)
 - [AF 補助光]：[OFF]
 - [電子音音量]：[] (OFF)
 - [シャッター音音量]：[] (OFF)

- [ON] に設定していても、次の機能は点灯 / 点滅します。
 - 電源表示ランプ
 - セルフタイマーランプ
 - Wi-Fi 接続ランプ
- レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯や LED などの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
(P.81)



個人認証機能を使って撮る（個人認証）

撮影モード：**A A P A S M C SCN**

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [撮影] → [個人認証]

設定：[ON] / [OFF] / [登録]

お買い上げ時、[個人認証] は [OFF] に設定されています。

顔画像を登録すると自動的に [ON] になります。

■個人認証機能の働き

撮影時

- 登録した顔を認識し、ピントと露出を合わせる
- 名前を設定して登録した顔を認識すると、名前を表示（3人まで）



再生時

- 名前や月齢／年齢を表示（情報を登録している場合）
- 撮影時に認識した顔に設定された名前を表示（3人まで）
- 選んだ登録人物の画像のみを再生（[カテゴリー再生]）

- 【個人認証】は、オートフォーカスマードを **[人]** に設定しているときのみ有効です。
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1枚目の画像の名前が表示されます。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔・瞳認識よりも時間がかかります。
- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
- 個人認証情報を登録していても、名前を [OFF] で撮影した画像は、[カテゴリー再生] の個人認証に分類されません。
- 個人認証情報を変更した場合（P.180）でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は [カテゴリー再生] の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには【認証情報編集】の【入換】（P.239）を行ってください。

個人認証機能を使って撮る（個人認証）

- 次の場合、[個人認証] を設定できません。
 - ・クリエイティブコントロールモード設定時（[ジオラマ]）
 - ・動画撮影時
 - ・4K フォト撮影時
 - ・インターバル撮影時

顔画像を登録する

最大 6 人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

■顔画像登録時の撮影ポイント

- ・目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- ・顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

登録時の良い例



■撮影時に認証されにくいと感じたら

- ・同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- ・撮影するその場で追加して登録する。
- ・登録している人物を認証しなくなつた場合は、登録し直す。

1 ▲▼で【登録】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼◀▶で【新規登録】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・すでに 6 人登録されているときは、まず、登録されている人物を解除してください。（P.180）



3 ガイドに顔を合わせて撮影する

- ・人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ・▶を押す、または【①】をタッチすると、説明が表示されます。



個人認証機能を使って撮る（個人認証）

4 ▲▼で編集項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

名前	①▼で【設定】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ②名前を入力する（文字入力方法：P.70）
月齢／年齢	誕生日を設定します。 ①▼で【設定】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ②◀▶で年月日を選び、▲▼で設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
追加登録	顔画像は3枚まで登録できます。 ①◀▶で【追加登録】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す <ul style="list-style-type: none"> 画像が1枚しか登録されていない場合は、カーソルボタンの操作は不要です。[MENU/SET] ボタンのみ押して追加登録してください。 カーソルボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。【はい】を選ぶと、顔画像が消去されます。 ②撮影する（179ページの手順3）

登録した人物の情報を編集／解除する

1 ▼で【登録】を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼◀▶で編集または解除する人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

情報編集	名前など、登録した情報を修正します。（上記の手順4）
登録順	ピントや露出の優先順位を設定します。 ①▲▼◀▶で登録順を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
解除	登録した人物の情報や顔画像を消去します。



赤ちゃんやペットのプロフィールを設定して画像に記録する

撮影モード: **IA FA P A S M SCN C**

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢／年齢を画像に記録することができます。

■名前、月齢／年齢を設定する

①メニューを設定する

MENU ボタン→  [撮影] → [プロフィール設定]

設定: **[ (赤ちゃん 1)] / [ (赤ちゃん 2)] / [ (ペット)] / [OFF] / [設定]**

②▲▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

③▲▼で [赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

④▲▼で [月齢／年齢] または [名前] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

⑤▲▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

誕生日: **◀▶**で年月日を選び、▲▼で設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

名前: (文字入力方法: [P.70](#))

⑥▼で [終了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する

■月齢／年齢や名前の表示を解除するには

手順 ①で [OFF] を設定してください。

- [名前] や [月齢／年齢] は、CD-ROM (付属) のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の「文字焼き込み」で写真に焼き込むことができます。
- 4K フォト撮影時、[プロフィール設定] は使えません。
- 次の場合、月齢／年齢や名前は記録されません。
 - ・動画撮影時
 - ・動画撮影中に記録した写真 ([] (動画優先)) ([P.205](#))

撮影に適した画面表示にする

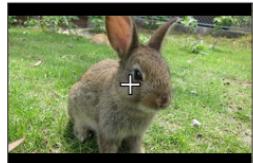
画面の中心を表示する（センターマーカー表示）

撮影モード：

撮影画面の中心を示す [+] を表示します。被写体を画面の中心にとらえたままズーム操作するときに便利な表示です。

MENU ボタン→  [カスタム] → [センターマーカー表示]

設定：[ON] / [OFF]



白飛びのおそれがある部分を確認する（ゼブラパターン表示）

撮影モード：

一定の輝度よりも明るい、白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示して確認できます。縞模様で表示する輝度（明るさ）を設定することもできます。

MENU ボタン→  [カスタム] → [ゼブラパターン表示]

ゼebra 1	右側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
ゼebra 2	左側に傾いた縞模様で、一定の輝度よりも明るい部分を表示します。	
OFF	—	
設定	それぞれの模様での縞模様で表示する明るさを設定します。 [ゼebra 1] / [ゼebra 2]	1 ▲▼で明るさを選び、[MENU/SET] ボタンを押す • 選べる明るさの範囲は [50%] から [105%] までです。[ゼebra 2] では、[OFF] に設定することができます。[100%] または [105%] を選択すると、白飛びを起こしている部分だけが縞模様で表示されます。数値を小さくすると、縞模様で表示する明るさの範囲が広くなります。

撮影に適した画面表示にする

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム (P.43) を参考に、露出をマイナス方向に補正して (P.142) 撮影することをお勧めします。
- 表示される縞模様は記録されません。
- [カスタム] メニューの [Fn ボタン設定] (P.57) に [ゼブラパターン表示] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ゼブラ 1] → [ゼebra 2] → [OFF] の順に切り換わります。[ゼebra 2] を [OFF] に設定時は、[ゼebra 1] → [OFF] の順に切り換わり、素早く切り換えることができます。

撮影画面を白黒表示にする（モノクロライブビュー）

撮影モード : **IA FA P A S M M C SCN**

撮影画面を白黒表示にすることができます。白黒で表示する方が、マニュアルフォーカスでピントを合わせやすい場合に便利な機能です。

MENU ボタン →  [カスタム] → [モノクロライブビュー]

設定 : [ON] / [OFF]

- ・撮影時に HDMI 出力する場合、接続した機器には働きません。
- ・撮影画像に影響はありません。



カメラの映像をモニターしながら撮る

撮影モード: **A** **A** **P** **A** **S** **M** **M** **C** **SCN** **6**

HDMI 出力時は、テレビなどでモニターしながら写真を撮影することができます。

HDMI マイクロケーブルでテレビと接続する方法については、[287 ページ](#)をお読みください。



■情報表示の有無を切り換える

[セットアップ] メニューの [テレビ接続設定] の [HDMI 情報表示 (撮影時)] ([P.67](#)) で、HDMI 出力時の表示を変更できます。

[ON] : カメラの表示をそのまま出力する。

[OFF] : 映像のみを出力する。

- オートフォーカスマードの [+] と MF アシストでの、画面の一部での拡大表示はできません。
- [撮影] メニューの [画像横縦比] は、[16:9] に固定されます。
- 電子音や電子シャッター音は鳴りません。
- HDMI 出力時に Wi-Fi 接続した場合は、カメラのモニターに映像は表示されません。
- シーンガイドモードのシーンを選ぶ画面は HDMI 出力されません。
- 次の場合、HDMI 出力されません。
 - ・ 動画撮影中
 - ・ パノラマ撮影中
 - ・ 4K フォト撮影時

手ブレを補正する

撮影モード: **[A] [A] [P] [S] [M] [C] [SCN] [6]**

本機では、手ブレを自動で感知して補正します。動画撮影時は、レンズで補正する光学式とセンサーで補正する電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使えます。ズームしたり、歩きながら撮影するときなど、さまざまな揺れに対してブレにくくします。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **[撮影]** → **[手ブレ補正]**

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

動作設定	 (通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
	 (流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を動かしながら撮影する方法）するときに適しています。ファインダー撮影をお勧めします。
	OFF	手ブレ補正是働きません。
電子補正 (動画)	動画撮影時の上下方向、左右方向、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレを補正します。(5軸ハイブリッド手ブレ補正) [ON] / [OFF]	<ul style="list-style-type: none"> • [ON] 設定時、動画撮影中、[手ブレ] が画面表示されます。 ただし、クリエイティブ動画モードでは、[手ブレ] が常に画面表示されます。 • 撮影した動画の画角が狭くなる場合があります。

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示が表示されたときは、[手ブレ補正]、三脚、[セルフタイマー]、シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）（P.307）などをお使いください。

●特に、次の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。

- スローシンクロ
- 赤目軽減スローシンクロ
- シーンガイドモード設定時（[夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る]）
- シャッタースピードを遅くしたとき



手ブレを補正する

- 三脚を使用するときは、[手ブレ補正] の [動作設定] を [OFF] に設定することをお勧めします。[OFF] に設定すると、画面に [()] が表示されます。
- パノラマモードでは、[()] (通常) での手ブレ補正是使えません。
- 次の場合は、[()] (流し撮り) にしていても、[()] (通常) に切り換わります。
 - ・動画撮影時
 - ・4K フォト設定時
- ハイスピード動画撮影時、手ブレ補正是使えません。
- 次の場合、5 軸ハイブリッド手ブレ補正是使えません。
 - ・[画質設定] が [4K/100M/30p]、[4K/100M/24p] または [VGA/4M/30p] での動画撮影時
- 次の場合、補正が効きにくくなることがあります。
 - ・手ブレが大きいとき
 - ・ズーム倍率が高いとき（デジタルズーム領域を含む）
 - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
 - ・室内や薄暗い場所で撮る（シャッタースピードが遅い）とき
- 次の場合は、[()] での流し撮りの効果が出にくくなります。
 - ・夏の日中など、明るいところ
 - ・シャッタースピードが 1/100 秒より速い場合
 - ・被写体の動きが遅く、本機を動かす速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
 - ・本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合



ズームを使って撮る

ズームの種類と用途

記録画素数を変更すると、ズーム倍率が変わります。

光学ズーム

撮影モード：**A** **A** **P** **A** **S** **M** **M** **C** **SCN** **Q**

画質を劣化させずに拡大します。

最大倍率：24倍

- 次の場合、光学ズームは使えません。
 - ・ズームマクロ撮影時

EX 光学ズーム

撮影モード：**A** **A** **P** **A** **S** **M** **M** **C** **SCN** **Q**

【EX】付きの記録画素数（P.113）を選びと働きます。画質を劣化させずに光学ズームより拡大します。

最大倍率：46.9倍（記録画素数により変わります。）

- 次の場合、EX 光学ズームは使えません。
 - ・クリエイティブコントロールモード設定時（[トイフォト] [トイポップ]）
 - ・シーンガイドモード設定時（[夜景を手持ちで撮る]）
 - ・4K フォト撮影時
 - ・[連写速度] を [SH] に設定時
 - ・[HDR] を [ON] に設定時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・[手持ち夜景] を [ON] に設定時
 - ・[iHDR] を [ON] に設定時
 - ・[クオリティ] を [RAW^{■■}] [RAW^{■■}] [RAW] に設定時
 - ・ズームマクロ撮影時
 - ・動画撮影時

ズームを使って撮る

さらに倍率を上げたいときは、次のズームを併用できます。

iA ズーム

撮影モード:

超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の2倍までズーム倍率を上げることができます。

[MENU] ボタン→ [撮影] / [動画] → [iA ズーム] → [ON] / [OFF]

- 次の場合、iA ズームは使えません。

- クリエイティブコントロールモード設定時（[インプレッシブアート] [トイフォト] [トイポップ]）
- シーンガイドモード設定時（[夜景を手持ちで撮る]）
- ズームマクロ撮影時
- [連写速度] を [SH] に設定時
- [HDR] を [ON] に設定時
- [多重露出] 設定時
- [i 手持ち夜景] を [ON] に設定時
- [iHDR] を [ON] に設定時
- [クオリティ] を [RAW^{■■}] [RAW^{■■}] [RAW] に設定時

ズームを使って撮る

デジタルズーム

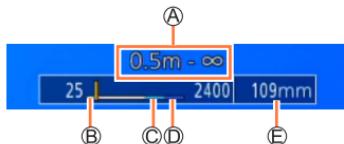
撮影モード: **PA S M MC SCN**

最大ズーム倍率がさらに4倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。

MENUボタン→**撮影** / **動画** → [デジタルズーム] → [ON] / [OFF]

- iAズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が2倍までに制限されます。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー (P.166) を使って撮影することをお勧めします。
- デジタルズーム領域では、AFエリアは中央で大きく表示されます。
- 次の場合、デジタルズームは使えません。
 - ・クリエイティブコントロールモード設定時 ([インプレッシブアート] [トイフォト] [トイポップ] [ジオラマ])
 - ・シーンガイドモード設定時 ([夜景を手持ちで撮る])
 - ・ハイスピード動画撮影時
 - ・[連写速度] を [SH] に設定時
 - ・[HDR] を [ON] に設定時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・[クオリティ] を [RAW[■]] [RAW[■]] [RAW] に設定時

プログラムAEモードで、光学ズーム、iAズームおよびデジタルズームを併用したときの表示例



Ⓐ ピントが合う範囲

Ⓑ iAズームの範囲

Ⓔ 現在のズーム位置 (35 mm フィルムカメラ換算の焦点距離)

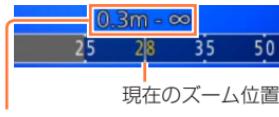
Ⓐ 光学ズームの範囲

Ⓓ デジタルズームの範囲

ズームを使って撮る

fc ズーム動作の設定を変更する

MENU ボタン→ fc [カスタム] → [ズームレバー] / [サイドレバー]

Q (ズーム)	通常のズーム動作を行います。
Q (ステップズーム)	<p>操作するたびに、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影時、4K フォトの [4K] (4K プリ連写) で撮影時は働きません。 

fc 電源スイッチを [OFF] にしたときのズーム位置を記憶する / 記憶しない

MENU ボタン→ fc [カスタム] → [ズーム位置メモリー] → [ON] / [OFF]

タッチ操作でズームを使う（タッチズーム）

1 [W] をタッチする

2 [W] をタッチする

- スライドバーが表示されます。



3 スライドバーをドラッグして、ズーム操作を行う

- タッチする位置により、ズームスピードは変わります。

[▼] / [▲] ゆっくりズームする

[▼] / [▲] 速くズームする

- もう一度 [W] をタッチすると、タッチズーム操作を終了します。



- [ズームレバー] のズーム動作を [ステップズーム] に設定時（上記）は、ステップズーム用のスライドバーが表示されます。
- ハイスピード動画撮影中は使えません。

フラッシュを使って撮る

撮影モード: **A** **AV** **P** **AS** **M** **TV** **C** **SCN** **6**

フラッシュを使うと、暗い場所で撮影したり、背景が明るいときに被写体を照らして全体のコントラストを調整することができます。

■内蔵フラッシュを開く / 閉じる

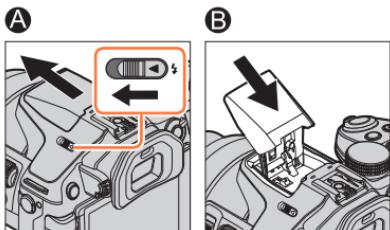
A 開くとき

フラッシュオープンレバーをスライドさせる

B 閉じるとき

フラッシュを「カチッ」と音がするまで押す

- 無理に閉じようすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを開じているときは、**[④]** に固定されます。



● フラッシュを開くときに、フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。

● フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。

● 次の場合、発光禁止 (**[④]**) に固定されます。

- 動画撮影時
- 4K フォト撮影時
- 電子シャッター使用時
- [HDR]** を **[ON]** に設定時
- [サイレントモード]** を **[ON]** に設定時
- [フィルター設定]** の **[フィルター選択]** で画像効果設定時
- [コンバージョン]** を **[④]** または **[⑤]** に設定時

発光禁止 (**[④]**) について

フラッシュを開じているときや動画撮影時などフラッシュ撮影できない場合は、撮影画面に **[④]** (発光禁止) が表示され、フラッシュが発光しません。

● フラッシュ禁止の場所などで発光させないようにするには、フラッシュを開じてください。

フラッシュを使って撮る

 **フラッシュを上手に使うには**

- フラッシュ撮影時、被写体からの距離が近すぎると白飛びが起きる場合があります。[カスタム] メニューの [ハイライト表示] を [ON] に設定すると、オートレビュー時または再生時に白飛びの起こっている部分が黒と白の点滅で表示されます。[フラッシュ光量調整] (P.197) をマイナス方向に設定するなどして、再度撮影することをお勧めします。
- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

■ フラッシュ撮影可能範囲

ズームを使わずに、至近距離 (W 端付近) でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。

W 端時	T 端時
約 0.3 m ~ 約 8.8 m	約 1.0 m ~ 約 8.8 m

- ISO 感度を [AUTO]、[ISO 感度上限設定] を [OFF] に設定時の範囲です。

- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。(熱や光で変形、変色することがあります)
- 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、306 ページをお読みください。



フラッシュの機能を設定する

発光モードを変更する（マニュアルフラッシュ）

撮影モード：      

発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→  [撮影] → [フラッシュ設定] → [発光モード]

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの光量比を手動で設定します。[TTL] では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。フラッシュアイコンに光量比（[1/1] など）が表示されます。

- 内蔵フラッシュ使用時のみ設定できます。

光量比を設定する（[マニュアル] 選択時）

① メニューを設定する

MENU ボタン→  [撮影] → [フラッシュ設定] → [マニュアル発光量設定]

② ◀▶で発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- [1/1]（フル発光）～[1/128] まで、1/3段ごとに設定できます。

フラッシュモードを切り換える

撮影モード：      

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→  [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

フラッシュの機能を設定する

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

⚡ : 強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。
⚡◎ : 赤目軽減強制発光*	・逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
⚡S : スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。
⚡S◎ : 赤目軽減スローシンクロ*	・夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ・シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。
◎ : 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ・フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。 ・外部フラッシュ使用時のみ設定できます。

* [フラッシュ設定] の [ワイヤレスモード] を [OFF] (P.198) に、[発光モード] を [TTL] に設定時のみ設定できます。 (P.193)

フラッシュが 2 回発光します。2 回目の発光終了まで動かないようにしてください。発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。

- ・赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■赤目を補正する

撮影モード: **IA** **IS** **P** **A** **S** **M** **SM** **C** **SCN** **6**

フラッシュの赤目軽減 ([⚡◎] / [⚡S◎]) で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

MENU ボタン → **撮影** → [デジタル赤目補正]

設定: [ON] / [OFF]

- [ON] に設定すると、アイコンが [⚡◎] / [⚡S◎] に変わります。
- 赤目の状態によっては、補正できない場合があります。



フラッシュの機能を設定する

■撮影モード別フラッシュ設定 (○: 設定可、×: 設定不可)

撮影モード	闪光	闪光(オート)	闪光S	闪光S(オート)	オフ
IA インテリジェントオートモード	(P.72)				
IA+ インテリジェントオートプラスモード					
P プログラム AE モード	○	○	○	○	○
A 絞り優先 AE モード	○	○	○	○	○
S シャッター優先 AE モード	○	○	×	×	○
M マニュアル露出モード	○	○	×	×	○
■M クリエイティブ動画モード	×	×	×	×	○
□ パノラマモード	×	×	×	×	○
○ クリエイティブコントロールモード	×	×	×	×	○
人物をきれいに撮る	○	○	×	×	○
人物の肌をきれいに撮る	○	○	×	×	○
逆光でふんわり撮る	×	×	×	×	○
逆光でしっかり撮る	○	×	×	×	○
ほのぼのした雰囲気で撮る	×	×	×	×	○
子どもをかわいく撮る	○	○	×	×	○
風景をきれいに撮る	×	×	×	×	○
青空をさわやかに撮る	×	×	×	×	○
夕焼けを幻想的に撮る	×	×	×	×	○
夕焼けを印象的に撮る	×	×	×	×	○
SCN シーンガイドモード (○: 初期設定)	水面をキラキラ撮る 夜景をきれいに撮る 夜空をクールに撮る 夜景を暖かく撮る 夜景をアーティスティックに撮る イルミネーションをキラキラ撮る 夜景を手持ちで撮る 夜景をバックに人物をきれいに撮る 花をふんわり撮る 料理をおいしそうに撮る スイーツをかわいく撮る 動くペットをきちんと撮る スポーツをきれいに撮る モノクロで撮る	×	×	×	○

- シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。



フラッシュの機能を設定する

■フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
闪光	1/60 *1 ~ 1/4000 秒
闪光(オート)	

フラッシュモード	シャッタースピード
闪光S	1 ~ 1/16000 秒
闪光S(オ)	
闪光(オ)	60 *2 ~ 1/16000 秒

*1 シャッター優先 AE モード時は 60 秒、マニュアル露出モード時は B (バルブ) となります。

*2 マニュアル露出モード時は B (バルブ) となります。

- ・インテリジェントオート ([IA] または [IA]) モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

後幕シンクロに設定する

撮影モード: **[IA]** **[IA]** **P** **A** **S** **M** **■** **C** **□** **SCN** **6**

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **[撮影]** → **[フラッシュ設定]** → **[フラッシュシンクロ]**

2 ▲▼で設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
後幕	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

- [後幕] に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
- [フラッシュ設定] の [ワイヤレスモード] を [OFF] に設定時のみ設定できます。 (P.198)
- [フラッシュシンクロ] の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(ワイヤレスフラッシュを除く) (P.306)
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕] 設定時は、[闪光]、[闪光(オ)] に設定できません。

フラッシュの機能を設定する

■ フラッシュの発光量を調整する

撮影モード: **IA** **FA** **P** **AS** **M** **SCN** **SCN** **6**

フラッシュ撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **【撮影】** → **【フラッシュ設定】** → **【フラッシュ光量調整】**

2 ◀▶ でフラッシュの発光量を設定し、**【MENU/SET】** ボタンを押す

設定: -3EV ~ +3EV (1/3EV 単位)

フラッシュ発光量を調整しない場合は、**【± 0 EV】** を選んでください。

- フラッシュ発光量が調整されているときは、フラッシュのアイコンに **[+]** または **[−]** が表示されます。
- **【フラッシュ設定】** の **【ワイヤレスモード】** を **【OFF】** (P.198) に、**【発光モード】** を **【TTL】** に設定時のみ設定できます。 (P.193)
- **【フラッシュ光量調整】** の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。 (ワイヤレスフラッシュを除く) (P.306)

■ 露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる

撮影モード: **IA** **FA** **P** **AS** **M** **SCN** **SCN** **6**

露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。

MENU ボタン → **【撮影】** → **【フラッシュ設定】** → **【露出補正連動】**

設定: **【ON】** / **【OFF】**

- 露出補正については、**142 ページ**をお読みください。
- **【露出補正連動】** の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。 (P.306)



ワイヤレスでフラッシュ撮影する

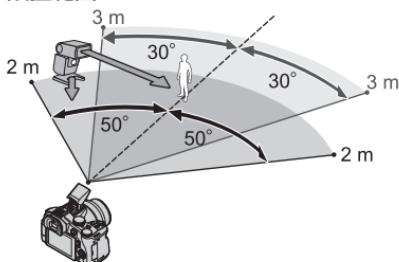
撮影モード: **IA** **IA** **P** **A** **S** **M** **MC** **C** **SCN** **6**

ワイヤレス撮影機能のあるフラッシュライト（別売：DMW-FL360L、DMW-FL580L）を使うと、3つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュ（または本機のホットシューに装着したフラッシュライト）を別々に発光制御できます。

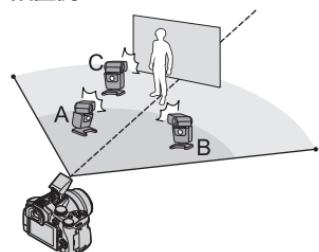
■ワイヤレスフラッシュの設置について

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。

設置範囲



設置例



- 設置例は、発光グループフラッシュ A、B でできる被写体の背景の影を消すために C を設置した場合です。
- ワイヤレスフラッシュの設置数は 1 グループ最大 3 台をお勧めします。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量] を [弱] に設定したり、ディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

1 ワイヤレスフラッシュの設定を RC モードにして、配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

2 フラッシュオープンレバーをスライドさせてフラッシュを開くか、または本機にフラッシュライト（別売：DMW-FL360L、DMW-FL580L）を取り付ける

3 メニューを設定する

MENU ボタン → **【撮影】** → **【フラッシュ設定】** → **【ワイヤレスモード】**

4 ▲▼で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [ワイヤレスモード] を [ON] に設定すると、撮影画面のフラッシュアイコンに [WL] が表示されます。

ワイヤレスでフラッシュ撮影する

5 ▲▼で【ワイヤレスチャンネル】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

6 ▲▼でチャンネルを選び、【MENU/SET】ボタンを押す

- 手順 1 で設定したワイヤレスフラッシュと同じチャンネルを選んでください。

7 ▲▼で【ワイヤレス設定】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

8 ▲▼で項目を選び、【MENU/SET】ボタンを押す



内蔵フラッシュ / 外部フラッシュ※1	発光モード	TTL : カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO※2 : 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル※2 : 外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF : 本機側のフラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ光量調整	[発光モード] を [TTL] に設定時の本機側フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード] を [マニュアル] に設定時の外部フラッシュ光量比を設定します。 • [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3段ごとに設定できます。
A グループ / B グループ / C グループ	発光モード	TTL : カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO : ワイヤレスフラッシュ側で自動的にフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル : ワイヤレスフラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF : 設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ光量調整	[発光モード] を [TTL] に設定時のワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード] を [マニュアル] に設定時のワイヤレスフラッシュ光量比を設定します。 • [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3段ごとに設定できます。

※1 本機に外部フラッシュを装着時は、[内蔵フラッシュ] の代わりに [外部フラッシュ] と表示します。

※2 本機に外部フラッシュを装着時のみ設定できます。

■ワイヤレス撮影時の通信発光の強さを設定する

【MENU】ボタン → 【撮影】 → 【フラッシュ設定】 → 【ワイヤレス通信光量】

設定 : 【強】 / 【中】 / 【弱】

動画を撮る

撮影モード: **■ ■ ■ P A S M ■ ■ ■ SCN**

AVCHD 規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4 で記録される動画を撮影できます。MP4 では 4K 動画も撮影できます。[\(P.202\)](#)
音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

- 各動画モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- 静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が録音されることがあります。これは異常ではありません。

動画撮影中のフォーカス動作は [AF 連続動作] で [OFF] に設定することができます。[\(P.204\)](#)

- 画面上の情報が一部消えた場合は、[DISP.] ボタンを押す、またはモニターをタッチすると再度表示されます。
- 動画撮影中に写真を撮ることができます。[\(P.205\)](#)



記録動作表示



記録経過時間

残り記録可能時間

2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

動画ボタンの有効 / 無効を設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [動画ボタン] → [ON] / [OFF]

写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換える

MENU ボタン → [カスタム] → [記録枠表示] → (写真) / (動画)

- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。
[記録枠表示] を に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 4K フォト撮影時、[記録枠表示] は使えません。

動画を撮る

 **撮影終了時の操作音について**

撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。

- 3秒ほど長めに撮影し、[再生] メニューの [動画分割] (P.232) で動画の終わりの部分を分割してください。
- クリエイティブ動画モードに設定し、シャッターリモコン (別売: DMW-RSL1) を使って撮影してください。 (P.307)

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、機器保護のため、[△] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画ボタンを押す前に EX 光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その動作音が記録される場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影中、[ISO 感度] は [AUTO] (動画用) の動作になります。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリー、または AC アダプター (別売: DMW-AC10) および DC カプラ (別売: DMW-DCC8) の使用をお勧めします。 (P.307)
- AC アダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電や AC アダプターを抜くなどして電源の供給が途絶えると、撮影途中の動画は記録されません。
- 次の場合、以下の動画撮影モードになります。

選択されているシーンガイドモード	動画撮影時の撮影モード
[逆光でしっかり撮る]	人物モード
[夜景をきれいに撮る] / [夜景をアーティスティックに撮る] / [夜景を手持ちで撮る] / [夜景をバックに人物をきれいに撮る]	ローライトモード

- 次の場合は、動画撮影できません。
 - ・ シーンガイドモード設定時 ([水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [花をふんわり撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード設定時 ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] * [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - * [画質設定] のサイズが [4K] の動画の場合のみ
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時

動画を撮る

4K 動画を撮る

撮影モード : **A** **FA** **P** **AS** **M** **MC** **SCN** **6**

[画質設定] のサイズを [4K] に設定することで、きめ細かい 4K 動画を撮影することができます。

- ・4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。 (P.25)
- ・4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。

■ 4K 動画を撮影するには

- ①撮影モードを選ぶ (P.36)
- ②[動画] メニューの [記録方式] を [MP4] に設定する (P.203)
- ③[動画] メニューの [画質設定] を [4K/100M/30p] または [4K/100M/24p] に設定する (P.203)
- ④動画ボタンを押して、撮影を開始する
- ⑤もう一度動画ボタンを押して、撮影を終了する

● 高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります、異常ではありません。



フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する

撮影モード: **A** **FA** **P** **AS** **M** **MC** **SCN** **6**

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **動画** → **【記録方式】**

2 ▲▼で項目を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

[AVCHD] ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。

[MP4] パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

3 ▲▼で **【画質設定】** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

4 ▲▼で項目を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

[AVCHD] を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
[FHD/28M/60p]*	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	約 28 Mbps
[FHD/17M/60i]	1920 × 1080	60i	60 コマ / 秒	約 17 Mbps
[FHD/24M/30p]	1920 × 1080	60i	30 コマ / 秒	約 24 Mbps
[FHD/24M/24p]	1920 × 1080	24p	24 コマ / 秒	約 24 Mbps

*AVCHD Progressive

[MP4] を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
[4K/100M/30p]	3840 × 2160	30p	30 コマ / 秒	約 100 Mbps
[4K/100M/24p]	3840 × 2160	24p	24 コマ / 秒	約 100 Mbps
[FHD/28M/60p]	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	約 28 Mbps
[FHD/20M/30p]	1920 × 1080	30p	30 コマ / 秒	約 20 Mbps
[HD/10M/30p]	1280 × 720	30p	30 コマ / 秒	約 10 Mbps
[VGA/4M/30p]	640 × 480	30p	30 コマ / 秒	約 4 Mbps

動画を撮る

- 「ビットレート」の数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しており、撮影する被写体によりビットレートが自動的に変わるために、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

■撮影した動画の互換性について

[AVCHD] および [MP4] で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

- [AVCHD] の [FHD/28M/60p]、[FHD/24M/30p]、[FHD/24M/24p] で記録した動画の本機以外での再生、取り込みには、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたは CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしたパソコンが必要です。
- [MP4] の [4K/100M/30p] または [4K/100M/24p] で記録した動画については [285 ページ](#) の「4K 動画を楽しむ」をお読みください。

■動画撮影時のピントの合わせ方（AF 連続動作）

撮影モード：

ピント合わせは、フォーカスモード（[P.120](#)）と [動画] メニューの [AF 連続動作] の設定によって異なります。

フォーカスモード	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	動画撮影中も自動でピントを合わせ続けます。（ P.120 ）
	OFF	動画撮影開始時のピント位置で固定します。
MF	ON/OFF	手動でピントを合わせることができます。（ P.136 ）

- フォーカスモードを [AFS]、[AFF]、[AFC] に設定時、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境によっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、[動画] メニューの [AF 連続動作] を [OFF] に設定するなどして撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- [スナップムービー] の [ピント送り] の動作中は、[AF 連続動作] は働きません。



動画撮影中に写真を撮影する

撮影モード: **A** **A** **P** **A** **S** **M** **■** **C** **□** **SCN** **◇**

1 動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能 (P.50) を使って撮影することもできます。



29

動画優先、写真優先を設定する

撮影モード: **A** **A** **P** **A** **S** **M** **■** **C** **□** **SCN** **◇**

【動画】メニューの【写真撮影】で、動画撮影中の写真の記録方法を設定することができます。

 (動画優先) (最大 30 枚まで)	<ul style="list-style-type: none"> 記録画素数 [S] (2M) で写真を記録します。通常の写真の [S] (2M) とは画質が異なる場合があります。 クオリティを [RAW[■]], [RAW[▲]] または [RAW] に設定時は JPEG 画像のみ記録されます。([RAW] 設定時はクオリティは [■] で記録されます) クリエイティブコントロールモードを [ジオラマ] に設定時は、シャッターボタンを全押し時と多少ずれて記録される場合があります。
 (写真優先) (最大 4 枚まで)	<ul style="list-style-type: none"> 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が途切れます。

- 写真の画像横縦比は [16:9] に固定されます。
- 次の場合、写真を記録できません。
 - 【記録方式】を [MP4]、【画質設定】を [4K/100M/30p]、[4K/100M/24p] または [VGA/4M/30p] に設定時
 - 【記録方式】を [AVCHD]、【画質設定】を [FHD/24M/24p] に設定時 ([ (写真優先)] 設定時のみ)
 - ドライブモードを 4K フォトに設定時 ([ (写真優先)] 設定時のみ)
 - 【スナップムービー】を [ON] に設定時

スナップムービーを撮る

撮影モード: **A** **A** **P** **A** **S** **M** **M** **C** **SCN** **6**

撮影時間があらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

- ・[MP4] の [FHD/20M/30p] で撮影されます。
- ・本機で撮影した動画を、スマートフォン / タブレットアプリ「Panasonic Image App」でつなぎ合わせて音楽を付けることができます。つなぎ合わせた動画を Web サービスへ送ることもできます。 (P.256)

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **動画** → [スナップムービー]

2 ▲▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼で設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

撮影時間	動画撮影する時間を設定します。 [8秒] / [6秒] / [4秒] / [2秒]
ピント送り	撮影開始時にピントをゆっくりと変えることで、ドラマチックな映像表現を行います。 [ON] / [OFF] ・詳しくは、 207ページ をお読みください。
フェード	映像と音声が撮影を開始するとフェードイン（ゆっくりと現れる）または、撮影の終了にかけてフェードアウト（ゆっくりと消える）する効果です。 [WHITE-IN] / [WHITE-OUT] : 白い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [BLACK-IN] / [BLACK-OUT] : 黒い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [COLOR-IN] / [COLOR-OUT] : 白黒からカラーへフェードイン、またはカラーから白黒へフェードアウトする効果です。音声は通常どおりに記録されます。 [OFF]

4 [Q.MENU] ボタンを押す

5 [MENU/SET] ボタンを押す

6 ▲▼で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[ピント送り] を [ON] に設定した場合は、ピント送りの設定をしてください。 (P.207)

スナップムービーを撮る

7 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。



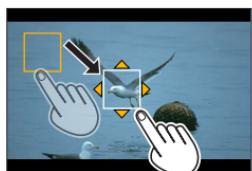
■スナップムービーを解除するには

手順 2 で [OFF] を設定してください。

- [WHITE-IN]、[BLACK-IN] で撮影した動画は、再生時のサムネイル表示が白一色または黒一色になります。
- [カスタム] メニューの [Fn ボタン設定] (P.57) に [スナップムービー] を設定すると、設定したファンクションボタンを押して [スナップムービー] の [ON] / [OFF] の切り換え画面を表示できます。画面表示中に [DISP.] ボタンを押すとスナップムービーの設定を変更できます。
- [スマートフォンとつないで使う] で Wi-Fi 接続すると、[スナップムービー] は [OFF] に切り換わります。
- 次の場合、[スナップムービー] は使えません。
 - クリエイティブコントロールモード設定時 ([ジオラマ])
 - ドライブモードを 4K フォトに設定時
 - ハイスピード動画撮影時

【ピント送り】の設定をする

開始位置（1 点目）と終了位置（2 点目）の枠を選んで、被写体との距離を測り、ピントを設定します。動画撮影を開始すると、1 点目の枠から 2 点目の枠へピント送りが働きます。



■ボタン操作

- ①◀を押す
- ②▲▼◀▶で枠を移動し、[MENU/SET] ボタンを押す（1 点目）
 - [MENU/SET] ボタンを押す前に [DISP.] ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。
- ③手順 ② を繰り返す（2 点目）
 - オートフォーカスが動き、開始と終了のピントを設定します。設定に失敗したときは、枠が1 点目に戻ります。もう一度やり直してください。
 - [MENU/SET] ボタンを押すと、枠の設定が解除されます。

スナップムービーを撮る

■タッチ操作

被写体をタッチし（1点目）、ドラッグして指を離す（2点目）

- ・オートフォーカスが動き、開始と終了のピントを設定します。設定に失敗したときは、枠が1点目に戻ります。もう一度やり直してください。
- ・[] をタッチすると、枠の設定が解除されます。



- 遠くから近く、近くから遠くのように、開始と終了でピントの変化を大きくすると効果が大きくなります。
- ピント設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。

● [ピント送り] を [ON] に設定時は

- ・オートフォーカスマードは [ピント送り] 専用の [] に変わります。
- ・写真撮影時は、1点目の枠で [] のオートフォーカス動作を行います。

● 動画撮影中にピントを合わせ直したいときは、ピント送りの動作が終了したあと、シャッターボタンを半押ししてください。

● [測光モード] (P.146) が [] のときは、測光ターゲットは1点目の枠に設定されます。

● 次の場合、[ピント送り] は使えません。

- ・マニュアルフォーカス時
- ・デジタルズーム使用時



[動画] メニューを使う

[動画] メニューの設定方法は → [52 ページ](#)

- 動画撮影できない撮影モードでは、[動画] メニューは表示されません。

[スナップムービー]

- 詳しくは、[206 ページ](#)をお読みください。

[記録方式]

- 詳しくは、[203 ページ](#)をお読みください。

[画質設定]

- 詳しくは、[203 ページ](#)をお読みください。

[動画露出設定]

- 詳しくは、[99 ページ](#)をお読みください。

[ハイスピード動画]

- 詳しくは、[100 ページ](#)をお読みください。

[写真撮影]

- 詳しくは、[205 ページ](#)をお読みください。



[動画] メニューを使う

[動画] メニューの設定方法は → 52 ページ

[AF 連続動作]

- 詳しくは、204 ページをお読みください。

[動画傾き補正]

撮影モード : **P** **A** **S** **M** **C**

動画撮影時のカメラの傾きを自動的に検出して、撮影される動画が傾かないように水平に補正します。

設定 : [ON] / [OFF]

- 歩きながら撮影したり、カメラの傾きが大きい場合、動画を水平に補正できないことがあります。
- 【動画傾き補正】を [ON] に設定時
 - 自動的に【電子補正（動画）】が [ON] になり、5 軸ハイブリッド手ブレ補正 (P.185) が働きます。
 - 動画撮影開始時に画角が少し狭くなります。
- 動画撮影中に撮影した写真は、水平に補正されません。
- 次の場合、動画傾き補正是働きません。
 - ハイスピード動画撮影時
 - 【手ブレ補正】の【動作設定】を [OFF] に設定時
 - 【記録方式】を [MP4]、【画質設定】を [4K/100M/30p]、[4K/100M/24p] または [VGA/4M/30p] に設定時

[コンバージョン]

- 詳しくは、304 ページをお読みください。

[フリッカー軽減]

撮影モード : **P** **A** **S** **M** **C**

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。

設定 : [1/50] / [1/60] / [1/100] / [1/120] / [OFF]



[動画] メニューを使う

[動画] メニューの設定方法は → 52 ページ

[タッチ静音操作]

- 詳しくは、101 ページをお読みください。

[マイクレベル表示]

撮影モード :          

マイクレベルを撮影画面に表示するかしないかを設定します。

設定 : [ON] / [OFF]

- [マイクレベルリミッター] を [OFF] に設定時、[マイクレベル表示] は [ON] に固定されます。

[マイクレベル設定]

撮影モード :          

音声入力のレベルを 19 段階 (− 12 dB ~ + 6 dB) に調整します。

[専用マイク設定]

- 詳しくは、308 ページをお読みください。

[マイクレベルリミッター]

撮影モード :          

音声入力のレベルを自動的に調整します。音量が大きくなったときの、音声のゆがみ（音割れ）を抑えます。

設定 : [ON] / [OFF]



[動画] メニューを使う

[動画] メニューの設定方法は → 52 ページ

[風音キャンセラー]

撮影モード : 

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

設定 : [強] / [標準] / [OFF]

- ・[強] は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。
- ・[標準] は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。
- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。

[風音低減]

- ・外部マイク（別売）接続時のみ [風音低減] が表示されます。それ以外では [風音キャンセラー] が表示されます。
- ・詳しくは、308 ページをお読みください。

[ズームマイク]

撮影モード : 

ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに記録します。

設定 : [ON] / [OFF]

- [ON] に設定時、ズーム操作を行うと、周囲の音に合わせて動作音も強調されて記録される場合があります。また、[OFF] のときよりも録音レベルが下がります。
- 望遠時には、音声のステレオ感がなくなります。



写真を見る

1 再生ボタンを押す



2 ◀▶で表示する画像を選ぶ

- ・◀▶を押したままにすると、連続して画像を送ることができます。
- ・後ダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグ (P.48) しても画像を送ることができます。
- ・画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。
(画像は縮小して表示されます)
- ・画像送りの速さは、再生の状況によって変わります。



fc 画像を連続して送るときの速さを切り換える

MENU ボタン→ fc [カスタム] → [タッチ再生送り速度] → [H] (高速) / [L] (低速)

Web サービスへの送信について

画像を1枚ずつ表示中、▼を押すと手軽にWebサービスへ送ることができます。
(P.269)

■再生を終了するには

再度、再生ボタンを押すか、動画ボタンを押してください。またはシャッターボタンを半押ししてください。

- 再生ボタンを押しながら電源スイッチを [ON] にすると、再生画面が表示されます。
- 撮影画面から再生画面に切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 本機は一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。
DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。

- 動画には動画アイコン ([]) が表示されます。
- 4K フォトの 4K 連写ファイルには [] が表示されます。
- 4K 連写ファイルの再生については、[156 ページ](#)をお読みください。

1 ▲を押して再生する

- 画面中央の [] をタッチしても動画を再生できます。
- [スナップムービー] で撮影した動画は自動再生されます。
- [AVCHD] で撮影した動画は、一部の情報が表示されません。



動画記録時間

■動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容	ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	[]	再生 / 一時停止	▼	[]	停止
◀	[]	早戻し※1	▶	[]	早送り※1
	[]	(一時停止中) コマ戻し※2		[]	(一時停止中) コマ送り
[]	[]	音量を下げる	[]	[]	音量を上げる

*1 もう一度 ▶▶ を押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。

*2 [AVCHD] で撮影した動画は、約 0.5 秒ごとのコマ戻しになります。

- しばらく操作せずに、コントロールパネルが表示されなくなった場合は、画面をタッチすると再度表示されます。
- 一時停止中に [MENU/SET] ボタンを押すと、動画から写真を作成できます。[\(P.215\)](#)

■スナップムービー自動再生中の操作

[]	最初から再生
[]	前の画像に戻す
[]	次の画像へ送る

- 画面をタッチすると自動再生が停止します。

● パソコンで見る場合は、CD-ROM（付属）の「PHOTOfunSTUDIO」で再生できます。

動画から写真を切り出す

動画のワンシーンを写真にして保存します。

1 動画再生中に ▲ を押して一時停止にし、写真にしたい画像を表示する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、位置の細かい調整をすることができます。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [] をタッチしても同じ操作ができます。
- 画像横縦比は [16:9] で、[クオリティ] は [] で保存されます。記録画素数は再生する動画により異なります。
 - [画質設定] のサイズが [4K] の動画の場合：[M] (8M)
 - [画質設定] のサイズが [FHD]、[HD] の動画の場合：[S] (2M)



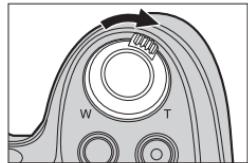
- 元の動画の画質設定により、画質が少し粗くなります。
- 動画から作成された写真には、再生時に [] が表示されます。
- HDMI マイクロケーブルでテレビに接続中に動画から写真を作成する場合は、[セットアップ] メニューの [テレビ接続設定] の [ビエラリンク] を [OFF] に設定してください。
- 次の動画からは、写真を作成できません。
 - [MP4] の [VGA/4M/30p] で撮影された動画

再生方法を切り換える

拡大して見る（再生ズーム）

1 ズームレバーを T 側に回す

- ズームレバーを T 側に回すごとに、2/4/8/16 倍に拡大します。（表示画質は粗くなります）
- ズーム倍率を縮小するとき
→ズームレバーを W 側に回す
- 拡大したい部分をピンチアウト / ピンチイン（P.48）しても、画像を拡大 / 縮小することができます。
- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置が表示されます。
- ▲▼◀▶ を押す、または画面をドラッグ（P.48）すると、拡大部分を移動することができます。
- 2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。（拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります）
- 再生ズーム中に後ダイヤルを回すと、ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送ることができます。

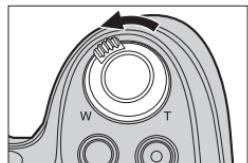


ズーム位置表示

画像を一覧で見る（マルチ再生）

1 ズームレバーを W 側に回す

- ズームレバーを W 側に回すと、1 画面表示 → 12 画面表示
→ 30 画面表示 → カレンダー画面に切り換わります。（T 側に回すと戻ります）
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
 - [] : 1 画面
 - [] : 12 画面
 - [] : 30 画面
 - [] : カレンダー再生
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。
- 12 画面または 30 画面で、カーソルボタンで画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと、1 画面表示されます。

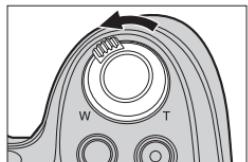


- [!] 表示される画像は再生できません。

再生方法を切り換える

■ 画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生）

1 ズームレバーを W 側に回して、カレンダー画面を表示する



2 ▲▼◀▶で撮影日を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 12 画面表示に切りわります。
- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを W 側に回してください。



- 最初に選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- [時計設定] せずに撮影した画像は、2015 年 1 月 1 日に表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

■ グループ画像を見る

複数枚の画像を 1 つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1 枚ずつ再生します。

[◀ ▶] : 連写速度を [SH] に設定して連続撮影したグループ画像 (P.149)

[▲ ▽] : インターバル撮影で撮影したグループ画像 (P.168)

[▲ ▽] : コマ撮りアニメで撮影したグループ画像 (P.171)



- グループ単位での消去や編集ができます。（例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます）

- 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

再生方法を切り換える

グループ画像を連続再生する

1 ▲を押す

- ・グループ画像アイコン（[▲□]、[▲◎]、[▲■]）をタッチしても同じ操作ができます。
- ・グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
[最初の画像から見る]：グループの先頭画像から連続再生されます。
[この画像から見る]：再生中の画像から連続再生されます。

■連続再生中の操作

▲	[▼/II]	連続再生 / 一時停止	▼	[■]	停止
◀	[◀◀]	早戻し再生	▶	[▶▶]	早送り再生
	[◀◀]	(一時停止中) 前の画像に戻す		[▶▶]	(一時停止中) 次の画像へ送る

グループ画像を1枚ずつ再生する

1 ▼を押す

- ・[SUB MENU] をタッチしても同じ操作ができます。

2 ▲▼で【グループ内画像表示】を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



3 ◀▶を押して画像を送る

- ・もう一度▼を押す、または、[SUB MENU] をタッチして「グループ内表示終了」を選ぶと、通常の再生画面に戻ります。
- ・グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。（マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など）

写真や動画を消す（消去）

一度消した画像は元に戻せません。

次の場合、画像は消去されません。

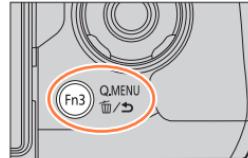
- ・プロテクトした画像
- ・カードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] になっている
- ・DCF 規格 (P.213) 以外の画像

- 消去中は、電源スイッチを [OFF] にしないでください。
- 十分に充電したバッテリーか、AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラ（別売：DMW-DCC8）をご使用ください。

1 枚消去

1 消去する画像を表示中に [Q.MENU □/△] ボタンを押す

- ・[□] をタッチしても同じ操作ができます。



2 ▲で [1 枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



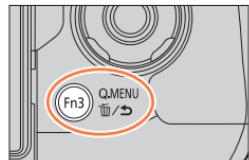
- [再生] メニューの [消去確認画面] で、消去確認画面で [はい] / [いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定できます。お買い上げ時は [いいえ] が選ばれるように設定されています。 (P.240)

写真や動画を消す（消去）

複数消去（100枚^{*}まで）/全画像を消去する

* グループ画像（P.217）は1枚として扱います。（選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます）

1 画像を表示中に【Q.MENU □/△】ボタンを押す



2 ▲▼で【複数消去】/【全画像消去】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

- ・【全画像消去】のとき【お気に入り】画像があると、【お気に入り以外全消去】が選べます。（P.237）

3（【複数消去】のとき）▲▼◀▶で画像を選び、【MENU/SET】ボタンを押す（繰り返す）

- ・解除するとき→再度【MENU/SET】ボタンを押す



4（【複数消去】のとき）◀で【実行】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

- ・消去枚数により、時間がかかることがあります。

[再生] メニューを使う

画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

- ・設定方法は、[52 ページ](#)をお読みください。

- 次の場合は、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量を確認してから編集してください。
 - ・[RAW 現像]
 - ・[クリアレタッチ]
 - ・[文字焼き込み]
 - ・[インターバル動画作成]
 - ・[コマ撮りアニメ作成]
 - ・[リサイズ (縮小)]
 - ・[トリミング (切抜き)]
- 他機で撮影した画像は、設定や編集ができない場合があります。

■ [1 枚設定]、[複数設定] での画像の選び方

メニューによっては、画像の選び方を設定できます。

[1 枚設定]

- ①◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - ・画面右下に [設定 / 解除] と表示される場合、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。



[複数設定]

右のような画面の場合

- ①▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
(繰り返す)
 - ・解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- ②◀ で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



右のような画面の場合

- ①▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
(繰り返す)
 - ・解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す



[再生] メニューを使う

[スライドショー]

写真や動画を順に自動再生します。また、写真のみや、動画のみなど、画像のカテゴリー別にスライドショーで再生することもできます。テレビで見るときにお勧めです。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [スライドショー]

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[動画のみ] 設定時、4K フォトで撮影した 4K 連写ファイルも再生されます。
- ・[カテゴリー選択] を選んだ場合は、▲▼◀▶でカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。カテゴリーの詳細は [224 ページ](#)をお読みください。



3 ▲で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■スライドショー中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容	ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	[■/■]	再生 / 一時停止	▼	[■]	終了
◀	[◀]	前の画像へ	▶	[▶]	次の画像へ
♪	[－]	音量を下げる	♪	[+]	音量を上げる

■音楽や表示時間などの設定を変更する場合

[効果] や [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。

効果	おまかせ / ナチュラル / スロー / スwing / アーバン / OFF
設定	再生間隔 5秒 / 3秒 / 2秒 / 1秒
リピート	ON/OFF
音設定	AUTO : 写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。 音楽 : 効果の音楽を再生します。 音声 : 動画の音声を再生します。 OFF : 音楽も音声も再生しません。

[再生] メニューを使う

- [アーバン] は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ] は、[カテゴリー選択] 選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。
- [動画のみ] または [カテゴリー選択] の [動画]、[写真]、[4K] のスライドショー時、[効果] は [OFF] に固定されます。
- グループ画像のスライドショー時は、[効果] を設定していても無効になります。
- 次の画像をスライドショー時、[再生間隔] の設定は無効になります。
 - ・動画
 - ・4K 連写ファイル
 - ・パノラマ写真
 - ・グループ画像
- [再生間隔] は、[効果] を [OFF] に設定しているときのみ設定できます。
- HDMI マイクロケーブルでテレビに表示するときや、縦向きに撮影した画像を表示するときは、一部の [効果] が動作しません。

[再生モード]

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ ▶ [再生] → [再生モード]

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[動画のみ] 設定時、4K フォトで撮影した 4K 連写ファイルも再生されます。



[再生] メニューを使う

223 ページの手順 2 で [カテゴリー再生] 選択時

3 ▲▼◀▶ でカテゴリーを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

	個人認証※
	自動シーン判別の i 人物 / i 夜景 & 人物 / i 赤ちゃん シーンガイドモードの [人物をきれいに撮る] / [人物の肌をきれいに撮る] / [逆光でふんわり撮る] / [逆光でしっかり撮る] / [ほのぼのした雰囲気で撮る] / [子どもをかわいく撮る] / [夜景をバックに人物をきれいに撮る]
	自動シーン判別の i 風景 / i 夕焼け シーンガイドモードの [風景をきれいに撮る] / [青空をさわやかに撮る] / [夕焼けを幻想的に撮る] / [夕焼けを印象的に撮る] / [水面をキラキラ撮る]
	自動シーン判別の i 夜景 & 人物 / i 夜景 / i 手持ち夜景 シーンガイドモードの [夜景をきれいに撮る] / [夜空をクールに撮る] / [夜景を暖かく撮る] / [夜景をアーティスティックに撮る] / [イルミネーションをキラキラ撮る] / [夜景を手持ちで撮る] / [夜景をバックに人物をきれいに撮る]
	シーンガイドモードの [スポーツをきれいに撮る]
	自動シーン判別の i 料理 シーンガイドモードの [料理をおいしそうに撮る] / [スイーツをかわいく撮る]
	トラベル日付
	連写速度を [SH] で連続撮影した写真
	インターバル撮影、インターバル動画作成
	コマ撮りアニメ、コマ撮りアニメ作成

* ▲▼◀▶ で再生したい人物を選び [MENU/SET] ボタンを押して再生してください。グループ画像は、グループ全体が個人認証画像として扱われます。

- 撮影モードによっては動画の分類が写真と異なるため、再生されないことがあります。

[再生] メニューを使う

[位置情報記録]

スマートフォン / タブレットで取得した位置情報（緯度・経度）を本機に送信した後、本機を操作して画像に位置情報を書き込むことができます。

準備

スマートフォン / タブレットから本機に位置情報を送信する (P.254)

- お使いのスマートフォン / タブレットに「Panasonic Image App」をインストールする必要があります。 (P.245)

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [位置情報記録] → [位置情報データ付与]

2 ▲▼で位置情報を書き込む期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

■位置情報の書き込みを中断する

①位置情報の書き込み中に [MENU/SET] ボタンを押す

- 中断した期間には [○] が表示されます。

[○] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

■受信した位置情報を消去する

①▲▼で [位置情報データ消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

②▲▼で位置情報を消去する期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 次の場合、位置情報は書き込まれません。

- 位置情報の送信 (P.254) 後に撮影した画像
- すでに位置情報が書き込まれている画像
- [記録方式] を [AVCHD] で撮影した動画
- プロテクトされた画像
- カードの空き容量が不足しているとき
- カードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] になっている
- 本機以外で撮影された画像



スマートフォン / タブレットを操作して位置情報を書き込む

本機をスマートフォン / タブレットでリモート制御中は、スマートフォン / タブレットを操作して画像に位置情報を書き込むことができます。 (P.255)



[再生] メニューを使う

[RAW 現像]

RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真は JPEG 形式で保存されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → ▶ [再生] → [RAW 現像]

2 ◀▶ で RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲▼ で項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。



ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[CAMERA] の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
露出補正	-1EV ~ +1EV の範囲で露出補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果（[スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、[モノクローム]、[風景]、[人物]）を選びます。
iD レンジコントロール	iD レンジコントロールの設定（[強]、[中]、[弱]、[OFF]）を選びます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。（[フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合は、色調の調整になります）
フィルター効果	フィルター効果を選びます。（[フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合のみ）
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定（[強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]）を選びます。
シャープネス	解像感を調整できます。
設定	以下の設定ができます。 [調整前に戻す]：撮影時の設定に戻すことができます。 [色空間]：色空間を [sRGB] または [Adobe RGB] から選べます。 [記録画素数]：保存時の JPEG 画像のサイズ（[L]、[M]、[S]）を選びます。

4 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 項目により設定方法が異なります。詳しくは、227 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

5 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順 3 の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順 3 から 5 を繰り返してください。

6 ▲▼ で [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[再生] メニューを使う

■各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

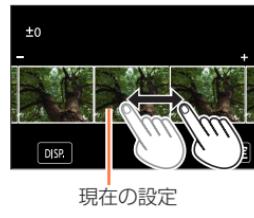
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 (P.111) ([ホワイトバランス] の [■] 選択時のみ)
	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示 (P.111) ([ホワイトバランス] 選択時のみ)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



- ・[ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- ・ズームレバーで拡大表示することができます。
- ・2回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。(拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります)

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



- ・中央の写真をタッチすると拡大表示されます。[□] をタッチすると元の表示に戻ります。

[再生] メニューを使う

[設定] 選択時

項目を選ぶと、[調整前に戻す]、[色空間]、[記録画素数] の選択画面が表示されます。

①▲▼で項目選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[調整前に戻す] を選択時、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行され、項目の選択画面に戻ります。

②▲▼で設定選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 本機で行う RAW 現像の結果と、CD-ROM（付属）のソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」で行う RAW 現像の結果は完全には一致しません。
- 撮影時の画像横縦比にかかわらず、本機で撮影した RAW 画像は常に [4:3] (4000 × 3000) で記録されますが、[再生] メニューの [RAW 現像] では撮影時の画像横縦比固定で現像されます。
- 露出補正で設定できる範囲は、撮影時と異なります。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス] の項目が撮影時の設定に固定されます。
- AV ケーブル（別売）や HDMI マイクロケーブル接続時、[RAW 現像] は使えません。
- RAW 現像できるのは本機で撮影した RAW 画像のみです。他の機種で撮影された画像や、RAW 形式以外の画像には [RAW 現像] は使えません。



[再生] メニューを使う

[クリアレタッチ] 不要な部分を消去する

撮影した写真に写り込んだ不要な部分を消去することができます。

- 消去操作はタッチでのみ行えます。
- [クリアレタッチ] では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [クリアレタッチ]

2 ◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 消去したい部分をなぞる

- 消去される部分に色が付きます。
- [1つ戻す] をタッチすると、色が付いた部分が1つ前の状態に戻ります。



細かい部分を消去するには（拡大表示）

① [移動] をタッチする

- 画面をピンチアウト / ピンチイン（P.48）すると、拡大 / 縮小表示できます。
- ズームレバーを回しても拡大 / 縮小できます。
- 画面をドラッグすると、拡大部分を移動することができます。



② [消去] をタッチする

- 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。

4 [決定] をタッチする

5 [保存] をタッチする、または [MENU/SET] ボタンを押す

- 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
- グループ画像は1枚ずつクリアレタッチしてください。（グループ単位の編集はできません）
- グループ画像にクリアレタッチを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- ファインダー表示時は使えません。
- 次の画像はクリアレタッチできません。
 - パノラマ写真
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - [クオリティ] が [RAW] の写真

[再生] メニューを使う

[タイトル入力]

撮影した画像に文字（コメント）を入力します。入力後、[文字焼き込み]（P.231）で撮影画像に焼き込むことができます。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [タイトル入力] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 写真を選ぶ（P.221）

- すでにタイトルが入力されている画像には [☑] が表示されます。

3 文字を入力する（文字入力方法：P.70）

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字（コメント）をプリントすることができます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 次の画像には設定できません。
 - ・動画
 - ・4K 連写ファイル
 - ・[クオリティ] が [RAW^{■■}] [RAW^{■■}] [RAW] の写真



[再生] メニューを使う

[文字焼き込み]

撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [文字焼き込み] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 写真を選ぶ (P.221)

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に [✓] が表示されます。

3 ▲▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲▼で設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

撮影日時	[日付]：撮影日を焼き込む [日時]：撮影日時を焼き込む
名前	[]：個人認証に登録された名前を焼き込む [/]：[プロフィール設定] で登録された名前を焼き込む
旅行先	[セットアップ] メニューの [トラベル日付] で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	[セットアップ] メニューの [トラベル日付] で設定された旅行日の経過日数を焼き込む
タイトル	[タイトル入力] で登録した文字を焼き込む

6 [Q.MENU] ボタンを押す

7 ▲で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 文字焼き込み済みの写真是、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- グループ画像に文字焼き込みを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- 次の画像には設定できません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - [クオリティ] が [RAW] の写真
 - パノラマ写真
 - 文字焼き込み済みの写真
 - 時計とタイトルを設定せずに撮影された画像

[再生] メニューを使う

[動画分割]

1 つの動画を 2 つに分割できます。必要なシーンのみ残したいときや、旅先などでカードの空き容量を増やすために不要なシーンを消去したいときに便利です。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → ▶ [再生] → [動画分割]

2 ◀▶ で分割する動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 分割する場所で ▲ を押して一時停止する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 ▼ を押す

- 分割した元の動画は残りません。
(分割後の 2 つの動画のみになります)



- 分割中は、電源スイッチを [OFF] にしたり、カードやバッテリーを抜かないでください。動画が消失するおそれがあります。
- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

[再生] メニューを使う

[インターバル動画作成]

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画は MP4 の記録方式で保存されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ ▶ [再生] → [インターバル動画作成]

2 ◀▶ でインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 動画の作成方法を選び、動画化する

- ・詳しくは [169 ページ](#) の手順 **5** 以降をお読みください。
作成した動画については、[170 ページ](#)のお知らせもお読みください。

[コマ撮りアニメ作成]

[コマ撮りアニメ] で撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画は MP4 の記録方式で保存されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ ▶ [再生] → [コマ撮りアニメ作成]

2 ◀▶ でコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 動画の作成方法を選び、動画化する

- ・詳しくは [173 ページ](#) の手順 **8** 以降をお読みください。
作成した動画については、[174 ページ](#)のお知らせもお読みください。



[再生] メニューを使う

[リサイズ (縮小)] 画像サイズ (画素数) を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量（記録画素数）を小さくします。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [リサイズ (縮小)] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 写真、サイズを選ぶ

[1 枚設定]

①◀▶で写真選び、[MENU/SET] ボタンを押す
②▲▼でサイズ選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] (100 枚まで)

①▲▼でサイズ選び、[MENU/SET] ボタンを押す
②▲▼◀▶で写真選び、[MENU/SET] ボタンを押す
(繰り返す)
・解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
③◀で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- リサイズすると画質が粗くなります。
- 次の画像には設定できません。
 - ・動画
 - ・4K 連写ファイル
 - ・[クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・パノラマ写真
 - ・グループ画像
 - ・文字焼き込み済みの写真

[再生] メニューを使う

[トリミング (切抜き)] 画像を切り抜く

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [トリミング (切抜き)]

2 ◀▶で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 写真を切り抜く部分を表示して、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[⑧] / [⑨] をタッチしても拡大 / 縮小できます。
- ・画面をドラッグしても移動できます。



- グループ画像は1枚ずつトリミング (切抜き) してください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にトリミング (切抜き) を行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。
- トリミングすると画質が粗くなります。
- 次の画像には設定できません。
 - ・動画
 - ・4K 連写ファイル
 - ・[クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・パノラマ写真
 - ・文字焼き込み済みの写真

[再生] メニューを使う

[画像回転] / [縦位置自動回転]

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

[画像回転] 画像を手動で回転する

- ・[縦位置自動回転] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→ ▶ [再生] → [画像回転]

2 ◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・グループ画像は回転できません。

3 ▲▼ で回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[◀▶]：時計回りに90°回転します。

[◀▶]：反時計回りに90°回転します。



[縦位置自動回転] 画像を自動で回転して表示する

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→ ▶ [再生] → [縦位置自動回転] → [ON]

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。Exifとは、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです。
- 複数消去など設定時のマルチ再生画面では、縦位置自動回転されない場合があります。

[再生] メニューを使う

[お気に入り]

気に入った画像に [★] 印を付けておくと、お気に入り画像だけを再生したり、お気に入り画像以外を全消去したりすることができます。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→ ▶ [再生] → [お気に入り] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ (P.221)

■全解除するとき

手順 1 で [お気に入り] → [全解除] を選ぶ→ [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 999 枚まで設定できます。
- グループ内の画像に [お気に入り] 設定すると、先頭画像のお気に入りアイコンに設定枚数が表示されます。
- [再生モード] を [通常再生] 以外に設定しているときは、[全解除] を選択できません。
- 次の画像には設定できません。
 - ・ [クオリティ] が [RAW] の写真



[再生] メニューを使う

[プリント設定]

DPOF プリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。(対応しているかどうかはお店やプリンターの取扱説明書で確認してください)

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→ ▶ [再生] → [プリント設定] → [1 枚設定] または [複数設定]

2 写真を選ぶ (P.221)

3 ▲▼で枚数を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す (999 枚まで)

([複数設定] 時は手順 2 と 3 を繰り返す)

- ・日付プリントを設定 / 解除するとき→ ▶ を押す

■全解除するとき

手順 1 で [プリント設定] → [全解除] を選ぶ→ [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- グループ画像に [プリント設定] を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。
- グループ内の画像に [プリント設定] すると、先頭画像のプリント設定アイコンに設定枚数と合計枚数が表示されます。
- [文字焼き込み] 済みの画像には、日付プリントを設定できません。
- プリンターによっては、プリンター側の設定が優先される場合があります。
- 他機で設定された DPOF 情報（プリント設定）は利用することができない場合があります。その場合、DPOF 情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
- 次の画像には設定できません。
 - ・動画
 - ・4K 連写ファイル
 - ・[クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・DCF 規格に準拠していないファイル



[再生] メニューを使う

[プロジェクト]

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→ ▶ [再生] → [プロジェクト] → [1枚設定] または [複数設定]

2 画像を選ぶ (P.221)

■全解除するとき

手順 1 で [プロジェクト] → [全解除] を選ぶ→ [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

 カードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] にしておくと、画像をプロジェクトしなくても消去されません。

- 画像をプロジェクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 本機以外では無効になることがあります。
- グループ内の画像に [プロジェクト] 設定すると、先頭画像のプロジェクトアイコンに設定枚数が表示されます。

[認証情報編集]

間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン→ ▶ [再生] → [認証情報編集] → [入換え] または [解除]

2 ◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶ で人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [解除] の場合は手順 5 へ

4 ▲▼◀▶ で入れ換える人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ◀▶ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、「[カテゴリー再生] または [カテゴリー選択]」の個人認証に分類されません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。(1枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は1枚目の画像のみ編集できます。



[再生] メニューを使う

[画像表示順]

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [画像表示順]

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

ファイル名	フォルダ名 / ファイル名の順番で表示します。カード内の画像の位置が分かりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 本機にカードを入れた直後は [撮影日時] の順で表示できない場合があります。しばらくすると、[撮影日時] の順で表示されます。

[消去確認画面]

画像消去時に表示される確認画面の選択肢 [はい] / [いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → ▶ [再生] → [消去確認画面]

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

「はい」がはじめ	最初に [はい] が選ばれるため、素早く消去操作を行えます。
「いいえ」がはじめ	最初に [いいえ] が選ばれます。誤って画像を消去することを防ぎます。



Wi-Fi® 機能でできること

スマートフォン / タブレットとつないで使う (P.245)

スマートフォンで撮影する (リモート撮影)

カメラの画像を再生する

カメラの画像を保存する

画像を SNS へ送信する

位置情報をカメラの画像に書き込む

スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

簡単接続

パスワードの入力なしに、簡単にスマートフォンとの直接接続ができます。



テレビに写真を映す (P.257)

ワイヤレスでプリントする (P.262)

AV 機器に画像を送る (P.263)

写真や動画を、家の中にある AV 機器（室内 AV 機器）に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器（室外 AV 機器）にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由することで送ることができます。

パソコンに画像を送る (P.264)

Web サービスを利用する (P.266)

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由することで、写真や動画を SNS などに送れます。クラウド同期サービスを利用すると、パソコンやスマートフォン / タブレットで、写真や動画を受信できます。

- このページ以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。

Wi-Fi 機能について

■ ご使用の前に

- ・あらかじめ時計設定をしておいてください。 (P.30)
- ・本機で Wi-Fi 機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■ Wi-Fi 接続ランプの表示について

青色点灯：Wi-Fi 機能 ON 時

青色点滅：画像データ送信時



■ [Wi-Fi] ボタンについて

本書では [Wi-Fi] を設定したファンクションボタンを [Wi-Fi] ボタンと記載して説明しています。(お買い上げ時は、[Fn5] に [Wi-Fi] が設定されています)

- ・ファンクションボタンについて詳しくは [57 ページ](#)をお読みください。

[Wi-Fi] ボタンを押す操作

① [Wi-Fi] をタッチする



② [Fn5] をタッチする



Wi-Fi 機能について

- Wi-Fi 接続する前に [Wi-Fi] ボタンを押すと、
 - スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報が表示されます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、以下の項目を選択できます。
([MENU] ボタン→  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] を選んでも同じメニューを表示できます)

[新規に接続する]
[履歴から接続する] (P.281)
[お気に入りから接続する] (P.281)



SSID

- 本書では [新規に接続する] を選んだ場合の手順で説明します。
- Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押すと、以下の操作ができます。

[接続を終わる]	Wi-Fi 接続を終了します。
[接続先を変える]*1	Wi-Fi 接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。
[画像の送信設定を変える]*2	詳しくは 260 ページ をお読みください。
[今の接続先をお気に入りに入れる]*1	現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続することができます。
[ネットワークアドレス表示]	本機の MAC アドレスと IP アドレスを表示します。 (P.284)

*1 画像表示中 ▼ を押し、Web サービスに画像を送る際 (P.269) は、表示されません。

*2 [スマートフォンとつないで使う]、[TV で見る]、または [カメラ内の画像を送る] の送信先が [プリンター] の場合は、表示されません。

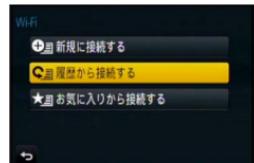
Wi-Fi 機能について

■操作の記載方法について

手順で「[履歴から接続する] を選ぶ」などと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。

ボタン操作：カーソルボタンで「[履歴から接続する]」を選んで、[MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作：「[履歴から接続する]」をタッチする



- 通信中はカードやバッテリーを抜き差したり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。
- 通信中にモニターの表示が一瞬乱れることがありますが、送信される画像に影響はありません。

スマートフォンとつないで使う

スマートフォンを使って、離れた場所からカメラを操作できます。

お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」（以降では「Image App」と表記）をインストールする必要があります。

スマートフォン / タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

	Android™ 向けアプリ	iOS 向けアプリ
対応 OS	Android 4.0 以上	iOS 6.0 以上 (iPhone 3GS には対応していません)
インストール手順	<p>①Android 端末をネットワークに接続する ②「Google Play™ ストア」を選び ③検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する ④「Panasonic Image App」を選び、インストールする • メニューにアイコンが追加されます。</p> 	<p>①iOS 端末をネットワークに接続する ②「App StoreSM」を選び ③検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する ④「Panasonic Image App」を選び、インストールする • メニューにアイコンが追加されます。</p> 

- ・最新のバージョンをお使いください。
- ・対応 OS は 2015 年 7 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。
- ・操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- ・本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続して「Image App」で操作中は、お使いのスマートフォンによっては、「Image App」の「ヘルプ」の表示ができません。その場合は、いったん本機との Wi-Fi 接続を終了して、3G や LTE 等の携帯電話回線、またはインターネット回線に接続後、「Image App」の「ヘルプ」を表示してください。
- ・対応 OS や「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。
- ・お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「Image App」の最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- ・3G や LTE などの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォンとつないで使う

スマートフォンと接続する

スマートフォンでパスワードを入力することなく、本機と Wi-Fi 接続することができます。

- スマートフォンを操作後、操作が完了するまでにしばらくかかる場合があります。

お買い上げ時は [Wi-Fi パスワード] が [OFF] に設定されています。このような場合、第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み取られるおそれがあります。 [Wi-Fi パスワード] を [ON] に設定する場合は [248 ページ](#)をお読みください。

準備

(カメラ側) [Wi-Fi パスワード] を [OFF] にする [\(P.283\)](#)
(スマートフォン側) 「Image App」をインストールしておく [\(P.245\)](#)

1 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (SSID) が表示されます。
- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも表示できます。
- 接続方法を切り換える場合は、[250 ページ](#)をお読みください。



2 スマートフォンを操作する

- お使いのスマートフォンによって接続方法が異なります。
- 接続が完了すると、スマートフォンの画面に接続済みのメッセージが表示されます。

スマートフォンとつないで使う

■ iOS 端末をお使いの場合

① [設定] *の [Wi-Fi] *を選ぶ



② [Wi-Fi] *をオンにして、本機に表示された SSID を選ぶ



③ ホームに戻り、「Image App」 (P.245) を起動する

- 本機に接続確認画面が表示されますので、[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。(初回接続時のみ)

*お使いの言語設定によって表示が異なります。

■ Android 端末をお使いの場合

① 「Image App」 (P.245) を起動する

- カメラを検索しているメッセージが表示された場合は、メッセージを閉じてください。

② [?] を選ぶ

③ 本機に表示された SSID を選ぶ

- 本機に接続確認画面が表示されますので、[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。(初回接続時のみ)

スマートフォンとつないで使う

パスワードを利用して接続する

[Wi-Fi パスワード] を [ON] に設定すると、手動入力または QR コードによるパスワード認証を行うことで、セキュリティーを強化できます。

・iOS での「Image App」による QR コードの読み取りは、iOS 7.0 以上に対応している必要があります。

準備

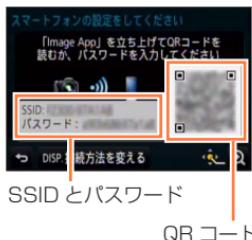
(カメラ側) [Wi-Fi パスワード] を [ON] にする (P.283)

(スマートフォン側) 「Image App」をインストールしておく (P.245)

1 カメラのメニューを設定する

[MENU ボタン] → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（QR コード、SSID とパスワード）が表示されます。
- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも表示できます。



2 スマートフォンを操作する

- お使いのスマートフォンによって接続方法が異なります。

スマートフォンとつないで使う

■iOS 端末をお使いの場合

- ・QR コードを読み取って接続する場合
(再接続する場合は手順 ① ~ ⑤ は不要です)

①「Image App」(P.245) を起動する

②[] → [OK] を選ぶ

③本機に表示された QR コードを「Image App」で読み取る

(カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます)

・スマートフォンが無線アクセスポイントに接続している場合、QR コードが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

④プロファイルをインストールする

[インストール]*を選び、[インストール]* → [完了]*を選んでください。

・ブラウザにメッセージが表示されます。

・スマートフォンのロック解除のパスコードを設定されている場合は、パスコードの入力が必要です。

⑤ホームボタンを押してブラウザを終了する

⑥[設定]*の [Wi-Fi]*を選ぶ



⑦ [Wi-Fi]*をオンにして、本機に表示された SSID を選ぶ



⑧ホームに戻り、「Image App」(P.245) を起動する

*お使いの言語設定によって表示が異なります。

- ・SSID とパスワードで接続する場合

①[設定]*の [Wi-Fi]*を選ぶ

②[Wi-Fi]*をオンにして、本機に表示された SSID を選ぶ

③本機に表示されたパスワードを入力する(初回接続時のみ)

④ホームに戻り、「Image App」(P.245) を起動する

*お使いの言語設定によって表示が異なります。

スマートフォンとつないで使う

■Android 端末をお使いの場合

- ・QR コードを読み取って接続する場合
 - ①「Image App」(P.245) を起動する
 - ②[④] を選ぶ
 - ③本機に表示された QR コードを「Image App」で読み取る
(カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます)
 - ・スマートフォンが無線アクセスポイントに接続している場合、QR コードが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

・SSID とパスワードで接続する場合

- ①「Image App」(P.245) を起動する
 - ・カメラを検索しているメッセージが表示された場合は、メッセージを閉じてください。
- ②[④] を選ぶ
- ③本機に表示された SSID を選ぶ
- ④本機に表示されたパスワードを入力する（初回接続時のみ）
 - ・パスワードを表示する項目にチェックを入れると、入力中のパスワードを確認できます。

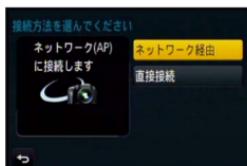
接続方法を変える

接続方法を切り換える場合は、以下の操作をしてください。

（[セットアップ] メニューの [Wi-Fi] から接続する場合）

[DISP.] ボタンを押す

（[Wi-Fi] ボタンを押して接続する場合）



■[ネットワーク経由] で接続する場合

（カメラ側）

- ①[ネットワーク経由] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - ・278 ページの接続方法に従って本機を無線アクセスポイントに接続してください。

（スマートフォン側）

- ②Wi-Fi 機能を ON にする
- ③本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する
- ④「Image App」(P.245) を起動する

スマートフォンとつないで使う

■ [直接接続] で接続する場合

(カメラ側)

① [直接接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ [Wi-Fi Direct] または [WPS 接続]※を選び、[280 ページ](#)の接続方法に従って本機をスマートフォンに接続してください。

※WPS とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォンが対応しているかどうかは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

(スマートフォン側)

② 「Image App」([P.245](#)) を起動する

接続を終了する

使用後はスマートフォンとの接続を終了してください。

(カメラ側)

1 撮影待機画面でカメラのメニューから終了する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]

- ・カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも終了できます。([P.243](#))

(スマートフォン側)

2 「Image App」を終了する

< iOS 端末をお使いの場合 >

「Image App」の画面でスマートフォンのホームボタンを押してアプリを終了する

< Android 端末をお使いの場合 >

「Image App」の画面でスマートフォンの戻るボタンを 2 回押してアプリを終了する



スマートフォンで撮影する（リモート撮影）

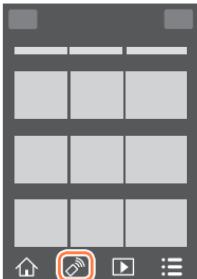
1 スマートフォンと接続する (P.246)

2 スマートフォンを操作する

① [♪] を選ぶ

②撮影する

- ・撮影した画像はカメラに保存されます。
- ・設定など一部利用できないものがあります。



・スマートフォンで4K ブリ連写を撮影時に接続を終了する場合、カメラの [Q.MENU 両/♪] ボタンを押して4K 連写に切り換えた後に、接続を終了する操作をしてください。

- 次の場合、リモート撮影はできません。
 - ・パノラマモード
 - ・インターバル撮影時
 - ・[スナップムービー] を [ON] に設定時

💡 ジャンプ中の写真を撮影する

スマートフォンを持ってジャンプすると、スマートフォンがジャンプの頂点を検知して自動的にシャッターを切ることができます。ジャンプ中の写真を撮るときに便利です。（ジャンプスナップ）

1 [♪] → [!] → 感度を選ぶ

- ・スマートフォンのリモート撮影画面に [!] が表示されます。
- ・試し撮りをして、カメラのアングルやジャンプの強さなどを調整することをお勧めします。
- ・詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する (P.246)

2 スマートフォンを操作する

① [□] を選ぶ

- 画面左上のアイコンで、表示する画像を切り替えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。
- 画像をタッチすると、画像が大きく再生されます。



- 動画再生時は、データサイズを小さくして「Image App」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に、画質劣化や音飛びが発生する場合があります。

カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する (P.246)

2 スマートフォンを操作する

① [□] を選ぶ

- 画面左上のアイコンで、表示する画像を切り替えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。

② 画像を長押ししてドラッグし、スマートフォンに保存する



- 好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。

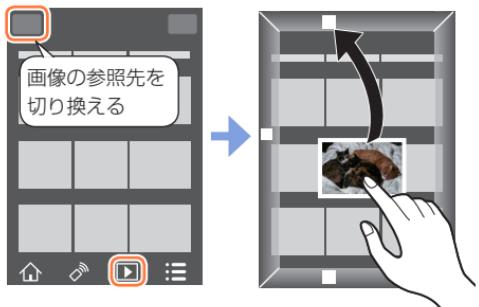
- RAW形式の写真、AVCHD動画、[画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画、4K連写ファイルは保存できません。

カメラの画像をSNSへ送信する

1 スマートフォンと接続する (P.246)

2 スマートフォンを操作する

- ① [□] を選ぶ
 - ・画面左上のアイコンで、表示する画像を切り替えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。
- ② 画像を長押ししてドラッグし、SNSなどに送信する
 - ・SNSなどのWebサービスに画像が送信されます。
- ・お好みに合わせて、上下左右に機能を割り当てることができます。



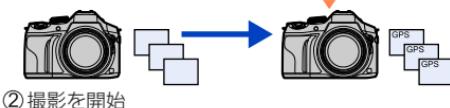
スマートフォンから、カメラの画像に位置情報を追加する

スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。送信後にカメラの画像に書き込むこともできます。

- ・送信した位置情報の画像への書き込みは、[再生] メニューの [位置情報記録] でもできます。



① 位置情報の記録を開始



- ・撮影時と異なる位置情報が書き込まれるおそれがあります。以下についてお気をつけてください。

- カメラの [ワールドタイム] の [ホーム] の設定をお住まいの地域に設定してください。
- スマートフォンで位置情報の記録開始後、カメラの [ワールドタイム] の [ホーム] の設定を変更しないでください。
- ・時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込めません。

■位置情報の記録、撮影

①スマートフォンで位置情報の記録を開始する

①「Image App」を起動する (P.245)

②[] を選ぶ

③[] を選ぶ

④[] 記録開始] を選ぶ

②カメラで撮影する

③スマートフォンで位置情報の記録を終了する

①[] 記録停止] を選んで、位置情報の記録を終了する



■画像への位置情報の書き込み

準備

(カメラ側) スマートフォンと接続する (P.246)

④スマートフォンを操作する

①「Image App」を起動する (P.245)

②[] を選ぶ

③[] を選ぶ

④[] を選んで、位置情報の送信、書き込みをする

・画面のメッセージに従って、操作してください。

・位置情報が書き込まれた画像には [GPS] が表示されます。

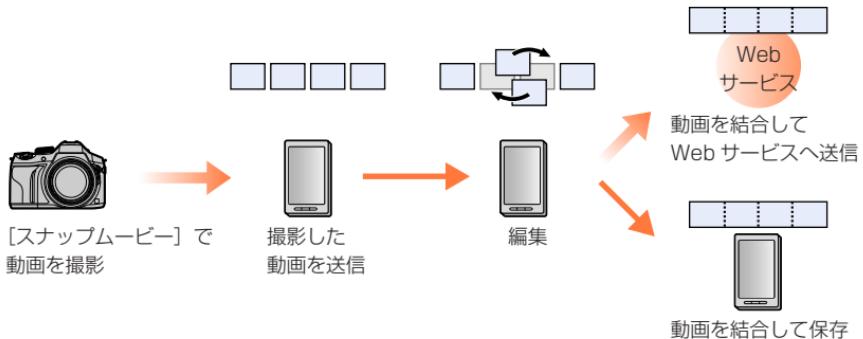


- 位置情報の記録中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。位置情報記録を使用しない場合は、位置情報の記録を停止してください。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
 - ・スマートフォンで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。
- 次の場合、位置情報は書き込まれません。
 - ・位置情報の送信後に撮影した画像
 - ・すでに位置情報が書き込まれている画像
 - ・[記録方式] を [AVCHD] で撮影した動画
 - ・プロテクトした画像
 - ・カードの空き容量が不足しているとき
 - ・カードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] になっている
 - ・パソコンまたはプリンター接続時
 - ・本機以外で撮影された画像

スマートフォンとつないで使う

■ スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

スマートフォンを使って、カメラの【スナップムービー】で撮影した動画（P.206）をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。つなぎ合わせた動画を保存したり、Webサービスへアップロードしたりできます。



■ スマートフォンを操作して動画を結合する

①スマートフォンと接続する（P.246）

②スマートフォンを操作する

① [HOME] を選ぶ



② [SNAP] を選ぶ

- ・【スナップムービー】で撮影した動画のうち、日付の新しいものから自動でスマートフォンに送信されます。
- ・日付の新しい動画がない場合は動画の選択画面が表示されるので、動画を選んで送信してください。

③ 動画を編集する

- ・スマートフォンを操作して、動画の順番の入れ替え、不要な動画の削除、音楽を付けるなどの編集をしてください。
- ・編集した動画を結合してスマートフォンに保存したり、Webサービスへアップロードしたりできます。
- ・「Image App」の【スナップムービー】の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

- 「Image App」の【スナップムービー】は、Android OS 4.3 以上に対応している必要があります。
- 「Image App」の【スナップムービー】は、iPhone 4、iPod touch（第4世代）には対応していません。
- 他機で撮影した【スナップムービー】の動画は、スマートフォンで再生・保存できない場合があります。

テレビに写真を映す

DLNA 規格のデジタルメディアレンダラー (DMR) 機能に対応したテレビに写真を表示することができます。

準備

テレビを DLNA 待ち受けモードにする

- お使いのテレビの取扱説明書をお読みください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] → [TV で見る]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.278、280)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。

4 本機で撮影または写真を再生する

- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]
([Wi-Fi] ボタンを押すことでも、接続を終了できます。 (P.243))

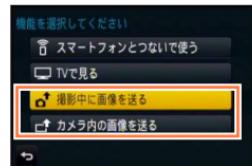
- Wi-Fi 機能を使って表示する場合は、4K の出力解像度で出力できません。4K の出力解像度で出力したい場合は、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続してください。 (P.287)
- 本機との接続中に、テレビ画面が一時的に接続前の状態に戻ることがありますが、撮影もしくは再生を行うと再びテレビに写真が表示されます。
- スライドショー再生時、本機で [効果] と [音設定] を設定していてもテレビでは無効になります。
- 動画、4K 連写ファイルは再生できません。
- マルチ再生、カレンダー再生中に本機に表示されている画像はテレビに表示されません。



画像を送る

画像を送信する場合、[新規に接続する] を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。

接続が完了したあと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することもできます。



■本機で送信できる画像について

送信先	JPEG	RAW	MP4 ^{※1}	AVCHD ^{※1,※2}	4K 連写ファイル ^{※1}
[スマートフォン] (P.261)	○	×	○ ^{※3}	×	×
[PC] (P.264)	○	○	○	○	○
[クラウド同期サービス] (P.270)	○	×	○ ^{※3}	×	×
[Web サービス] (P.266)	○	×	○ ^{※3}	×	×
[AV 機器] (P.263)	○	×	×	×	×
[プリンター] ^{※1} (P.262)	○	×	×	×	×

*1 [撮影中に画像を送る] 時は送信できません。

*2 [AVCHD] で撮影された動画を送信することができるのは、ファイルサイズが 4 GB までです。4 GB を超える場合、送信できません。

*3 [画質設定] のサイズが [4K] で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の取扱説明書、または Web サービスをご確認ください。

[撮影中に画像を送る]

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送れます。

- [撮影中に画像を送る] で接続中は、撮影画面に [Wi-Fi] が表示され、ファイルを送信中は [↑] が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
[MENU] ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 機能] → [はい]
- [Wi-Fi] ボタンを押すと、接続を終了したり、送信設定を変更したりできます。 (P.243)
写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。



画像を送る

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源スイッチを【OFF】にしたり、Wi-Fi接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や【再生】メニューの使用はできない場合があります。
- 動画、4K連写ファイルは送信できません。
- 【インターバル撮影】に設定すると、Wi-Fi接続を終了するため、この機能は実行できません。

[カメラ内の画像を送る]

撮影後に画像を選んで送信できます。

■ [1枚選択]、[複数選択]での画像の選び方

[1枚選択]

- ①画像を選ぶ
- ②【決定】を選ぶ



[複数選択]

- ①画像を選ぶ（繰り返す）
 - ・もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ②【実行】を選ぶ
 - ・【複数選択】で一度に設定できる枚数には制限があります。



・画像送信後の画面で、送信設定を変更する場合は【DISP.】ボタンを押してください。接続を終了する場合は、【終了】を選んでください。

- 【再生】メニューの【お気に入り】または【プリント設定】の設定内容は送信されません。
- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

画像を送る

画像の送信設定を変更する

接続が完了したあとに [DISP.] ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

項目	設定内容
[送信サイズ]	<p>送信する画像のサイズを変更します。 [元画像] / [自動]※1 / [変更]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[自動] の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。 ・[変更] の画像サイズは [M]、[S] または [VGA] を選択できます。画像の横縦比は変わりません。
[送信ファイル形式]※2	<p>[JPG] / [RAW+JPG] / [RAW]</p>
[位置情報データ消去]※3	<p>送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。 [ON] : 位置情報を消去して送信します。 [OFF] : 位置情報を消去せずに送信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置情報が消去されるのは送信した画像のみです。(本機の画像から位置情報は消去されません)
[クラウド上限枚数動作]※4	<p>クラウドフォルダの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。 [ON] : 画像を送信しません。 [OFF] : 古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。</p>

※1 送信先が [Web サービス] の場合のみ設定できます。

※2 送信先が [PC] の場合のみ設定できます。

※3 [カメラ内の画像を送る] の送信先が [クラウド同期サービス]、[Web サービス] または [AV 機器] の [宅外 AV 機器] の場合のみ設定できます。

※4 送信先が [クラウド同期サービス] の場合のみ設定できます。



スマートフォンに画像を送る

準備

「Image App」をインストールしておく (P.245)

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
 → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る]
 → [スマートフォン]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.278、280)

(スマートフォン側)

■ [ネットワーク経由] で接続する場合

- ① Wi-Fi 機能を ON にする
- ② 本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する
- ③ 「Image App」を起動する (P.245)

■ [直接接続] の [Wi-Fi Direct] または [WPS 接続] で接続する場合

- ① 「Image App」を起動する (P.245)

■ [直接接続] の [手動接続] で接続する場合

- ① Wi-Fi 機能を ON にする
- ② 本機の画面に表示されている SSID 同じものを選ぶ
- ③ 「Image App」を起動する (P.245)

3 接続したい機器を選ぶ

4 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- ・ 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (P.260)

[撮影中に画像を送る] 選択時

5 写真を撮る (P.258)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

5 画像を選ぶ (P.259)



ワイヤレスでプリントする

撮影した写真をワイヤレスで PictBridge (ワイヤレス LAN 対応)*のプリンターから印刷することができます。

*DPS over IP 規格準拠

PictBridge (ワイヤレス LAN 対応) のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [プリンター]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.278、280)

3 接続したいプリンターを選ぶ

4 画像を選んでプリントする

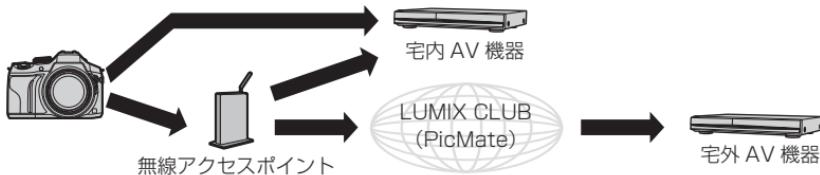
- 画像の選び方は USB 接続ケーブルで接続時と同じになります。詳しくは 298 ページをお読みください。
- 接続を終了するには、[Q.MENU /] ボタンを押してください。 ([Wi-Fi] ボタンを押すことでも、接続を終了できます。 (P.243))

● 動画、4K 連写ファイルはプリントできません。



AV 機器に画像を送る

写真や動画を、家の中にある DLNA に対応したレコーダーなどの AV 機器（室内 AV 機器）に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器（室外 AV 機器）にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由することで、送れます。



準備

【室内 AV 機器】に画像を送る場合、お使いの機器を DLNA 待ち受けモードにする

- お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

【室外 AV 機器】に画像を送る場合、以下が必要になります。

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」への登録 (P.271)
- 送信先の室外 AV 機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号 (P.276)

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
 → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る]
 → [AV 機器]

2 【室内 AV 機器】または【室外 AV 機器】を選ぶ

3 【ネットワーク経由】または【直接接続】を選び、接続する (P.278、280)

- 【室外 AV 機器】を選択時は、【直接接続】は選べません。

4 接続したい機器を選ぶ

5 送信設定を確認し、【決定】を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (P.260)

【撮影中に画像を送る】選択時

6 写真を撮る (P.258)

【カメラ内の画像を送る】選択時

6 画像を選ぶ (P.259)

パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。

準備

- ・パソコンの電源を入れておく。
- ・パソコンに画像を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。(下記)
- ・接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する必要があります。(P.283)

画像を受信するフォルダーを作成する

- ・パソコンのユーザーアカウント（アカウント名（254 文字以内）とパスワード（32 文字以内））は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使用する場合

- ①「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする
 - ・動作環境やインストールについて、詳しくは [292、294 ページ](#) の「付属ソフトウェアをインストールする」をお読みください。
- ②「PHOTOfunSTUDIO」で受信するフォルダーを作成する
 - ・受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
 - ・詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使用しない場合

(Windows をお使いの場合)

対応 OS : Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista
例) Windows 7

- ①受信するフォルダーを選び、右クリックする
- ②「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする
 - ・詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書や OS のヘルプをご参照ください。

(Mac をお使いの場合)

対応 OS : OS X v10.5 ~ v10.10
例) OS X v10.8

- ①受信するフォルダーを選び、以下の順にクリックする
「ファイル」→「情報を見る」
- ②フォルダーに共有の設定をする
 - ・詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書や OS のヘルプをご参照ください。



パソコンに画像を送る

パソコンに画像を送る

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
 → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る]
 → [PC]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.278、280)

3 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力] を選び、パソコンのコンピューター名 (Mac の場合は NetBIOS 名) を入力してください。

4 送信するフォルダーを選ぶ

5 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (P.260)

[撮影中に画像を送る] 選択時

6 写真を撮る (P.258)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

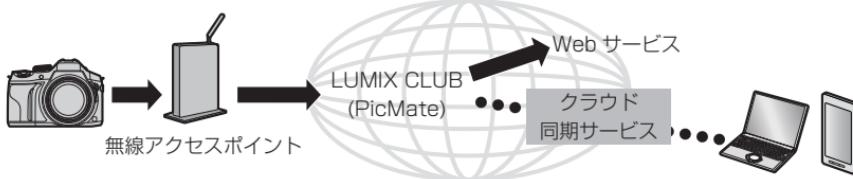
6 画像を選ぶ (P.259)

- 設定されたフォルダーアー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名 (Mac の場合は NetBIOS 名) にスペース (空白文字) などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15 文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名 (Mac の場合は NetBIOS 名) に変更することをお勧めします。



Web サービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由することで、写真や動画を SNS などに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信することができます。



Web サービスに画像を送る

準備

Web サービスに画像を送信するには、「LUMIX CLUB (PicMate)」への登録 (P.271) が必要です。

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外の Web サービスに画像を送信するには、その Web サービスを登録しておく必要があります。 (P.267)

- Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去したりすることはできません。スマートフォンやパソコンで Web サービスにアクセスして、画像を確認してください。
- 画像の送信に失敗すると、「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。

Web サービスを利用する

Web サービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録する

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外の Web サービスへ画像を送信する場合は、利用する Web サービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」で登録しておくことが必要です。

- 対応する Web サービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。

http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備

利用する Web サービスにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

1 スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトへアクセスする

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

2 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID とパスワードを入力し、ログインする**3 「LUMIX CLUB (PicMate)」にメールアドレスを登録していない場合は、メールアドレスを登録する****4 「Web サービス連携設定」で利用する Web サービスを選び、登録する**

- 画面の指示に従って、登録の操作をしてください。



画像を送る

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る]
→ [Web サービス]

2 [ネットワーク経由] を選び、接続する (P.278)

3 接続したいサービスを選ぶ

4 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (P.260)

[撮影中に画像を送る] 選択時

5 写真を撮る (P.258)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

5 画像を選ぶ (P.259)



Web サービスを利用する

■カメラ内の画像を簡単に Web サービスに送る

一度送信すると、無線アクセスポイントに接続できる環境であれば、スマートフォンを操作する感覚で手軽に画像を Web サービスに送信できます。

(以下の手順は、「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録済みで、無線アクセスポイントとの接続履歴がある場合の例で説明しています)

①画像を表示する

②▼を押し、[はい]を選ぶ

(グループ画像を表示している場合は、[アップロード

(Wi-Fi)] → [はい]を選ぶ)

・[]をタッチしても同じ操作ができます。(グループ画像選択時は、[]をタッチし、[アップロード (Wi-Fi)]を選んでください)



③接続したいサービスを選ぶ

④送信設定を確認し、[決定]を選ぶ

・以前接続した無線アクセスポイントに接続し、画像が Web サービスへ送信されます。

・画像の送信設定を変更するには、[DISP.]ボタンを押してください。(P.260)

・続けて画像を送信する場合は、手順③、④は不要です。

同じ Web サービスと画像の送信設定で送信されます。

・接続を終了する場合は、[MENU/SET]ボタンを押すなどの操作をし、再生画面を終了してください。[Wi-Fi]ボタンを押すことでも終了できます。(P.243)

画像の送信設定、Web サービスを変更するには

Wi-Fi接続を終了し、もう一度手順①以降の操作を行ってください。

・Wi-Fi接続中に [Wi-Fi]ボタンを押すことでも、送信設定は変更することができます。(P.243)

- 利用可能な無線アクセスポイントの接続履歴がない場合は、接続方法の選択画面が表示されます。接続方法を選び、本機を無線アクセスポイントに接続してください。(P.278)
- 「LUMIX CLUB (PicMate)」への登録がされていない場合は、ログインIDの新規取得画面が表示されます。ログインIDを取得し、パスワードを設定してください。(P.272)
- グループ画像をまとめて表示している場合は、グループ内の画像すべてを送信します。グループ画像を1枚ずつ表示している場合は、表示中の画像1枚を送信します。

クラウド同期サービスに画像を送る

準備

クラウドフォルダに画像を送信するには、「LUMIX CLUB (PicMate)」への登録 (P.271) とクラウド同期設定が必要です。クラウド同期設定は、パソコンの場合は「PHOTOfunSTUDIO」で、スマートフォンの場合は「Image App」で設定してください。

■ [クラウド同期サービス] を利用する (2015年7月現在)

- 画像の送信先をクラウド同期サービスに設定した場合、送信された画像はクラウドフォルダに一時保存され、パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期させることができます。
- クラウドフォルダに送信された画像は30日間（最大1000枚まで）保存されます。送信後30日を超えた画像は、自動的に消去されます。また、送信後30日以内でも1000枚を超えた場合は、[クラウド上限枚数動作] (P.260) の設定により画像が消去される場合があります。
- クラウドフォルダに送信された画像が指定した機器すべてにダウンロードされると、送信後30日以内の画像でもクラウドフォルダから消去される場合があります。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]
 → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る]
 → [クラウド同期サービス]

2 メッセージを確認して [MENU/SET] ボタンを押す

3 [ネットワーク経由] を選び、接続する (P.278)

4 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (P.260)

[撮影中に画像を送る] 選択時

5 写真を撮る (P.258)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

5 画像を選ぶ (P.259)

LUMIX CLUB (PicMate) への登録

LUMIX CLUB (PicMate) を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録（無料）をして、ログインIDを取得します。

「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録すると、画像をお使いの機器間で同期したり、Webサービスに画像を転送するなど、画像の整理・共有・公開ができます。

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスや宅外のAV機器に画像を転送する際にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して利用します。

- すでにパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDを取得済みの場合は、取得済みのログインIDを本機に入力して同じログインIDを使用することができます。
- 本機とスマートフォンの「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDを合わせることができます。（P.274）

■「LUMIX CLUB (PicMate)」について

デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

また、本機との連携サービスを利用する場合は、下記のページにアクセスしてください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>

本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。



LUMIX CLUB (PicMate) への登録

新規でログイン ID を取得する（[新規登録]）

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [ログイン・新規登録] を選ぶ

3 [新規登録] を選ぶ

- ネットワークに接続します。[次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。
- すでに本機でログイン ID が取得されている場合は確認画面が表示されます。取得し直すときは [はい] を、取得し直さないときは [いいえ] を選んでください。

4 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する

- 詳しくは、[278 ページ](#)をお読みください。
- 初回接続時のみ設定画面が表示されます。一度設定した接続方法は、本機に保存され、次回接続時に利用されます。接続する無線アクセスポイントを変更したい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続先を変更してください。
- [次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。

5 LUMIX CLUB (PicMate) の利用規約を読み、[同意する] を選ぶ

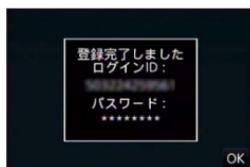
- ▲▼でページを切り換えることができます。
- ズームレバーを T 側に回すと、拡大表示（2 倍）することができます。
- 拡大したあとズームレバーを W 側に回すと、元の大きさ（1 倍）に戻ります。
- ▲▼◀▶で拡大部分の位置を移動させることができます。
- [Q.MENU 血/△] ボタンを押すと、サービスユーザー登録せずに中止することができます。

6 パスワードを入力する

- 英数字交じり 8 ~ 16 衡で任意のパスワードを入力してください。
- 文字入力の方法については、[70 ページ](#)の「文字を入力する」をお読みください。

7 ログイン ID を確認し、[OK] を選ぶ

- ログイン ID（数字 12 衡）は自動的に表示されます。
パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインする場合は、数字のみを入力してください。
- 接続が完了するとメッセージが表示されます。[OK] を選んでください。
- ログイン ID とパスワードは必ず控えを取っておいてください。



LUMIX CLUB (PicMate) への登録

取得済みのログイン ID を使う /
ログイン ID やパスワードを確認・変更する ([ログイン ID 設定])

準備

取得済みのログイン ID を使う場合、ID とパスワードを確認しておく。

パスワードを変更する場合、スマートフォンまたはパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更しておく。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [ログイン・新規登録] を選ぶ

3 [ログイン ID 設定] を選ぶ

- ・ログイン ID とパスワードが表示されます。
- ・パスワードは「」で表示されます。
- ・ログイン ID の確認のみをする場合は、メニューを終了してください。

4 変更したい項目を選ぶ

5 ログイン ID またはパスワードを入力する

- ・文字入力の方法については、[70 ページ](#)の「文字を入力する」をお読みください。
- ・パスワードはスマートフォンまたはパソコンで変更したものに入力してください。異なるパスワードを入力すると、画像をアップロードすることができなくなります。

6 [終了] を選ぶ



LUMIX CLUB (PicMate) への登録

本機とスマートフォンのログイン ID を合わせる

・本機とスマートフォンのログイン ID を合わせておくと、本機の画像を他の機器や Web サービスに送信するときに便利です。

■ 本機またはスマートフォンのどちらか一方がログイン ID を取得している場合

① 本機とスマートフォンを接続する (P.246)

② 「Image App」のメニューからログイン ID を合わせる

- ・本機とスマートフォンのログイン ID が同じログイン ID になります。

・本機とスマートフォンの接続後、再生画面に切り換えたときにログイン ID を合わせる画面が表示される場合があります。画面に従って操作してログイン ID を合わせることもできます。

- ・[Wi-Fi Direct] で接続時は使用できません。

■ 本機とスマートフォンがそれぞれ別のログイン ID を取得している場合

スマートフォンのログイン ID に合わせる場合

本機のログイン ID とパスワードを、スマートフォンで取得したログイン ID とパスワードに変更する

本機のログイン ID に合わせる場合

スマートフォンのログイン ID とパスワードを、本機で取得したログイン ID とパスワードに変更する

「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合などに内容を確認することができます。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [利用規約確認] を選ぶ

- ・ネットワークに接続し、利用規約が表示されます。



LUMIX CLUB (PicMate) への登録

ログイン ID の消去と「LUMIX CLUB (PicMate)」を退会する

本機を譲渡 / 廃棄などする場合に、本機のログイン ID を消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]

2 [消去・退会] を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

3 ログイン ID 消去の確認画面で [はい] を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

4 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で [はい] を選ぶ

- 退会をしない場合は、[いいえ] を選ぶとログイン ID の消去のみが実行されます。実行後はメニューを終了してください。

5 [次へ] を選ぶ

- ログイン ID の消去が実行され、退会完了のメッセージが表示されます。
[OK] を選んでください。

- ログイン ID の変更などは、本機で取得したログイン ID に対してのみ行えます。



LUMIX CLUB (PicMate) への登録

■ 宅外 AV 機器を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、離れて暮らす家族や友人が所有している AV 機器に画像を送ることができます。

準備

送信先の AV 機器から「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録をして、発行されたアドレス番号（数字 16 衔）とアクセス番号（数字 4 衔）を確認しておく。

（詳しくは、AV 機器の取扱説明書をお読みください）

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外 AV 機器設定]

2 [追加登録] を選ぶ

3 アドレス番号を入力する

4 アクセス番号を入力する

5 任意の名前を入力する

- ・入力できる文字数は最大 28 文字です。2 バイト文字は 2 文字の扱いになります。

● 文字の入力方法については、70 ページの「文字を入力する」をお読みください。

登録した AV 機器の情報を変更または消去する

すでに登録している AV 機器の情報を変更または消去することができます。

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外 AV 機器設定]

2 編集または消去したい AV 機器を選ぶ

3 [編集] または [消去] を選ぶ

項目	設定内容
[編集]	すでに登録している AV 機器の情報を変更します。 「宅外 AV 機器を設定する」の手順 3～5 を行う。
[消去]	すでに登録している AV 機器の情報を消去します。



接続について

[新規で接続する] を選んだ場合、Wi-Fi 機能や送信先を選択後、接続する方法を選びます。

[履歴から接続する] または [お気に入りから接続する] を選んだ場合、以前 Wi-Fi 接続したときと同じ設定で接続できます。

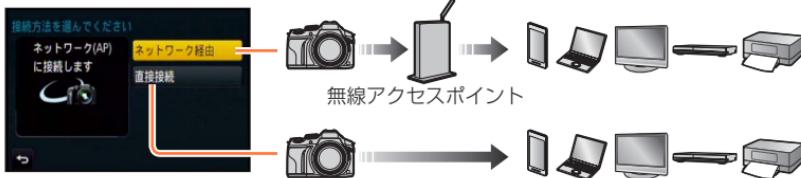
以降では、接続のしかたについて説明します。

- 以前と同じ設定で接続する場合については、[281 ページ](#)をお読みください。

以下のような画面が表示されたら、接続方法を選んでください。

- 画面を表示するための操作の例：

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] → [スマートフォン]



接続方法	設定内容	
[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由して接続します。	P.278
[直接接続]	お使いの機器と本機を直接接続します。	P.280

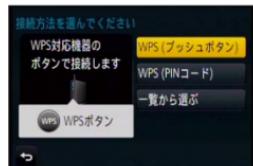
無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合などでは、直接接続を行うと便利です。

接続について

[ネットワーク経由] 無線アクセスポイントを経由して接続する

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

- WPS とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。



接続方法	設定内容
[WPS (プッシュボタン)]	<p>WPS マークがあり、プッシュボタン方式 Wi-Fi Protected Setup™ 対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <p>1 無線アクセスポイントが WPS モードになるまで、無線アクセスポイントの WPS ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。
[WPS (PIN コード)]	<p>WPS マークがあり、PIN コード方式の Wi-Fi Protected Setup 対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <ol style="list-style-type: none"> カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ カメラの画面に表示されている PIN コードを無線アクセスポイントに入力する カメラの [MENU/SET] ボタンを押す <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。
[一覧から選ぶ]	<p>WPS に対応しているか分からぬ場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは 279 ページをお読みください。

接続について

WPS 対応しているか分からぬ場合（[一覧から選ぶ] で接続する）

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力] で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ

- [DISP.] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は
下記の「[マニュアル入力] で接続する場合」をお読みください。



2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)

暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法については、[70 ページ](#)の「文字を入力する」をお読みください。

■ [マニュアル入力] で接続する場合

- 「WPS 対応しているか分からぬ場合（[一覧から選ぶ] で接続する）」の手順 1 の画面で、[マニュアル入力] を選ぶ
- 接続する無線アクセスポイントの SSID を入力して [決定] を選ぶ
 - 文字の入力方法については、[70 ページ](#)の「文字を入力する」をお読みください。
- ネットワークの認証方式を選ぶ
 - ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。
- 暗号化方式を選ぶ
 - ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
[WPA2-PSK] / [WPA-PSK]	[TKIP] / [AES]
[共通キー]	[WEP]
[オープン]	[暗号化なし] / [WEP]

⑤（[暗号化なし] 以外選択時）

暗号化キーを入力する

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」[\(P.315\)](#)、「Q&A 故障かな？と思ったら」[\(P.323\)](#)をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

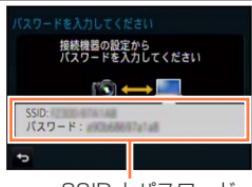
接続について

[直接接続] 直接接続する

お使いの機器との接続方法を選択できます。
お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。



接続方法	設定内容
[Wi-Fi Direct]	<p>1 機器を Wi-Fi Direct® モードにする</p> <p>2 カメラの画面で [Wi-Fi Direct] を選ぶ</p> <p>3 カメラの画面で接続する機器を選ぶ</p>
[WPS 接続]	<p>[WPS (プッシュボタン)]</p> <p>1 カメラの画面で [WPS (プッシュボタン)] を選ぶ</p> <p>2 機器を WPS モードにする</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機の [DISP.] ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。 <p>[WPS (PIN コード)]</p> <p>1 カメラの画面で [WPS (PIN コード)] を選ぶ</p> <p>2 機器の PIN コードをカメラに入力する</p>
[手動接続]	<p>1 機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSID とパスワードを機器に入力する</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続先が [スマートフォン] の場合は、パスワードは表示されません。SSID を選んで接続してください。 (P.246)



- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

接続について

以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する] / [お気に入りから接続する])

Wi-Fi機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気に入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。接続する機器のWi-Fi設定が、以前に接続したときと同じになっているかご確認ください。

- 接続する機器の設定が変更されていると、接続できない場合があります。

1 メニューを設定する

MENUボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]

2 [履歴から接続する] または [お気に入りから接続する] を選ぶ

項目	設定内容
[履歴から接続する]	以前と同じ設定で接続します。
[お気に入りから接続する]	お気に入りに登録された設定で接続します。



3 接続したい項目を選ぶ

- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続] を使って本機と接続できません。スマートフォンなどの接続する機器側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する] で接続し直してください。 (P.246)



履歴をお気に入り登録する

1 メニューを設定する

MENUボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]
→ [履歴から接続する]

2 登録したい項目を選び、▶を押す

3 登録名を入力する

- 文字の入力方法については、70ページの「文字を入力する」をお読みください。
- 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

接続について

お気に入り登録した項目を編集する

1 メニューを設定する

[MENU] ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能]
→ [お気に入りから接続する]

2 編集したいお気に入り項目を選び、▶を押す

3 項目を選ぶ

項目	設定内容
[お気に入りを消す]	—
[お気に入りの順番を変える]	移動先を選ぶ
[登録名を変える]	<ul style="list-style-type: none"> 文字の入力方法については、70 ページの「文字を入力する」をお読みください。 入力できる文字数は最大 30 文字です。2 バイト文字は 2 文字の扱いになります。

 よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておく

- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておくことをお勧めします。[\(P.281\)](#)

 履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

- 履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示させることができます。

- [Wi-Fi 設定リセット] を行うと、履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。
- 多くのパソコンが接続されているネットワークに、「履歴から接続する」や「お気に入りから接続する」で接続する場合、多くの機器の中から前回接続した機器を探すため接続されにくくなることがあります。接続できない場合は、「新規に接続する」で接続し直してください。

[Wi-Fi 設定]

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。

Wi-Fi 接続中は [Wi-Fi 設定] の変更はできません。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → 設定したい項目

項目	設定内容
Wi-Fi パスワード スマートフォンと直接接続する際にパスワードの入力が必要になり、セキュリティを強化できます。	<p>[ON] : SSID とパスワードを利用してカメラとスマートフォンを接続します。 (P.248)</p> <p>[OFF] : SSID を利用してカメラとスマートフォンを接続します。 (P.246)</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ON] に設定時は QR コードを読み取って接続することもできます。 (P.249, 250)
PicMate 設定 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID の取得や変更を行います。	<ul style="list-style-type: none"> • 詳しくは、271 ページをお読みください。
PC 接続設定 ワークグループを設定することができます。	<p>パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 (お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています)</p> <p>[変更する] : 接続するパソコンのワークグループを入力してください。</p> <p>[標準に戻す] : お買い上げ時の状態に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文字入力の方法については、70 ページの「文字を入力する」をお読みください。 • パソコンを標準の設定でお使いの場合は、ワークグループを変更する必要はありません。
機器名称 本機の名前 (SSID) を変更することができます。	<p>① [DISP.] ボタンを押す</p> <p>② 任意の機器名称を入力する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文字入力の方法については、70 ページの「文字を入力する」をお読みください。 • 入力できる文字数は最大 32 文字です。



[Wi-Fi 設定]

項目	設定内容
宅外 AV 機器設定 「LUMIX CLUB (PicMate)」 を経由して、離れて暮らす家 族や友人が所有している AV 機器に画像を送ることができます。	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、276 ページをお読みください。
Wi-Fi 機能ロック 誤操作や第三者による Wi-Fi 機能の使用を防いだり、設定 した個人情報を保護するため、 Wi-Fi 機能をパスワードで保護 することをお勧めします。	<p>パスワードを設定しておくと、Wi-Fi 機能使用時、自動的にパスワー ド入力画面が表示されるようになります。</p> <p>【設定】：数字 4 衔で任意のパスワードを設定します。</p> <p>【解除】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字入力の方法については、70 ページの「文字を入力する」を お読みください。 パスワードは必ず控えを取っておいてください。忘れてしまっ た場合、【セットアップ】メニューの【Wi-Fi 設定リセット】を行 うとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべ てリセットされます。（【PicMate 設定】を除く）
ネットワークアドレス表示 本機の MAC アドレスと IP ア ドレスを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 「MAC アドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有 アドレスです。 「IP アドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続 されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、 無線アクセスポイントなどの DHCP 機能で自動的に割り当てら れるのが一般的です。（例：192.168.0.87）
認証情報 電波法に基づく工事設計認証 番号を表示します。	—

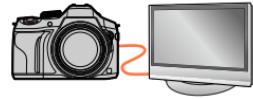


4K 動画を楽しむ

4K 動画を見る

■ テレビで見る

本機と4K動画対応テレビを接続して、[画質設定]のサイズが[4K]で撮影された動画を再生すると、きめ細かい4K動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。



準備

- ・[HDMI出力解像度(再生時)] (P.66) を[AUTO] または[4K]に設定する。
- ・4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO]に設定してください。

①HDMIマイクロケーブルで本機と4K動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する (P.287)

- ・[ビエラリンク]を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り替わり、再生画面が表示されます。詳しくは、289ページをお読みください。
- ・[記録方式]が[MP4]で[画質設定]のサイズが[4K]の動画は、4K動画対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて再生することもできます。
- ・テレビの取扱説明書もお読みください。



■ パソコンで見る

[画質設定]のサイズが[4K]で撮影された動画をパソコンで再生する場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。



- ・4K動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。
- ・詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

4K 動画を残す

■パソコンに残す

詳しくは、[291 ページ](#)をお読みください。

■ハードディスクやDVDに残す

[画質設定] のサイズが [4K] の動画は、4K 動画取り込みに対応した当社製レコーダーを使ってハードディスクへダビングすることができます。ただし、当社製レコーダーでブルーレイディスクやDVDへのダビングはできません。(2015年7月現在)
CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと、サイズの小さい動画に変換したり、DVDにコピーしたりできます。

- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。



テレビで見る

本機とテレビを HDMI マイクロケーブルまたは AV ケーブル（別売）で接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。

準備

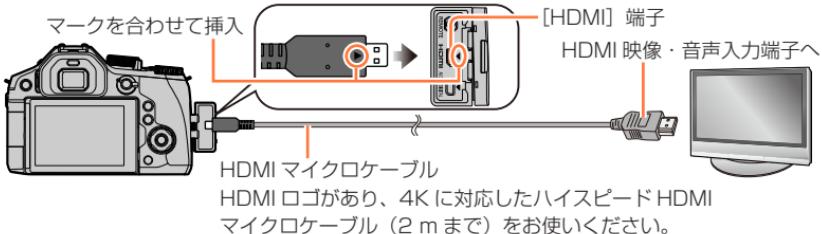
本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを接続する

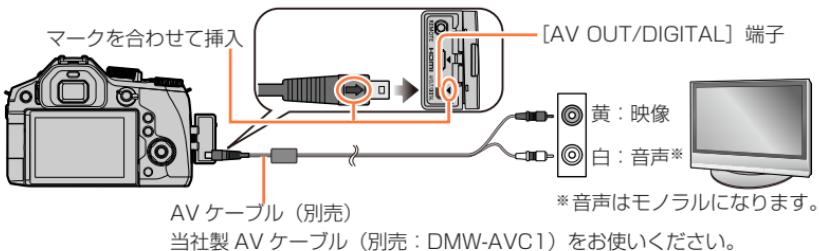
端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

■HDMI マイクロケーブルで接続する場合

本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影した写真や動画を高画質で楽しむことができます。



■AV ケーブル（別売）で接続する場合



2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、再生ボタンを押す

- ・[ビエラリンク] を [ON] に設定して、HDMI マイクロケーブルでビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。（P.289）

テレビで見る

- 画像横縦比によっては、上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れることがあります。
- 縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
- AV ケーブル（別売）と HDMI マイクロケーブルを同時に接続すると、HDMI マイクロケーブルからの出力が優先されます。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

■ HDMI マイクロケーブルで接続したとき

- ・ [HDMI 出力解像度（再生時）] (P.66) を確認してください。
- ・ 24p 動画を再生時は [HDMI 出力解像度（再生時）] を [AUTO] に設定してください。 [AUTO] 以外に設定していると、24 コマ / 秒では出力できません。
- ・ HDMI マイクロケーブル接続時は、カメラには画像が表示されません。
- ・ USB 接続ケーブル（付属）と同時に接続すると、[HDMI] 端子は働きません。
- ・ 音声出力はステレオです。

■ AV ケーブル（別売）で接続したとき

- ・ [テレビ画面タイプ] (P.66) を確認してください。
- ・ ファインダー表示はできません。

 SD カードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの取扱説明書をお読みください。



ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) を使う

ビエラリンク (HDMI) とは

- 本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク (HDMI) は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

準備

[ビエラリンク] を [ON] に設定しておく。(P.67)

1 HDMI マイクロケーブルで、本機とビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ (ビエラ) をつなぐ (P.287)

2 本機の電源を入れ、再生ボタンを押す

3 テレビのリモコンで操作する

- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で [音設定] を [AUTO] または [音声] に設定してください。
- テレビに 2 つ以上の HDMI 入力端子がある場合は、本機を HDMI1 以外に接続することをお勧めします。
- 本機の [ビエラリンク] を [ON] に設定している場合は、本機のボタンを使っての操作は制限されます。

テレビで見る

■ その他の連動操作について

電源 OFF

- ・テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- ・HDMI マイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の再生ボタンを押すと、テレビの入力切換が自動で本機の画面に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)
- ・ビエラリンク (HDMI) が正しく働かない場合は、[335 ページ](#)をご確認ください。

- お使いのテレビがビエラリンク (HDMI) 対応か分からぬときは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- HDMI ロゴがあり、4K に対応したハイスピード HDMI マイクロケーブル (2 m まで) をお使いください。
- ビエラリンク動作時、本機の【HDMI 出力解像度 (再生時)】は自動的に判別されます。



写真や動画をパソコンに残す

本機とパソコンを接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。
詳しくはパソコンの取扱説明書をお読みください。
- SDXC メモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)

カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/sd_w/

■ 使用できるパソコン

マスストレージデバイス（大容量記憶装置）を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合 : Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 /
Windows Vista
- Mac の場合 : OS X v10.5 ~ v10.10



AVCHD 動画はファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windows の場合、AVCHD 動画は必ず CD-ROM（付属）の「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。
- Mac の場合、AVCHD 動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。ただし、画質設定によっては、取り込みできない場合があります。
(iMovie の詳細は、Apple にお問い合わせください)



写真や動画をパソコンに残す

付属のソフトウェアについて

CD-ROM（付属）には、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.7 PE

パソコンに写真や動画を取り込んだり、取り込んだ画像を撮影日や撮影したデジタルカメラの機種名などで分類して整理することができます。また、写真の補正や動画の編集、DVDへの書き込みなどもできます。

・動作環境

対応 OS	Windows® 8.1 (32 bit/64 bit) Windows® 8 (32 bit/64 bit) Windows® 7 (32 bit/64 bit) および SP1 Windows Vista® (32 bit) SP2	
CPU	Windows® 8.1	Pentium® III 1 GHz 以上
	Windows® 8	
	Windows® 7	
	Windows Vista®	Pentium® III 800 MHz 以上
ディスプレイ	1024 × 768 以上 (1920 × 1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows® 8.1	1 GB 以上 (32 bit) / 2 GB 以上 (64 bit)
	Windows® 8	
	Windows® 7	
	Windows Vista®	512 MB 以上
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量	

- ・4K 動画を編集するときは、Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 の 64bit 版が必要です。
- ・その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF) をお読みください。



写真や動画をパソコンに残す

SILKYPIX Developer Studio 4.3 SE

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式 (JPEG、TIFF など) で保存できます。

・動作環境

対応 OS	Windows® 8.1 Windows® 8 Windows® 7 Windows Vista® Mac® OS X v10.6 ~ v10.10
-------	--

- ・SILKYPIX Developer Studio の動作環境や使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または以下の市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをご覧ください。
<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>

LoiLoScope -30 日間フル体験版

(Windows 8.1 / 8 / 7 / Vista)

簡単に動画を編集することができます。

- ・インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。
- ・LoiLoScope の詳しい動作環境や使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。

使い方 Web サイト : <http://loilo.tv/product/20>



写真や動画をパソコンに残す

付属ソフトウェアをインストールする

お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。

準備

- お使いのパソコンの仕様と各ソフトウェアの動作環境を確認しておく。
- CD-ROM（付属）を入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了しておく。

1 CD-ROM（付属）を入れる

- 自動再生画面が表示された場合、[Launcher.exe の実行] を選ぶと、メニューを表示できます。
- Windows 8.1 / Windows 8 では CD-ROM を入れたあとに表示されるメッセージをクリックし、[Launcher.exe の実行] を選ぶと、メニューを表示できます。
- [コンピューター] 内の [SFM ○○○○] をダブルクリックすることでもメニューを表示できます。（○○○○は機種によって異なります）

2 [アプリケーション] をクリックする

3 [おまかせインストール] をクリックする

- Mac では、SILKYPIX を手動でインストールすることができます。

- ① CD-ROM を入れる
- ② CD-ROM の「Application」フォルダーをダブルクリックする
- ③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
- ④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

- 「PHOTOfunSTUDIO」、「LoiLoScope」は Mac では使えません。



写真や動画をパソコンに残す

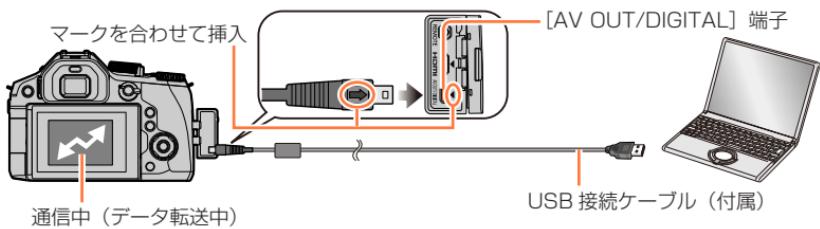
写真、動画を取り込む

準備

- パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。(P.294)
- 本機とパソコンの電源を入れる。

1 本機とパソコンを接続する

- 本機のモニター面を表にしてください。
- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブルまたは当社製USB接続ケーブル(別売: DMW-USBC1)以外は使わないでください。



- 表示中はUSB接続ケーブル(付属)を抜かない。

2 ▲▼で【PC】を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

- 【セットアップ】メニューで【USBモード】(P.66)を【PC】に設定しておくと、【USBモード】の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。
- 【USBモード】を【PictBridge(PTP)】にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。メッセージを閉じ、安全にUSB接続ケーブルを取り外し、【USBモード】を【PC】に設定し直してください。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

■ PTPモードの場合

【USBモード】(P.66)の設定を【PictBridge(PTP)】にしても、パソコンとPTPモードで接続することができます。

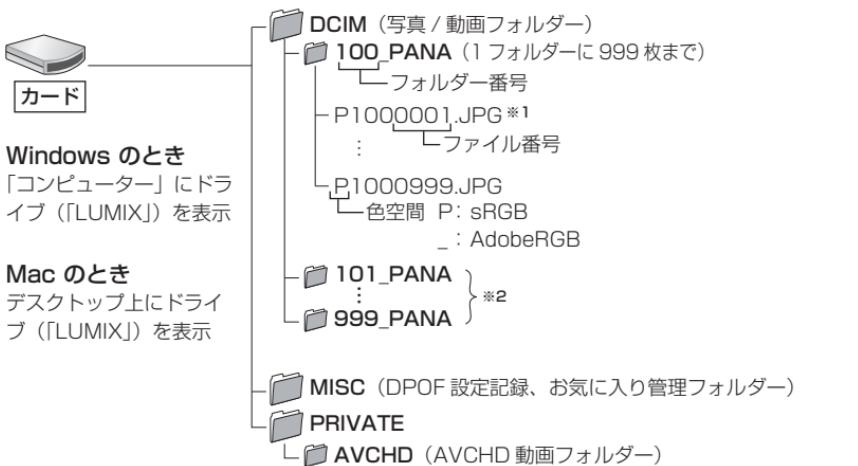
- カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- カードの中に1000枚以上画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードで、動画は再生できません。

写真や動画をパソコンに残す

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

- ・本機のカードの中（フォルダー構造）は以下のようになります。



*1 .JPG : 写真

.RW2 : RAW で記録した写真

.MP4 : MP4 動画

*2 フォルダーは次の場合に新しく作成されます。

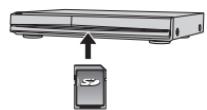
- ・フォルダー内にファイル番号 999 の画像がある場合
- ・同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき（他社のカメラで撮影したものなど）
- ・[番号リセット] したとき（P.68）

- カードの抜き差しは、本機の電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。
- 十分に充電されたバッテリー、または AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC8）を使用してください。
- バッテリー使用時、USB 接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。USB 接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。
- AC アダプター（別売：DMW-AC10）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。

写真や動画をレコーダーに残す

カードをレコーダーに入れてダビングする

各ファイル形式に対応した当社製機器（ブルーレイディスクレコーダーなど）を使ってダビングすることができます。



・本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式（JPEG、RAW、AVCHD、MP4）によって他の機器への取り込み方法が異なります。

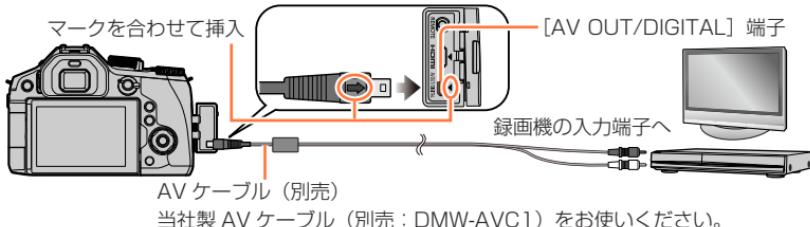
- ・[画像横縦比] を [16:9] 以外に設定し撮影した 4K 連写ファイル（MP4 形式）は、4K 動画取り込みに対応した当社製レコーダーであっても、ハードディスクへダビングすることができません。（2015 年 7 月現在）
- ・ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

対応機器以外にダビングする

本機を AV ケーブル（別売）で対応機器以外のレコーダーやビデオなどの録画機につなぎ、本機で再生した映像をダビングします。対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 本機と録画機を接続する

- ・端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



2 本機で再生を始める

3 録画機で録画を始める

- ・録画（ダビング）を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

- ・横縦比が 4:3 のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の [テレビ画面タイプ] (P.66) を [4:3] に設定してダビングしてください。[16:9] に設定してダビングした動画を 4:3 のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ・ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

プリントする

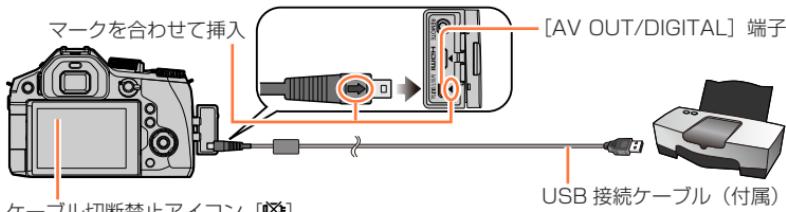
ピクトプリッジ
PictBridge 対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備

- ・プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。
- ・本機とプリンターの電源を入れる。

1 本機とプリンターを接続する

- ・本機のモニター面を表にしてください。
- ・端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- ・付属の USB 接続ケーブルまたは当社製 USB 接続ケーブル (別売 : DMW-USBC1) 以外は使わないでください。



ケーブル切断禁止アイコン [☒]

- ・表示中は USB 接続ケーブル (付属) を抜かない。
(プリンターによってはアイコンが表示されません)

2 ▲▼で [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶でプリントする写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(プリントの各種設定 : [P.301](#))

プリントする

【複数プリント】

複数まとめてプリントします。

1 手順 3 (P.298) で ▲ を押して複数プリントに設定する

2 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・複数選択：
①▲▼◀▶で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
(解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す)
②◀で「実行」を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ・全画像：
すべての画像
- ・プリント設定 (DPOF)：[プリント設定] で設定した画像 (P.238)
- ・お気に入り：
[お気に入り] で設定した画像 (P.237)

3 ▲で「プリント開始」を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(プリントの各種設定：P.301)

- グループ画像は、グループ単位ではなく 1 枚ずつ表示されます。
- プリント終了後、USB 接続ケーブル（付属）を外してください。
- 十分に充電されたバッテリー、または AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カブラー（別売：DMW-DCC8）を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB 接続ケーブル（付属）を抜いてください。
- AC アダプター（別売：DMW-AC10）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの取扱説明書をお読みください。
- プリント中にオレンジ色の【●】が表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
- プリント枚数が多いとき、残り枚数の表示が設定と異なることがあります。
- 動画、4K 連写ファイルはプリントできません。
- RAW で記録した写真はプリントできません。（同時に記録した JPEG 形式の写真はプリントできます）



[プリントする](#)

写真に日付や文字を入れる

[再生] メニューの [文字焼き込み] で日付や日時を写真に焼き込むことができます。
(P.231)

■ [文字焼き込み] せずに日付などをプリントするとき

お店プリントの場合 :

撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。

- お店にカードを渡す前に、本機で [プリント設定] (P.238) をしておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定できます。
- [個人認証] または [プロフィール設定] の [月齢 / 年齢] や [名前]、[トラベル日付] [旅行先] [タイトル入力] で入力した文字のプリントはお店では依頼できません。

パソコンの場合 :

CD-ROM (付属) のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。

プリンターの場合 :

本機で [プリント設定] をするか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で [日付プリント] (P.301) を [ON] に設定すると、撮影日時を印刷できます。



プリントする

本機でプリントの各種設定をする

プリント枚数や用紙サイズなどを設定できます。[プリント開始] を選ぶ前に設定してください。

1 ▲▼で設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

設定項目	設定内容
日付プリント	ON (日付プリントする) / OFF
プリント枚数	枚数を設定 (最大 999 枚)
用紙サイズ	[] を選ぶと、プリンターの設定を優先します。
レイアウト	[] (プリンターの設定を優先) / [] (1面縁なし) / [] (1面縁あり) / [] (2面) / [] (4面)

2 ▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [プリント設定 (DPOF)] 選択時には、[日付プリント] と [プリント枚数] の項目は表示されません。
- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- [日付プリント] を [ON] にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(プリンター側の設定が優先される場合があります)
- 文字や日付を焼き込んだ画像をプリントする場合は、[日付プリント] を [OFF] にしてください。(日付が重なってプリントされます)
- 使用するプリンターによっては、画像横縦比を [1:1] に設定して撮影した画像の日付が、縦方向にプリントされる場合があります。
- プリンターが対応していない項目は表示されません。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには
[] (プリンター優先) を選び、プリンター側で設定してください。
(プリンターの取扱説明書をお読みください)
- [プリント設定] をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。



別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BLC12
バッテリーチャージャー※1	DMW-BTC6
AC アダプター※2	DMW-AC10
DC カプラー※2	DMW-DCC8
レンズアダプター	DMW-LA7
テレコンバージョンレンズ※3	DMW-LT55
クローズアップレンズ※3	DMW-LC55
MC プロテクター	DMW-LMC52
ND フィルター	DMW-LND52
PL フィルター（サーキュラータイプ）	DMW-LPL52
フラッシュライト	DMW-FL360L、DMW-FL580L
LED ビデオライト	VW-LED1
シャッターリモコン	DMW-RSL1
ステレオガンマイクロホン	DMW-MS2
ステレオマイクロホン	VW-VMS10
AV ケーブル	DMW-AVC1
USB 接続ケーブル	DMW-USBC1
ショルダーストラップ	DMW-SSTG1、DMW-SSTG2、DMW-SSTG3、 DMW-SSTG5、DMW-SSTL1
ロングショルダーストラップ※4	DMW-SSTG6、DMW-SSTG7、DMW-SSTG8、 DMW-STLA1
ソフトバッグ	DMW-BAG1、DMW-BAG2、DMW-BALA1、 DMW-CZ18
本革カメラバッグ	DMW-BAL1
ソフトケース	DMW-CG2

※1 海外用変換プラグ（C タイプ）付き（P.309）

※2 AC アダプターと DC カプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

※3 本機に取り付けるにはレンズアダプター（別売：DMW-LA7）が必要です。

※4 斜め掛けに適したロングタイプのショルダーストラップです。

● 記載の品番は 2015 年 7 月現在のものです。変更されることがあります。

別売品の最新情報は、カタログ / ホームページなどをご覧ください。

パナソニックグループの
ショッピングサイト

 **Panasonic Store**

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニックストア」でお買い求めいただけ
るものもあります。
詳しくは「パナソニックストア」のサイトを
ご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

コンバージョンレンズ（別売）

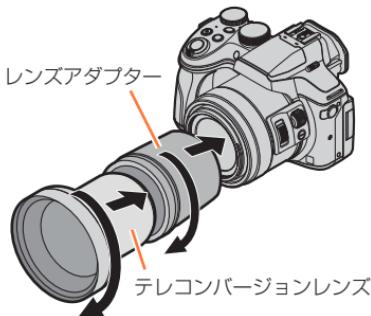
コンバージョンレンズを使用すると、より望遠で撮影したり、より小さな被写体をアップで撮影したりすることができます。レンズを取り付けた後、撮影メニューを設定します。

■コンバージョンレンズの取り付け

準備

レンズキャップ、レンズフードを取り外す。

- ①レンズアダプター（別売：DMW-LA7）を取り付ける
 - ・ゆっくり丁寧に回してください。
- ②テレコンバージョンレンズ（別売：DMW-LT55）を取り付ける
 - ・クローズアップレンズ（別売：DMW-LC55）も同様に取り付けることができます。



		テレコンバージョンレンズ	クローズアップレンズ
35 mm フィルムカメラ換算 焦点距離 ^{※1} (最大画素数時 ^{※2})		352 mm ~ 600 mm	121 mm ~ 600 mm
撮影可能範囲	W 側	5.5 m ~∞	27 cm ~ 50 cm
	T 側		33 cm ~ 50 cm
開放 F 値		F4.0	

^{※1} ズーム使用時の実際の焦点距離は、表示の1.7倍になります。

^{※2} [画像横縦比] を [4:3] に設定時 (P.113)

別売品のご紹介

■撮影メニューを設定する

撮影モード：**IA** **FA** **P** **A** **S** **M** **EM** **C** **SCN** **6**

①本機の電源スイッチを [ON] にして、メニューを設定する

[MENU] ボタン → **【撮影】** → **【コンバージョン】**

	テレコンバージョンレンズを装着するとき
--	---------------------

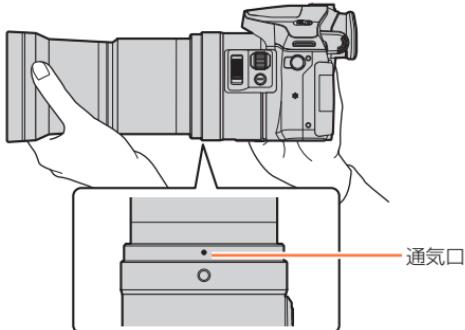
	クローズアップレンズを装着するとき
--	-------------------

	[OFF]
--	-------

②▲▼で [図] (または [図]) を選び、[MENU/SET] ボタンを押して設定する

- 通気口 (下記) を指などで塞がないでください。
通気口から空気の通る音が発生しますが、異常ではありません。
- コンバージョンレンズを外したときは、必ず [OFF] に設定してください。

例) テレコンバージョンレンズ装着時の手持ち撮影での構え方



- コンバージョンレンズを使用するときは、レンズアダプター（別売：DMW-LA7）が必要になります。
- DMW-LC55、DMW-LT55 以外は取り付けないでください。
- コンバージョンレンズと MC プロテクター（別売：DMW-LMC52）や ND フィルター（別売：DMW-LND52）などを併用することはできません。必ず取り外してからコンバージョンレンズを取り付けてください。
- テレコンバージョンレンズ使用時は
 - 三脚の使用をお勧めします。
 - 手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
 - 手ブレの影響により、ピントが合っていないのにフォーカス表示が点灯することがあります。
 - ピントが合うまでの時間が通常よりも長くなることがあります。
- 詳しくは、コンバージョンレンズの取扱説明書をお読みください。

フィルター（別売）

PL フィルター（別売：DMW-LPL52）は、金属や球面以外（平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など）からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

ND フィルター（別売：DMW-LND52）は、色調に変化を与えずに、光量だけを 1/8（3 級り分）に減少させることができます。

MC プロテクター（別売：DMW-LMC52）は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。

- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを強く締めすぎると、外れなくなるおそれがありますので、強く締めないようにしてください。
- フィルターが落下すると、壊れるおそれがあります。取り付けるときは、落とさないようにお気を付けてください。
- フィルターに指紋やほこりなどの汚れがついていると、フィルター面にピントが合ってしまい被写体にピントが合わないことがありますので、お気を付けてください。
- 詳しくは、各種フィルターの取扱説明書をお読みください。

■レンズ装着組み合わせ図

レンズフード（付属）^{*1}



テレコンバージョンレンズ^{*2}
DMW-LT55



クローズアップレンズ^{*2}
DMW-LC55



レンズアダプター
DMW-LA7



PL フィルター^{*2, *3}
DMW-LPL52



ND フィルター^{*1, *3}
DMW-LND52



MC プロテクター^{*1, *3}
DMW-LMC52

*1 付属のレンズキャップを装着できます。

*2 付属のレンズキャップは装着できません。

*3 レンズフードを取り付けた状態で、フィルターを取り付けることはできません。

別売品のご紹介

外部フラッシュ（別売）

フラッシュライト（別売：DMW-FL360L、DMW-FL580L）を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備

内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源スイッチを【OFF】にしてください。

■フラッシュライト（別売：DMW-FL360L）を使う場合

- ①ホットシューに外部フラッシュを取り付け、本機と外部フラッシュの電源を入れる
- ②メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

③▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 外部フラッシュ接続中は以下のアイコンが表示されます。

↳：外部フラッシュ強制発光

↳◎：外部フラッシュ赤目軽減強制発光*

↳S：外部フラッシュスローシンクロ

↳S◎：外部フラッシュ赤目軽減スローシンクロ*

◎：外部フラッシュ発光禁止

- ワイヤレスフラッシュとの通信発光もできません。

*外部フラッシュ側でフラッシュモードを AUTO または MANUAL に設定している場合、選べません。

本機（DMC-FZ300）との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値と ISO 感度に合わせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先 AE モードまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値と ISO 感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先 AE モードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラム AE モードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。）

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を設定できます。

- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。

別売品のご紹介

- 本機に対応した外部フラッシュ以外の通信機能のある外部フラッシュを使用すると正常に動作しないだけでなく、故障の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- 外部フラッシュの電源スイッチが【OFF】でも、装着すると外部フラッシュモードになるものがあります。外部フラッシュを使用しないときは、外部フラッシュを外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- 外部フラッシュを装着すると置いたときに不安定になるため、撮影時は三脚の使用をお勧めします。
- 持ち運びするときは、外部フラッシュを取り外してください。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 外部フラッシュ使用時にホワイトバランスを【】に設定した場合、撮影結果によってはホワイトバランスを微調整してください。(P.111)
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- ワイヤレスフラッシュの設定については 198 ページをお読みください。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

■ バッテリーの代わりに AC アダプター（別売）および DC カプラー（別売）を使う

AC アダプター（別売：DMW-AC10）と DC カプラー（別売：DMW-DCC8）を使うと、バッテリー残量を気にすることなく撮影や再生ができます。
AC アダプターと DC カプラーは、必ずセットでお買い求めください。本機の場合、単独では使用できません。

- AC アダプターおよび DC カプラーの取扱説明書もお読みください。

■ シャッターリモコン（別売）

シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、B（バルブ）撮影時や連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。



- 動画撮影に使用する場合は、クリエイティブ動画モード（P.99）に設定してください。シャッターリモコンで動画撮影開始／終了をすることができます。
- 詳しくは、シャッターリモコンの取扱説明書をお読みください。
- シャッターリモコンでスリープモードを解除することはできません。

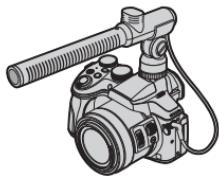


別売品のご紹介

外部マイク（別売）

ステレオガンマイクロホン（別売：DMW-MS2）やステレオマイクロホン（別売：VW-VMS10）を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声が録音できます。

ステレオガンマイクロホン（別売：DMW-MS2）を使用すると、ガン（鋭い指向性）収音と広い範囲のステレオ収音を切り換えることができます。



準備

内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源スイッチを【OFF】にしてください。

■ステレオガンマイクロホン（別売：DMW-MS2）の収音する範囲を設定する

- ①ホットキーに専用ステレオガンマイクロホンを取り付け、本機の電源を入れる
- ②メニューを設定する

MENU ボタン → **■ [動画]** → **【専用マイク設定】**

- ③▲▼で項目を選び、**[MENU/SET] ボタン**を押す

ステレオ	広い範囲の音をステレオで収音することができます。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を収音することができます。

■外部マイク接続時の風雑音を低減する

外部マイク装着時に音声記録時に風雑音がある場合、風雑音を効果的に低減します。

MENU ボタン → **■ [動画]** → **【風音低減】**

設定：【強】 / 【中】 / 【弱】 / 【OFF】

- ・外部マイク接続時のみ使えます。
- ・風音低減を設定すると、通常と音質が変わることがあります。

- 外部マイク接続中は、画面に【マイク】が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、【マイクレベル表示】（P.211）が自動的に【ON】になり、画面にマイクレベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、脱落のおそれがありますので、外部マイクのみを持たないようにしてください。
- ACアダプター（別売）使用時にノイズなどが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- ステレオマイクロホン（別売：VW-VMS10）を装着時は、【専用マイク設定】は【ステレオ】に固定されます。
- ズーム操作などの動作音が記録される場合は、シューアダプターの使用をお勧めします。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz, 60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときはチャージャーと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

■ 変換プラグの付け方について



■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米					
アメリカ合衆国 A	カナダ A	ハイ A			
ヨーロッパ					
イギリス BF, B3	イタリア C (C2)	オーストリア C (C2), SE	オランダ C (C2), SE	ギリシャ A, B, B3, C (C2), SE	スイス A, B, C (C2), SE
スウェーデン B, C (C2), SE	スペイン A, C (C2), SE	デンマーク C (C2)	ドイツ A, C (C2), SE	ノルウェー C (C2)	ハンガリー C (C2)
フィンランド B, C (C2)	フランス A, C (C2), SE	ベルギー B, C (C2), SE	ロシア A, C (C2), SE		
アジア					
インド B, BF, B3, C (C2)	インドネシア B, B3, C (C2), SE	シンガポール B, BF, B3	タイ A, BF, C (C2)	大韓民国 A, C (C2), SE	台湾 A, C (C2), O
中華人民共和国 すべて	フィリピン A, O	ベトナム A, BF, C (C2), SE	香港特別行政区 B, BF, B3, C (C2)	マカオ特別行政区 B, BF, B3, C (C2)	マレーシア B, BF, B3, C (C2)
オセアニア					
オーストラリア O	グアム島 A	サイパン島 A	トンガ O	ニュージーランド O	フィジー A, B, C (C2), O
中南米					
アルゼンチン BF, C (C2), SE	エルトリコ A, BF, C (C2)	ブラジル A, C (C2), SE	メキシコ A, C (C2), SE		
中東・アフリカ					
アラブ首長国連邦 B, BF, B3	エジプト BF, B3, C (C2), SE	クウェート B, B3, C (C2)	トルコ A, B, C (C2), SE	南アフリカ共和国 B, BF, B3, C (C2)	モロッコ A, C (C2), SE
タイプ	A	B	BF	B3	C (C2)
アメリカンタイプ					SE
	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ	
コンセント 形状	□□	○○	□□	○○	○○
変換 プラグ	不要です	□□	□□	□□	□□



時計を海外旅行先の時刻に合わせる

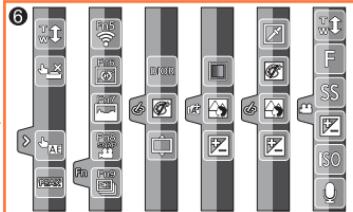
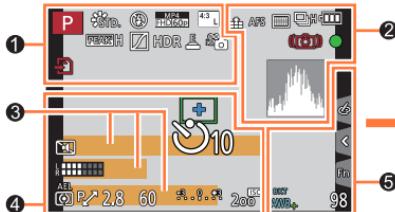
- [セットアップ] メニューの [ワールドタイム] で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

モニター / ファインダーの表示一覧

モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- ・画面は「モニター表示スタイル」を「」(モニタースタイル)に設定時の例です。
- ・表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。

撮影時



①

	撮影モード (P.36)
C1	カスタムセット (P.102)
	フォトスタイル (P.104)
	フラッシュモード (P.193、306)
	フラッシュ設定 (P.193、198)
	記録方式 / 画質設定 (P.203)
	スナップムービー (P.206)
	画像横縦比 / 記録画素数 (P.113)
	画像サイズ (パノラマモード) (P.86)
	画像効果 (フィルター) 調整表示 (P.94、106)
	画像効果 (フィルター) 種別 (P.106)
	カード (記録時のみ表示) (P.25)
	記録経過時間※1 (P.200)
	同時記録表示 (P.205)
	ファインダー / モニター自動切換 (P.47)
	ピーキング (P.140)
	ハイライトシャドウ (P.108)
	HDR (P.117) / iHDR (P.73)
	多重露出 (P.175)
	コンバージョン (P.304)

②

	電子シャッター (P.147)
	写真撮影 (写真優先) (P.205)
	温度上昇表示 (P.153、324、326)
	RAW クオリティ (P.114)
	240fps 120fps ハイスピード動画 (P.100)
	AFS AFF AFC MF フォーカスモード (P.120)
	オートフォーカスモード (P.121)
	ピント送り (P.207)
	個人認証 (P.178)
	AFL AF ロック (P.141)
	連写 (P.149)
	4K フォト (P.152)
	オートブラケット (P.164)
	セルフタイマー (P.166)
	バッテリー残量表示 (P.21)
	マクロ撮影 (P.134)
	動画傾き補正 (P.210)
	手ブレ補正 (P.185)
	手ブレ警告表示 (P.185)
	記録動作 (赤点滅) (P.200) /
	フォーカス (緑点灯) (P.34)
	フォーカス (低照度時) (P.119)
	フォーカス (星空 AF 時) (P.119)
	Wi-Fi 接続状態
	ヒストグラム表示 (P.43)



モニター / ファインダーの表示一覧

③

名前^{※2} (P.181)トラベル経過日数^{※3} (P.61)月齢 / 年齢^{※2} (P.181)旅行先^{※3} (P.61)現在日時 / 旅行先設定^{※3} :  (P.60)

露出メーター (P.78)

ズーム表示 (P.189)

④

AF エリア
(P.119, 127, 130)

+

スポット測光ターゲット
(P.146)

+

センターマーカー表示 (P.182)

セルフタイマー^{※4} (P.166)

ズームマイク (P.212)



マイクレベル表示 (P.211)

マイクレベルリミッター (OFF)
(P.211)マイクレベルリミッター (OFF)
(P.211)

サイレントモード (P.177)



外部マイク (P.308)



AEL AE ロック (P.141)



測光モード (P.51, 146)



プログラムシフト (P.78)

2.8

絞り値 (P.78)

60

シャッタースピード (P.78)

露出補正値 (P.142)

露出補正値 (P.142)



明るさ (露出) (P.75, 96)

200

マニュアル露出アシスト (P.83)



ISO 感度 (P.143)

⑤

Fn1 F

ダイヤル操作ガイド (P.38)

BKT AWB +

ホワイトバランスブラケット
(P.112)

※ 曲 合 水 水 水

ホワイトバランス微調整 (P.111)

98

ホワイトバランス (P.109)

残 XXmXXs

色合い (P.75)

98

記録可能枚数^{※5} (P.27)

98

記録可能時間^{※1, 5} (P.27)

⑥

タッチタブ (P.48)

W

タッチズーム (P.190)

T

タッチシャッター (P.50)

AE

タッチ AE (P.51)

REC

ピーキング (P.140)

Fn

ファンクションボタン (P.58)

W

色合い (P.75)

T

ボケ味コントロール
(P.74, 96)

AE

明るさ (露出) (P.75, 96)

REC

ぼかし方 (ジオラマ) (P.97)

REC

ワンポイントカラー (P.98)

REC

サンシャイン (P.98)

REC

画像効果 (フィルター) 調整
表示 (P.94, 106)

(P.101)

画像効果 (フィルター)
(P.106)

REC

絞り値 (P.34)

REC

シャッタースピード (P.34)

REC

ISO 感度 (P.143)

REC

マイクレベル設定 (P.211)

※1 h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。

※2 [プロファイル設定] を設定時、電源を入れた場合に約 5 秒間表示されます。

※3 電源を入れたとき / 時計設定後 / 再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

※4 カウントダウン中に表示されます。

※5 [カスタム] メニューの [残枚数 / 残時間切換] の設定で、記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えることができます。



モニター / ファインダーの表示一覧

■モニター撮影情報画面



①

IA	PA	SM	撮影モード (P.36)
F2.8			絞り値 (P.34)
1/60			シャッタースピード (P.34)
■			バッテリー残量表示 (P.21)

②

ISO	AUTO	ISO 感度 (P.143)
±0		露出補正值 (P.142)
明るさ	(露出) (P.75, 96)	
マニュアル露出アシスト	(P.83)	
フラッシュモード (P.193, 306)		
フラッシュ設定 (P.193, 196, 198)		

③

□	単写 (P.148)
□ ^H	連写 (P.149)
□ ^H □ ^M □ ^L	4K フォト (P.152)
□ ^H □ ^M □ ^L BKT	オートブラケット (P.164)
○ ₁ ○ ₂	セルフタイマー (P.166)
AFS AFF AFC MF	フォーカスマード (P.120)
○ ₁ ○ ₂ ○ ₃ ○ ₄	オートフォーカスマード (P.121)
RAW	クオリティ (P.114)
4:3 L	画像横縦比 / 記録画素数 (P.113)
Wi-Fi	Wi-Fi (P.242)
Fn	ファンクションボタン設定 (P.57)

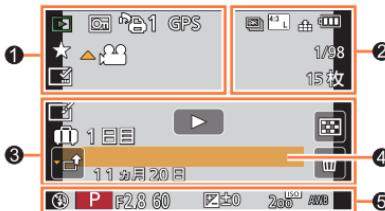
④

STD	VIVID	NAT	フォトスタイル (P.104)
MONO	SCNY	SPORT	
CUST	CNEQ	CNEV	
AWB	○	○	ホワイトバランス (P.109)
○	○	○	
iOFF			iD レンジコントロール (P.116)
○	○	○	測光モード (P.51, 146)
98			記録可能枚数 (P.27)
残 XXmXXs			記録可能時間* (P.27)

*h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。

モニター / フайнダーの表示一覧

再生時



①

	再生モード (P.223)
	プロテクト (P.239)
	プリント枚数 (P.238)
	位置情報あり (P.225、255)
	お気に入り表示 (P.237)
	ケーブル切断禁止アイコン (P.298)
	動画再生 (P.214)
	パノラマ再生 (P.87)
	連写グループ連続再生 (P.217)
	4K連写ファイルから写真の保存 (P.156、159)
	インターバル撮影グループ連続再生 (P.217)
	コマ撮りグループ連続再生 (P.217)
	文字焼き込み済み (P.231)
XXhXXmXXs	再生経過時間※1

②

	4K フォト (4K連写ファイル) (P.152)
	画像横縦比 / 記録画素数 (P.113)
	記録方式 / 画質設定 (P.203)
	スナップムービー (P.206)
	クオリティ (P.114)
240fps 120fps	ハイスピード動画 (P.100)

バッテリー残量表示 (P.21)

1/98 画像番号 / トータル枚数

Wi-Fi 接続状態

15 枚 グループ画像枚数

XXhXXmXXs 動画記録時間※1 (P.214)

③

	クリアレタッチ済み表示 (P.229)
	情報取得中アイコン (P.318)
	再生 (動画) (P.214)
	トラベル経過日数 (P.61)
	アップロード (Wi-Fi) アイコン (P.269)
	サブメニューアイコン (P.218、269)
	サイレントモード (P.177)
11月20日	月齢 / 年齢 (P.180、181)
	マルチ再生 (P.216)
	消去 (P.219)

④

名前※2 (P.180、181)

旅行先※2 (P.61)

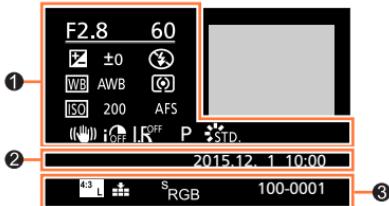
タイトル※2 (P.230)

⑤

撮影情報※3

モニター / フайнダーの表示一覧

■ 詳細情報表示



①

撮影情報

iOFF	iOFF レンジコントロール ^{※3} (P.116)
HDR _{ON}	HDR ^{※4} (P.117) / iHDR ^{※4} (P.73)
IR _{OFF}	超解像 (P.116)

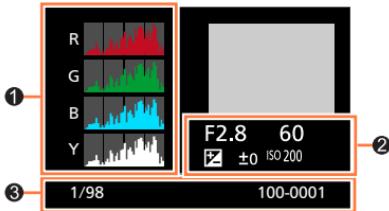
②

撮影日時 / ワールドタイム (P.60)

③

4:3 L	画像横縦比 / 記録画素数 (P.113)
MP4 [FHD60p]	記録方式 / 画質設定 (P.203)
240fps 120fps	ハイスピード動画 (P.100)
■ ■ ■ RAW	クオリティ (P.114)
sRGB	色空間 ^{※4} (P.118)
4K	4K フォト (4K 連写ファイル) (P.152)
100-0001	フォルダー・ファイル番号 ^{※3} (P.296)

■ ヒストグラム表示



①

ヒストグラム (P.45)

③

1/98	画像番号 / トータル枚数
100-0001	フォルダー・ファイル番号 ^{※3} (P.296)

②

撮影情報^{※3}

※1 h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。

※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前] (赤ちゃん / ペット)、[名前] (個人認証) の優先順位で表示されます。

※3 [AVCHD] で撮影した動画には表示されません。

※4 動画には表示されません。

メッセージ表示

モニター / フайнダーに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メモリーカードエラー / フォーマットしますか？

- 本機では認識できないフォーマットです。
→パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P.26) してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

カードを入れ直してください / 別のカードでお試しください

- カードへのアクセスに失敗しました。
→カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください

- データの読み込みに失敗しました。
→カードが確実に入っているか確認してください。 (P.24)
- データの書き込みに失敗しました。
→電源スイッチを [OFF] にしてからカードを抜き、再び入れてから電源スイッチを [ON] にしてください。
- カードが壊れている可能性があります。
→別のカードを入れてお試しください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画の【記録方式】や【画質設定】によって必要なカードのスピードクラスが異なります。4K フォトの撮影には、必要なカードのスピードクラスがあります。対応したカードをお使いください。詳しくは、25 ページの「動画撮影や4K フォトの撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- 推奨のスピードクラスのカード (P.25) を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット (P.26) することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で撮影が終了する場合があります。

メモリーカードエラー / このカードは使用できません

- 本機では対応していません。対応するカードをご使用ください。 (P.25)

放送方式 (NTSC/PAL) の異なるデータが存在するため、記録できません。

- パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。 (P.26)
→別のカードを入れてお試しください。



メッセージ表示

■バッテリーについて

このバッテリーは使えません

- ・パナソニック純正バッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。
→端子部のごみなどを取り除いてください。

■Wi-Fi 機能について

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- ・無線アクセスポイントについて、以下をご確認ください。
 - 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P.279)
 - 無線アクセスポイントの電源が入っていません。
 - 本機がサポートしていない無線アクセスポイントの設定です。
- ・接続先のネットワーク設定をご確認ください。
- ・他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。
 - 無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

送信できる画像がありません

- ・送信先の制限によって、送信できる画像が 1 つもない場合に表示されます。送信する画像のファイル形式を確認してください。(P.258)

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/

ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- ・無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。
→無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- ・サーバーから応答がない、または通信処理時間を超過しました。
→しばらくしてから再度実行してください。
- ・無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。
→もう一度接続してください。

クラウドフォルダに画像をアップロードするには、他に PC やスマートフォン等のダウンロードできる機器をクラウド同期設定する必要があります。

- ・クラウドフォルダから画像をダウンロードする機器が登録されていません。
- ・クラウド同期設定は、パソコンの場合は「PHOTOfunSTUDIO」で、スマートフォンの場合は「Image App」で設定してください。クラウド同期サービスについては [270 ページ](#)をご参照ください。



メッセージ表示

通信できませんでした

- 接続先のスマートフォンについて、以下をご確認ください。
 - スマートフォンが動作していません。
 - スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。
 - スマートフォンの保存容量に空きがありません。

ログインできませんでした。ID とパスワードを確認ください。

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID、パスワードが間違っています。入力し直してください。ログイン ID、パスワードを忘れてしまった場合は、「LUMIX CLUB (PicMate)」のホームページのログイン画面に案内があります。

送信先の制限のため、送信されないファイルがあります /

送信完了しました。送信先の制限により、未送信のファイルがあります。

- 送信する画像のファイル形式を確認してください。 (P.258)
- 動画を送信する場合、ファイルサイズが大きいと送信できない場合があります。 [動画分割] で動画を分割してください。 (P.232)

選択できません。PicMate のウェブページでログイン設定してください。

- スマートフォンやパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、送信先 Web サービスのログイン処理を行ってください。

写真専用と動画専用のウェブサービスは、同時に選択できません

- 写真専用の Web サービスと、動画専用の Web サービスを同時に選択することはできません。どちらかの選択を解除してください。

IP アドレスが取得できません。アクセスポイントの IP アドレス設定を DHCP にしてください。

- 接続する無線アクセスポイントの IP アドレスの DHCP 設定を有効にしてください。

サーバと接続できませんでした

- ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。



メッセージ表示

■その他

この画像はプロテクトされています

- 画像のプロテクトを解除してから [\(P.239\)](#) 消去をしてください。

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF 規格 [\(P.213\)](#) に準拠していない画像は消去できません。
→パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去してください。
[\(P.26\)](#)

この画像には設定できません

- DCF 規格 [\(P.213\)](#) に準拠していない画像は [プリント設定]、[タイトル入力]、[文字焼き込み] などできません。

電源を入れ直してください / システムエラー

- レンズが正常に動作しませんでした。
→電源を入れ直してください。(それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)

フォルダーを作成できません

- フォルダー番号を 999 まで使っています。
→パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。[\(P.26\)](#)
[番号リセット] [\(P.68\)](#) を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。

16:9TV 用で出力します / 4:3TV 用で出力します

- 画面表示の比率を変える場合は、[テレビ画面タイプ] の設定を変更してください。[\(P.66\)](#)
- USB 接続ケーブル（付属）が本機のみに接続されました。
→ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。

情報取得中のため、編集操作はできません

- 画像ファイルが多いときに再生画面にすると、情報取得中アイコン 、 が長時間表示されることがあります。一部の [再生] メニューの使用はできません。動画からの写真の作成はできません。4K フォトの 4K 連写ファイルは再生できません。動画再生時は再生を終了し、表示が消えるまで、しばらくお待ちください。
→情報取得中に電源スイッチを [OFF] にした場合、それまでに情報を取得できた画像のみがグループとして保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。



メニュー一覧

[撮影]

- ・[フォトスタイル]、[フィルター設定]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[回折補正]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]、[コンバージョン] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

フォトスタイル	P.104
フィルター設定	P.106
画像横縦比	P.113
記録画素数	P.113
クオリティ	P.114
AFS/AFF	P.120
測光モード	P.146
連写速度	P.149
4K フォト	P.152
オートブラケット	P.164
セルフタイマー	P.166
ハイライトシャドウ	P.108
iD レンジコントロール	P.116
超解像	P.116
i手持ち夜景	P.73
iHDR	P.73
HDR	P.117

多重露出	P.175
インターバル撮影	P.168
コマ撮りアニメ	P.171
パノラマ設定	P.87
シャッター方式	P.147
フラッシュ設定	P.193
デジタル赤目補正	P.194
ISO 感度上限設定	P.145
ISO 感度ステップ	P.145
回折補正	P.118
iA ズーム	P.188
デジタルズーム	P.189
コンバージョン	P.304
色空間	P.118
手ブレ補正	P.185
個人認証	P.178
プロフィール設定	P.181

メニュー一覧

[動画]

- ・[フォトスタイル]、[フィルター設定]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[回折補正]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]、[コンバージョン] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。詳しくは、[撮影] メニューの同じ項目をお読みください。

スナップムービー	P.206
記録方式	P.203
画質設定	P.203
動画露出設定	P.99
ハイスピード動画	P.100
写真撮影	P.205
AF 連続動作	P.204
動画傾き補正	P.210
フリッカー軽減	P.210

タッチ静音操作	P.101
マイクレベル表示	P.211
マイクレベル設定	P.211
専用マイク設定	P.308
マイクレベルリミッター	P.211
風音キャンセラー	P.212
風音低減	P.308
ズームマイク	P.212

メニュー一覧

fc [カスタム]

カスタムセット登録	P.102
サイレントモード	P.177
AF/AE ロック切換	P.141
AF/AE ロック維持	P.141
シャッター半押し AF	P.132
シャッター半押しレリーズ	P.132
クイック AF	P.132
アイセンサー AF	P.47
ピンポイント AF 時間	P.129
ピンポイント AF 表示	P.129
AF 補助光	P.133
ダイレクトフォーカス移動	P.127, 137
フォーカス / レリーズ優先	P.133
AF+MF	P.133
MF アシスト	P.139
MF アシスト表示	P.137
MF ガイド	P.139
ピーキング	P.140
ヒストグラム表示	P.43
ガイドライン表示	P.43
センターマーカー表示	P.182
ハイライト表示	P.45
ゼブラパターン表示	P.182

モノクロライブビュー	P.183
常時プレビュー（M モード）	P.83
露出メーター	P.78
ダイヤル操作ガイド	P.38
LVF 表示スタイル	P.42, 43
モニター表示スタイル	P.42, 43
モニター撮影情報画面	P.43
記録枠表示	P.200
残枚数 / 残時間切換	P.28
オートレビュー	P.35
ファンクション Fn ボタン設定	P.57
サイドボタン設定	P.40
ズームレバー	P.190
サイドレバー	P.190
ズーム位置メモリー	P.190
Q.MENU	P.56
ダイヤル設定	P.39
動画ボタン	P.200
アイセンサー	P.47
タッチ設定	P.48
タッチ再生送り速度	P.213
メニューガイド	P.92



メニュー一覧

[セットアップ]

時計設定	P.30
ワールドタイム	P.60
トラベル日付	P.61
Wi-Fi	P.283
電子音	P.62
ライブビューモード	P.62
モニター調整 /LVF 調整	P.63
モニター輝度	P.64
エコモード	P.65
USB モード	P.66
テレビ接続設定	P.66

メニュー位置メモリー	P.67
メニュー背景色	P.67
メニューインフォメーション	P.67
バージョン表示	P.68
露出補正リセット	P.68
セルフタイマー自動解除	P.68
番号リセット	P.68
設定リセット	P.69
Wi-Fi 設定リセット	P.69
フォーマット	P.26

[再生]

スライドショー	P.222
再生モード	P.223
位置情報記録	P.225
RAW 現像	P.226
クリアレタッチ	P.229
タイトル入力	P.230
文字焼き込み	P.231
動画分割	P.232
インターバル動画作成	P.233
コマ撮りアニメ作成	P.233

リサイズ（縮小）	P.234
トリミング（切抜き）	P.235
画像回転	P.236
縦位置自動回転	P.236
お気に入り	P.237
プリント設定	P.238
プロテクト	P.239
認証情報編集	P.239
画像表示順	P.240
消去確認画面	P.240



Q&A 故障かな？と思ったら

①まず、以下の方法 (P.323 ~ 337) をお試しください。

それでも解決できない場合は、

- ② [セットアップ] メニューの [設定リセット] (P.69) を行うと症状が改善する場合があります。
- ③ また、パナソニックのサポートサイトで最新のサポート情報をご確認いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- ④ これらの処置をしても直らないときは、付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

■電源、バッテリー

電源スイッチを [ON] にしても動作しない。電源スイッチを [ON] にしてもすぐ切れる。

- ・バッテリーが消耗している。
- ・電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。
→ [エコモード] を使うなどして、こまめに電源を切ってください。 (P.65)

電源が勝手に切れる。

- ・ [エコモード] が働いている。 (P.65)
- ・ ビエラリンク (HDMI) の連動操作が働いている。
→ ビエラリンク (HDMI) を使用しない場合は、本機の [ビエラリンク] を [OFF] に設定してください。 (P.67)

カード / バッテリー扉が閉じない。

- ・ バッテリーを確実に奥まで挿入してください。 (P.24)

バッテリーの消耗が早い。

- ・ ドライブモードを 4K フォトにし、[4K フォト] を [■] (4K プリ連写) に設定している。
→ [■] (4K プリ連写) で撮影できる状態では、バッテリーの消耗が早くなります。
撮影するときだけ [■] (4K プリ連写) に設定してください。
- ・ 長時間 Wi-Fi 接続を行っている。
→ Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。 [エコモード] (P.65) を使うなどして、こまめに電源を切ってください。



Q&A 故障かな？と思ったら

■撮影

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- ドライブモードを4Kフォトにし、[撮影]メニューの[4Kフォト]を[] (4K プリ連写)に設定しているときは、本機の温度が上昇します。本機を保護するため、[]が表示されたあと、[] (4K 連写)に切り替わり、撮影ができなくなる場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- ピントが合っていない。
→[フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影されません。[\(P.133\)](#)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズが汚れている。(指紋などの汚れが付いている)
→電源スイッチを[OFF]にし、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。

- 露出を補正してください。[\(P.142\)](#)
- 不適切な状態でAEロック[\(P.141\)](#)がかかっている。

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- 以下の設定を解除してください。
 - 連写/オートブラケット/セルフタイマーの[] [\(P.148\)](#)
 - ホワイトバランスブラケット [\(P.112\)](#)

ピントが合わない。

- 撮影可能範囲から外れている。[\(P.34\)](#)
- 手ブレや被写体ブレしている。[\(P.185\)](#)
- [フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっている。[\(P.133\)](#)
- [シャッター半押しAF]が[OFF]になっている。[\(P.132\)](#)
- 不適切な状態でAFロック[\(P.141\)](#)がかかっている。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合があります。(シーンガイドモードの[花をふんわり撮る]、マクロ撮影時)

撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。
→脇を締め、本機を両手でしっかりと持って撮影してください。
- 遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマー[\(P.166\)](#)をお勧めします。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。[\(P.147\)](#)

Q&A 故障かな？と思ったら

ホワイトバランスブラケット撮影ができない。

- カードのメモリー残量はありますか？

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下をお試しください。
 - [ISO 感度] を低くしてください。 (P.143)
 - 明るい場所で撮影してください。
 - [フォトスタイル] の [ノイズリダクション] をプラス方向にするか、 [ノイズリダクション] 以外の各項目をマイナス方向に調整してください。 (P.105)
 - [記録画素数] (P.113) と [クオリティ] (P.114) の設定を変更してください。
- デジタルズーム使用時は、ズームするほど画質が粗くなります。

被写体が曲がって撮影される。

- 電子シャッター撮影時、動画撮影時または4K フォト撮影時、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯や LED などの照明下で、ちらつきや横しまが出る。

- 本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッターで写真を撮影している場合は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。 (P.81)
- 動画撮影中、蛍光灯や LED などの照明下でちらつきや横しまが目立つ場合、 [フリッカーレンズ] (P.210) を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。シャッタースピードは [1/50]、 [1/60]、 [1/100]、 [1/120] から選択できます。クリエイティブ動画モード (P.99) でも手動でシャッタースピードを設定できます。



撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

ズームが正常に動かない

- [コンバージョン] を [OFF] に設定してください。

被写体をロックできない。(動体追尾できない)

- 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾 AF エリアに合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分を追尾 AF エリアに合わせて設定してください。 (P.123)

操作音が小さい、または聞こえない。

- スピーカーが塞がっている。

Q&A 故障かな?と思ったら

パノラマ撮影が途中で止まる。

- ・カメラを動かす速度が遅いと、カメラを止めたと判断し、撮影が終了します。
- ・カメラを動かすときに、撮影方向に対して揺れが大きいと撮影を終了します。

4K フォトの撮影が途中で止まる。

- ・周囲の温度が高かったり連続で4K フォトの [REC] (4K 連写) や [REC] (4K 連写 (S/S)) の撮影を行った場合は、本機の保護のため、[!A] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■動画

動画が撮影できない。

- ・容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを [ON] にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- ・周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、本機の保護のため、[!A] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- ・動画の【記録方式】や【画質設定】によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、[25 ページ](#)の「動画撮影や4K フォトの撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- ・推奨のスピードクラスのカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット ([P.26](#)) することをお勧めします。

動画撮影中に画面が暗くなる。

- ・動画撮影中、バッテリーの消耗を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがあります。撮影された動画に影響はありません。

一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される。

- ・動画撮影時の環境によっては、静電気や強い電磁波（電波塔、高压線など）により、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- ・高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影させる場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

Q&A 故障かな？と思ったら

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。録音される音声が小さい。

- 静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。動画撮影中のフォーカス動作は【AF 連続動作】(P.204) で【OFF】に設定することができます。
- 操作音が気になるときは、【タッチ静音操作】を使って撮影することをお勧めします。(P.101)
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声が小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

動画の最後に操作音が記録される。

- 撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
 - 3秒ほど長めに撮影して【再生】メニューの【動画分割】(P.232) で動画の終わりの部分を分割してください。
 - クリエイティブ動画モードに設定し、シャッターリモコン（別売：DMW-RSL1）を使って撮影してください。(P.307)

■ フラッシュ

発光しない。

次の場合は発光しません。

- フラッシュを閉じている。(P.191)
- 電子シャッター使用時 (P.147)
 - 【シャッター方式】を【AUTO】または【メカシャッター】に設定してください。
- サイレントモード使用時 (P.177)
 - 【サイレントモード】を【OFF】に設定してください。

フラッシュが2回発光する。

- フラッシュは2回発光します。([フラッシュ設定] の【発光モード】を【マニュアル】に設定時を除く) 特に赤目軽減 (P.194) に設定している場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。



Q&A 故障かな？と思ったら

■モニター / フайнダー

電源【ON】中に、モニター / フайнダーが消える。

- ・設定した時間の間に何も操作をしないと、[LVF/ モニター自動 OFF] (P.65) が働き、モニター / フайнダーが消灯します。
- ・アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。 (P.47)

明るすぎる、または暗すぎる。

- ・[モニター輝度] の設定を確認してください。 (P.64)
- ・[モニター調整] / [LVF 調整] で明るさを調整してください。 (P.63)

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- ・シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

モニターに画像が出ない。

- ・ファインダー表示になっている。
→ [LVF] ボタンを押して、モニター表示に切り換えてください。 (P.46)
- ・モニターが消灯になっている。
→ [DISP.] ボタンを押して表示情報を切り換えてください。 (P.42)

[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- ・パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。

モニター / フайнダー上に黒、白、赤、青、緑の点が現れる。

- ・故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。

モニターにノイズが出る。

- ・暗い場所では、モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- ・本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付けが発生します。記録される画像には問題ありません。

ファインダーの色合いが実際とは異なる。

- ・これは本機ファインダーの表示方式の特徴であり、異常ではありません。記録される画像には問題ありません。



Q&A 故障かな？と思ったら

■再生

再生した画像が回転しない。意図しない方向に回転して表示される。

- ・[縦位置自動回転] (P.236) を [OFF] にすると画像は回転せずに表示されます。
- ・[画像回転] (P.236) で画像を回転することができます。

再生できない。撮影した画像がない。

- ・カメラにカードが入っていない。
- ・カードに再生できる画像がない。
- ・パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
→パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- ・[再生モード] を [通常再生] 以外に設定している。
- [再生モード] を [通常再生] に設定してください。 (P.223)

フォルダー・ファイル番号が【-】で表示される。画像が黒く表示される。

- ・規格外の画像やパソコンで編集、または他機で撮影した。
- ・撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。
→パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去する。 (P.26)

再生音や操作音が小さい。

- ・スピーカーを塞いでいる。 (P.14)

カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。

- ・本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？ (P.30)
- ・パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。

撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。

- ・室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。



画面に【サムネイル表示】と表示される。

- ・他機で撮影された写真ですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。



Q&A 故障かな？と思ったら

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正（[]、[]）が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。
→ フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを [] にする、または [デジタル赤目補正] を [OFF] にして撮影することをお勧めします。（P.194）

本機で撮影した動画が他機で再生できない。

- 動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。



Q&A 故障かな？と思ったら

■ Wi-Fi 機能について

無線 LAN に接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi 接続全般について

- ・無線 LAN ネットワークの通信圏内でご使用ください。
- ・2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？
→ 同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- ・バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。（[通信エラー] などのメッセージが表示されます）
- ・本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- ・接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- ・無線アクセスポイントの電波状況によっては、無線アクセスポイントを表示できない、または接続できないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの近くで接続してください。
 - 本機と無線アクセスポイントの間の障害物を取り除いてください。
 - 本機の向きを変えてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
 - [マニュアル入力] を行ってください。 (P.279)
- ・無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを 1 ~ 11 チャンネルの中から選び、設定してください。
- ・無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されていませんか？
 - 非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワーク SSID を入力して設定してください。 (P.279) もしくは、無線アクセスポイントのネットワーク SSID の非通知設定を解除してください。
- ・無線アクセスポイントにより接続方式やセキュリティーの設定方法が異なります。
 - 無線アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- ・5 GHz/2.4 GHz 切り換え式の無線アクセスポイントが 5 GHz 帯で他の機器と接続中ではありませんか？
 - 5 GHz/2.4 GHz 同時使用できる無線アクセスポイントのご使用をお勧めします。対応していない場合は本機と同時使用できません。



Q&A 故障かな？と思ったら

スマートフォンとの接続に毎回時間がかかる。

- スマートフォンの Wi-Fi 接続設定によっては時間がかかることがあります、故障ではありません。

スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンの Wi-Fi 設定で、Wi-Fi 機能を OFF にしてから、再度 ON にしてください。

「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID、パスワードを忘れた。

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン画面にある案内を確認してください。
<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c>

「LUMIX CLUB (PicMate)」の公開設定が変更できない。

- 本機から公開設定を変更することはできません。
→スマートフォンまたはパソコンから「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインして設定を変更してください。

「LUMIX CLUB (PicMate)」の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。

- パソコンで編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。
- 表示順は「LUMIX CLUB (PicMate)」の画像管理のルールにも影響されることがあります。

自宅に無線アクセスポイントがないが、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録をしたい。

- 無線アクセスポイントがない環境では「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録はできません。

Wi-Fi 機能を使用してパソコン (Mac/Windows) に接続できない。

- ログイン名、パスワードが正しく入力されているかご確認ください。
- カメラ本体と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OS によっては接続できない場合があります。
カメラ本体の【時計設定】/【ワールドタイム】が、Windows の「日付と時刻」/「タイムゾーン」または、Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか、ご確認ください。大きくずれている場合、合わせてください。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント（ローカルアカウント / Microsoft アカウント）があります。
→ローカルアカウントを設定して、必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。



Q&A 故障かな？と思ったら

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。
→ [Wi-Fi 設定] の [PC 接続設定] の [変更する] で、接続するパソコンのワークグループ名へ変更してください。 (P.283)

パソコンに画像を送信できない。

- OS およびセキュリティーソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

Web サービスに画像を送信できない。

- ログイン情報（ログイン ID / ユーザー名 / メールアドレス / パスワード）が間違っていないか確認してください。
- Web サービスのサーバー、もしくは回線が混雑している可能性があります。
→ しばらくしてから再度実行してください。
→ 「LUMIX CLUB (PicMate)」 (<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>) や送信先の Web サービスのサイトもご確認ください。

Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
→ [動画分割] で動画を分割して送信してください。 (P.232)
→ [送信サイズ] で画像サイズを小さくして送信してください。 (P.260)
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。
→ 無線アクセスポイントの近くで送信してください。

Web サービスにアップロードしたはずの画像が見えない。

- 画像送信中に切断された場合、アップロードを完了できなことがあります。
- サーバーの状況によっては、画像をアップロードしてから Web サービスに反映されるまで少し時間がかかることがあります。
→ しばらく待ってからもう一度お試しください。
- 「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Web サービス連携設定」で送信状況を確認することができます。

Web サービスの画像をカメラに戻したい。

- Web サービス上の画像は本機に保存（ダウンロード）することはできません。アップロードした画像は消去せず、必ずバックアップを残してください。



Q&A 故障かな？と思ったら

Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することができない。

- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去することはできません。
→スマートフォンやパソコンで操作してください。

修理に出したら「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID、パスワードなどが消えてしまった。

- 修理の内容によっては、本機に登録された設定内容は消えてしまうことがあります。
→大切な設定は必ず控えを取っておいてください。

画像送信が途中で失敗する。送信できなかった画像がある。

- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、画像を送信できません。
- 画像のサイズが大きすぎませんか?
→ [動画分割] で動画を分割してください。 (P.232)
→ [送信サイズ] で画像のサイズを小さくしてください。 (P.260)
- 送信先により送信できる画像のファイル形式は異なります。 (P.258)
- Web サービスの容量または枚数がいっぱいになっています。
→ 「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインし、「Web サービス連携設定」で送信先の状況を確認してください。

Wi-Fi のパスワードを忘れた。

- [セットアップ] メニューの [Wi-Fi 設定リセット] を実行してください。 (P.69)
ただし、お客様が [Wi-Fi 設定] で設定した情報もリセットされます。

AV 機器に画像が送信できない。

- AV 機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。



Q&A 故障かな？と思ったら

■テレビ、パソコン、プリンター

テレビに画像が出ない。画面が流れたり色が付かない。

- 正しく接続していない。(P.287)
- テレビの入力切換を外部入力にしていない。

テレビ画面とカメラの画面の表示が違う。

- テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることができます。

テレビで動画再生できない。

- テレビにカードを入れている。
→ AV ケーブル (別売) または HDMI マイクロケーブルで接続し、本機で再生してください。(P.287)

テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。

- [テレビ画面タイプ] を確認する。(P.66)

本機のスピーカーから音声が出ない

- AV ケーブル (別売) または HDMI マイクロケーブルを接続している場合、本機から音声は出ません。

ビエラリンク (HDMI) が動かない。

- HDMI マイクロケーブルで正しく接続されていますか? (P.287)
→ HDMI マイクロケーブルが奥まで確実に入っていることを確認してください。
- 本機の [ビエラリンク] を [ON] に設定していますか? (P.67)
→ テレビの HDMI 端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)
→ 接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。
→ 本機の電源を入れ直してください。
→ テレビ (ビエラ) の [ビエラリンク制御 (HDMI 機器制御)] の設定を [しない] に変更し、再度 [する] に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)

パソコンとの通信ができない。

- 正しく接続していない。(P.295)
- パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。
→ 本機の [USB モード] を [PC] にしてください。(P.66)
→ 本機の電源を入れ直してください。



Q&A 故障かな？と思ったら

パソコンにカードが認識されない。

- USB 接続ケーブル（付属）を抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。
- 1 台のパソコンに 2 つ以上の USB 端子がある場合、別の USB 端子に接続してみてください。

パソコンにカードが認識されない。（SDXC メモリーカードを使用している）

- お使いのパソコンが SDXC メモリーカードに対応しているか確認してください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります、フォーマットしないでください。
- モニターの【通信中】の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブル（付属）を抜いてください。

プリンターに接続してもプリントができない。

- PictBridge 対応機を使用していない。
- 本機の【USB モード】を【PictBridge(PTP)】にしてください。（P.66、298）

プリントすると、画像の端が切れる。

- プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。（プリンターの取扱説明書をお読みください）
- 写真の横縦比がプリントする用紙の横縦比と異なる。
→ お店に依頼した場合、16:9 のサイズに対応しているか確認してください。

パノラマ写真がうまくプリントできない。

- パノラマ写真は、横縦比が通常の写真と異なるため、正しく印刷できない場合があります。
→ パノラマ写真に対応したプリンターをお使いください。（プリンターの取扱説明書をお読みください）
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、プリントする用紙に合わせて写真のサイズを調整することをお勧めします。



Q&A 故障かな？と思ったら

■その他

レンズ部から音がする。

- 電源 [ON] または [OFF] 時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

ズームの動きが一瞬止まる

- EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。

暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。

- [AF補助光] を [ON] にしている。[\(P.133\)](#)

AF補助光が点灯しない。

- [AF補助光] を [OFF] にしている。[\(P.133\)](#)
- 明るい場所では点灯しません。

画像の一部が白と黒に点滅する。

- [ハイライト表示] を [ON] にしている。[\(P.45\)](#)

本機が熱くなる。

- ご使用時、多少熱くなることがあります、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→再度時計を設定してください。[\(P.31\)](#)

ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。

- 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります、異常ではありません。

ファイル番号が連続して記録されない。

- 特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。

ファイル番号がさかのぼって記録される。

- 電源スイッチを [OFF] にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源スイッチを [ON] にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録されることがあります。



使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

- 長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビ、スピーカーなど）からはできるだけ離れて使ってください。
 - ・テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
 - ・スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
 - ・マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプター（別売： DMW-AC10）と DC カプラー（別売： DMW-DCC8）を一度外してから、あらためて接続し、電源を入れ直してください。
- 電波塔や高压線が近くにあるときは、なるべく使わないでください。
 - ・近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。
- 付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。
- 周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけないでください。
 - ・かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーまたは DC カプラー（別売： DMW-DCC8）、カード（別売）を取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあるので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ファインダー / アイカップのお手入れについて
 - ・アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、プロワー（市販）でファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
 - ・万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

使用上のお願いとお知らせ

しばらく使わないとき

- 電源スイッチを [OFF] にしてからバッテリーとカードは抜いておく。
(特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります)
- ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
- 押し入れなどでは、乾燥剤（シリカゲル）とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく（15 ℃～25 ℃）、湿気の少ない（湿度 40%RH～60%RH）、温度変化の少ない場所で保管する。
- 1年に1回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

モニター / ファインダーについて

- モニターを強く押さないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター / ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。モニター / ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ部を強く押さないでください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- 持ち運ぶときは、レンズを収納してください。



使用上のお願いとお知らせ

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

● 使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

● 出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャーも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。
(P.309)

● バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて



チャージャーについて

● 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電には影響ありません

● AM ラジオからは 1 m 以上離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）

● チャージャーの内部で音がすることがあります。異常ではありません。

● 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約 0.1 W の電力を消費しています）

● チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

使用上のお願いとお知らせ

カードやデータについて

- カードやデータの破損を防ぐために
 - ・高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
 - ・折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
 - ・使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
 - ・カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。
- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い
 - ・本機やパソコンの機能による【フォーマット】や【消去】では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
 - 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

三脚 / 一脚を使うとき

- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。(本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります)
- 三脚が安定していることを確認してください。(三脚の取扱説明書もお読みください)
- 三脚 / 一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。



使用上のお願いとお知らせ

個人情報について

個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードや Wi-Fi 機能ロックを設定することをお勧めします。[\(P.283, 284\)](#)

[プロフィール設定] / 個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

[サイレントモード]、位置情報の書き込み、シャッター音の変更などの機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

● 免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。

個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を [Wi-Fi 設定リセット] / [消去・退会] を行って必ず消去してください。[\(P.69, 275\)](#)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。[\(P.69\)](#)
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

● メモリーカードを譲渡 / 廃棄する際は、「●メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い」をお読みください。[\(P.341\)](#)

● 画像を Web サービスにアップロードするとき

- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。



使用上のお願いとお知らせ

Wi-Fi 機能について

■ 本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- ・電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- ・2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線 LAN 機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがあります。

*SSID とは、無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。



使用上のお願いとお知らせ

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- "AVCHD"、"AVCHD Progressive"、および "AVCHD Progressive" のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- "Wi-Fi CERTIFIED™" ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- "Wi-Fi®"、"Wi-Fi Direct®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- "Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- QR コードは（株）デンソーウエーブの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



AVCHD™
Progressive



使用上のお願いとお知らせ

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpebla.com>) をご参照ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。



使用上のお願いとお知らせ

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記（3）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、[MENU/SET] ボタン→[セットアップ] →[バージョン表示] →[ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。



さくいん

あ行

アイカップ	338
アイセンサー	46, 47
アイセンサーAF	47
青空をさわやかに撮る	90
アクセス表示	25
圧縮率	114
位置情報記録	225
位置情報データ消去	260
位置情報の書き込み	254
イルミネーションをキラキラ撮る	91
色温度設定	111, 227
色空間	118, 296
インターバル撮影	168
インターバル動画作成	233
インテリジェントオートプラスモード	71, 76
インテリジェントオートモード	71, 76
インテリジェントISO	143
インプレッシブアート	94
動くペットをきちんと撮る	92
後ダイヤル	37
エコモード	65
オートフォーカスモード	121
オートブレacket	164
オートホワイトバランス	110
オートレビュー	35
オールドデイズ	94
お気に入り	237
お気に入り登録する (Wi-Fi 接続)	281
お手入れ	338

か行

カーソルボタンロック	58
カード	24, 25, 341
回折補正	118

ガイドライン表示	43
外部フラッシュ	306
外部マイク	308
顔・瞳認識	71, 122
画質設定 (動画撮影時)	203
画質調整	105
カスタムセット登録	102
カスタムマルチ (AF)	124
カスタムメニュー	321
カスタムモード	102
風音キャンセラー	212
風音低減	308
画像回転	236
画像サイズ (パノラマ)	87
画像表示順	240
画像横縦比	113
カメラ内の画像を送る	259
カレンダー再生	217
感度 (アイセンサー)	47
機器名称	283
逆光でしっかり撮る	90
逆光でふんわり撮る	90
逆光補正	72
記録画素数	113
記録可能時間 (動画撮影時)	27, 28
記録可能枚数	27
記録方式	203
記録枠表示	200
クイックメニュー	55
クイックAF	132
クオリティ	114
クラウド上限枚数動作	260
クラウド同期サービス	270
クリアレタッチ	229
クリエイティブ	
コントロールモード	93
クリエイティブ動画モード	99
グループ画像	217



さくいん

クロスフィルター	95	シャッター半押し AF	132
クロスプロセス	95	シャッター方式	147
光学ズーム	187	シャッター優先 AE モード	81
個人認証	178	シャッターリモコン	307
子どもをかわいく撮る	90	充電	20
コマ撮りアニメ	171	消去	219
コマ撮りアニメ作成	233	消去確認画面	240
コントラスト	105	常時プレビュー (M モード)	83
コンバージョン	304	ショルダーストラップ	19

さ行

再生	213	シルキーモノクローム	94
再生ズーム	216	人物の肌をきれいに撮る	90
再生メニュー	221, 322	人物をきれいに撮る	90
再生モード	223	スイーツをかわいく撮る	92
彩度	105	水準器表示	44
サイドダイヤル	37	水面をキラキラ撮る	90
サイドボタン	40	ズーム	33, 187
サイドボタン設定	40	ズーム位置メモリー	190
サイドレバー	33	ズームマイク	212
サイレントモード	177	ズームマクロ撮影	134
撮影中に画像を送る	258	ズームレバー	33
撮影方向	87	ステップズーム	190
撮影メニュー	319	ステレオガンマイクロホン	308
三脚	341	スナップムービー	206
サンシャイン	95	スポーツをきれいに撮る	92
残枚数 / 残時間切換	28	スポット測光	146
シーンガイドモード	89	スマートフォンとつないで使う	245
ジオラマ	95	スライドショー	222
色調	105	スリープモード	65
自動シーン判別	72	設定リセット	69
視度調整	46	セットアップメニュー	60, 322
絞り優先 AE モード	80	セピア	94
シャープネス	105	ゼブラパターン表示	182
写真撮影 (動画撮影時)	205	セルフタイマー	166
シャッター音音色	62	セルフタイマー自動解除	68
シャッター音音量	62	センターマーカー表示	182
シャッター半押しレリーズ	132	専用マイク設定	308
		送信サイズ	260
		送信ファイル形式	260



さくいん

ソフトフォーカス 95

た行

タイトル入力 230

ダイナミックモノクローム 94

ダイヤル設定 39

ダイヤル操作ガイド 38

ダイヤル動作切換設定 39

ダイレクトフォーカス移動 127, 137

宅外 AV 機器設定 276

多重露出 175

タッチ再生送り速度 213

タッチシャッター 50

タッチズーム 190

タッチ静音操作 101

タッチ設定 48

タッチタブ 48

タッチパッド AF 48, 130

タッチパネル 48

タッチ AE 51

タッチ AF 48, 127

縦位置検出機能 32

縦位置自動回転 236

ダビング 297

中央重点測光 146

超解像 116

追尾 AF 123

露付き 13

低照度 AF 119

デジタル赤目補正 194

デジタルズーム 189

デフォルトに戻す 58, 59

手ブレ補正 185

テレビ画面タイプ 66

テレビ再生 257, 285, 287

テレビ接続設定 66

電子音 62

電子シャッター 147

電子補正（動画） 185

トイフォト 95

トイポップ 95

動画傾き補正 210

動画から写真を作成 215

動画再生 214

動画撮影 35, 99, 200

動画撮影中に写真を記録 205

動画分割 232

動画ボタン 35, 200

動画メニュー 209, 320

動画露出設定 99

時計設定 30

ドライブモード 148

トラベル日付 61

トリミング（切抜き） 235

な行

認証情報 284

認証情報編集 239

ネットワークアドレス表示 284

ノイズリダクション 105

は行

バージョン表示 68

ハイキー 94

ハイスピード動画 100

ハイダイナミック 94

ハイライトシャドウ 108

ハイライト表示 45

パソコン接続 264, 291

発光禁止 191, 194

発光モード 193

バッテリー 20, 24, 340

花をふんわり撮る 92

パノラマ設定 87



さくいん

パノラマモード	86
バルブ	83
番号リセット	68
ピーキング	140
ピエラリンク	67, 289
ヒストグラム表示	43
日付プリント	238, 300, 301
ピント	119, 204
ピント送り	207
ピンポイント AF 時間	129
ピンポイント AF 表示	129
ピンポイント (AF)	126, 129
ファイル番号	68, 296, 314
ファインダー	46, 310
ファインダー / モニター自動切換	47
ファンクションボタン	57
ファンタジー	95
フィルター効果	105
フィルター設定	106
フィルター選択	93, 106
フィルターなし同時記録	107
風景をきれいに撮る	90
フェード	206
フォーカスエリア選択	58
フォーカスモード	120
フォーカス / レリーズ優先	133
フォーマット	26
フォトスタイル	104
フォルダー番号	68, 296, 314
フラッシュ	191
フラッシュ光量調整	142, 197
フラッシュシンクロ	196
フラッシュ設定	193
フラッシュモード	193
ブリーチバイパス	95
フリッカー軽減	210
プリント	262, 298
プリント設定	238

プリント枚数	238, 301
プレビュー	84
プログラムシフト	79
プログラム AE モード	78
プロテクト	239
プロフィール設定	181
ボケ味コントロール	74, 96
星空 AF	119
ホットシュー	306
ポップ	94
ほのぼのした雰囲気で撮る	90
ホワイトバランス	109
ホワイトバランス微調整	111
ホワイトバランスプラケット	112

ま行

マイクレベル設定	211
マイクレベル表示	211
マイクレベルリミッター	211
マクロ撮影	134
マニュアル発光量設定	193, 199
マニュアルフォーカス	136
マニュアル露出モード	82
マルチ再生	216
マルチ測光	146
メカシャッター	147
メニュー位置メモリー	67
メニューインフォメーション	67
メニューガイド	92
メニュー背景色	67
文字入力	70
文字焼き込み	231
モニター	29, 310
モニター輝度	64
モニター撮影情報画面	42, 43, 55, 57
モニター調整	63



さくいん

モニター表示スタイル	42
モノクローム	94
モノクロで撮る	92
モノクロライブビュー	183

や行

夜景をアーティスティックに撮る	91
夜景を暖かく撮る	91
夜景をきれいに撮る	91
夜景を手持ちで撮る	91
夜景をバックに人物をきれいに撮る	91
夕焼けを印象的に撮る	90
夕焼けを幻想的に撮る	90
用紙サイズ	301
夜空をクールに撮る	91

ら行

ライブビューモード	62
ラフモノクローム	94
リサイズ（縮小）	234
リモート撮影	252
料理をおいしそうに撮る	92
レイアウト	301
レトロ	94
連写	149
連写速度	149
レンズ	339
レンズキャップ	18
レンズキャップひも	18
レンズフード	16
ローキー	94
露出補正	142
露出補正リセット	68
露出補正連動	197
露出メーター	78

わ行

ワールドタイム	60
ワイヤレス設定	199
ワイヤレスチャンネル	199
ワイヤレス通信光量	199
ワイヤレスフラッシュ	198
ワイヤレスプリント	262
ワイヤレスモード	198
ワンプッシュ AE	85
ワンポイントカラー	95

英数字

1点 (AF)	126
1枚消去	59, 219
49点 (AF)	124
4K 動画	202, 285
4K フォト	152
4K ブリ連写	153, 155
4K 連写	152, 154
4K 連写ファイル	153, 156, 159
4K 連写 (S/S)	153, 154
5軸ハイブリッド手ブレ補正	185
AC アダプター	307
AF 補助光	133
AF マクロ撮影	134
AF 連続動作 (動画)	204
AFC	120, 204
AFF	120, 204
AF-ON	132, 141
AFS	120, 204
AFS/AFF	120
AF/AE ロック	141
AF/AE ロック維持	141
AF/AE ロック切換	132, 141
AF+AE	131
AF+MF	133
AV 機器 (Wi-Fi 接続)	263



さくいん

AV ケーブル	287, 297	MF ガイド	139
AVCHD	203	MP4	203
AVCHD Progressive	203	ND フィルター	305
B (バルブ)	83	PC 接続設定	283
DC カラー	307	PHOTOfunSTUDIO	292
DCF 規格	213	ピクメイト	
EX 光学ズーム	187	PicMate 設定	271
ファンクション		ピクトプリッジ	
Fn ボタン設定	57	PictBridge	298
コントロール		PL フィルター	305
HDAVI Control™	289	クイックメニュー	
HDMI 出力解像度 (再生時)	66	Q.MENU	55
HDMI 出力 (撮影時)	184	RAW	114
HDMI 情報表示 (撮影時)	67, 184	RAW 現像	226
HDMI マイクロケーブル	160, 285, 287	SD スピードクラス	25
HDR	117	TTL	193
i 手持ち夜景	73	TV で見る (Wi-Fi 接続)	257
iA ズーム	188	UHS スピードクラス	25
iD レンジコントロール	116	USB 接続ケーブル	295, 298
i HDR	73	USB モード	66
Image App	245	Web サービス	266
iOS	245	Wi-Fi 機能	241
IP アドレス	284	Wi-Fi 機能ロック	284
ISO 感度	143	Wi-Fi 設定	283
ISO 感度上限設定	143, 145	Wi-Fi 設定リセット	69
ISO 感度ステップ	145	Wi-Fi パスワード	283
i.ISO (インテリジェント ISO)	143	Wi-Fi Direct	280
ルミックス クラブ ピクメイト		WPS	278
LUMIX CLUB (PicMate)	271		
LVF 調整	63		
LVF 表示スタイル	42		
LVF/ モニターチェンジ	47		
LVF/ モニター自動 OFF	65		
MAC アドレス	284		
MC プロテクター	305		
MF	136		
MF アシスト	139		
MF アシスト表示	137		



パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

©Panasonic Corporation 2015